

平成 24 年度

事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

I. 学校法人森ノ宮医療学園 平成 24 年度事業報告書.....	1
II. 森ノ宮医療学園専門学校 平成 24 年度事業報告書.....	10
III. 森ノ宮医療大学 平成 24 年度事業報告書.....	32
IV. 学校法人森ノ宮医療学園附属診療所 平成 24 年度事業報告書.....	105
V. 学校法人森ノ宮医療学園出版部 平成 24 年度事業報告書.....	108

学校法人森ノ宮医療学園

大阪市東成区中本 4 丁目 1 番 8 号

I. 学校法人森ノ宮医療学園 平成 24 年度事業報告書

1. 学園の経営課題に対する取り組み

平成 24 年度、森ノ宮医療学園専門学校においては、鍼灸学科は、昨年度に教育課程を変更することにより、本年度も午前コース、昼間部、夜間部の効率的なクラス編成を実施できた。柔道整復学科ではアドバンスコースの募集活動に注力した。これらの施策を昨年度と同様に実施することにより、志願者数について、同業他校の業績に比較してある一定の成果が得られた。

学費については、昨年度の改訂をそのまま踏襲して、募集活動を実施したが、本学園の学費改定結果を見てさらに学費改定戦略をとっている専門学校も多いことから、将来においては、募集活動に直結する臨機応変な対応が迫られている。本学園として平成 25 年度の事業計画においては、学費改定の計画は織り込んでいないが今後とも研究課題であるとする。

森ノ宮医療大学においては、特に国家試験合格の成果について全学を挙げて取り組み、まだ多くの課題を抱えてはいるが、鍼灸学科、理学療法学科ともある一定の成果を得たと思われる。大学院保健医療学研究科保健医療学専攻においては、初めて修了生を送り出すことができ、今後の看護分野についても新たな専攻として設けるのかを検討課題として加え、年額 40 万円の給付型奨学金を継続実施し、平成 25 年度入学生からは大学院の学費改定を実施することが決定され、他大学院との学費格差の是正に努めた。

さらに、大学鍼灸学科の十分な志願者確保と、卒後進路の拡充を目指し、中学校・高等学校の保健体育教員免許取得が可能な教職課程（スポーツ特修コース）の申請が文部科学省から認可されたことに伴い、平成 24 年度入学生から新カリキュラムが実施された。これらの施策に伴い、大学看護学科では、開設第 2 年度として 4 名の教員を新規採用し、鍼灸学科、理学療法学科の教員においても若手教員の充実など積極的な人事施策をとり、大学全体の質的向上に努めた。

2. 平成24年度の主な事業活動とその動向

1. 専門学校、大学の教職員合同参加による人事考課研修会を実施した。
2. 専門学校の平成24年度(25年度入学者)の志願者数は前年度の405名から330名と大幅な減少があり、その結果25年度入学者数も259名(前年度は330名)と減少した。大学においては、平成24年度(25年度入学者)は前年度の925名から1,808名(のべ人数)と倍増した。特に看護学科については認知度の高まりとともに221.6%と大きく伸長した。
3. 専門学校の新卒国家試験合格率は「はり師」94.2%、「きゅう師」95.0%、「柔道整復師」90.6%であった。また、大学においては「はり師」91.5%、「きゅう師」93.6%「理学療法士」95.2%であった。
4. 就職活動においては、専門学校は経常的に求人数に対して紹介できる就職希望学生が圧倒的に少なく、求人先においても本校学生にとってもミスマッチの無いような仕組み作りを強化している。大学においても、鍼灸学科、理学療法学科、大学院保健医療学研究科の就職するすべての学生は、就職が実現できた。
5. 奨学金関係については、本学園独自の奨学学費ローンの紹介の徹底をはかることにより、利用者も大きく増加した。
6. 大学においては、看護学科を中心とする「地域子育て支援もりもりクラブ」の平成24年度において11回の開催をはじめとして、本学専任教員及び包括提携している病院からの講師の参画も得て、多くの「公開講座」を積極的に開催し、多くの市民からの参加があった。加えて、学外のイベント(みどりウォーキング、御堂筋 kappo、ティール&ホワイトリボンディ、ヘルスジャンボリー等々)にも積極参画し、社会貢献の活動をよりいっそう活発化した。
7. 大学において、「学習支援センター」を本格稼働させて、学習相談の学習指導を本格化させた他、平成24年3月末に大学においては三省堂書店の協力により売店が設置でき、教材の購入をはじめ、多くの学生や教職員の利便性を向上させることができた。
8. 研究活動においては、外部科学研究費の助成を継続して獲得したほか、研究費の業務作業を効率化するために科学研究費管理システムを新たに導入した。
9. 学園附属診療所のみどりの風クリニックにおいては、内科・整形外科とも患者数を前年比104.2%に増加させることができ、みどりの風鍼灸院においても患者数は前年度を上回り、結果として収入も増加した。
10. 出版部においてはその主力業務である「鍼灸 OSAKA」の定期継続出版に加え、好評の「つぼ暗記カード」のスマートフォン対応アプリについて、韓国版を制作し発売することができた。

3. 森ノ宮医療学園の沿革

昭和48年(1973)	3月	厚生省より鍼灸師養成施設の認可を受ける
	4月	大阪鍼灸専門学校開校
昭和52年(1977)	4月	学校法人「森ノ宮学園」となり、あわせて専修学校医療専門課程となる
昭和57年(1982)	4月	附属診療所、附属鍼灸施術所落成
昭和60年(1985)	4月	卒業教育雑誌「鍼灸 OSAKA」創刊
昭和63年(1988)	5月	鍼灸師養成に関わる法律により修業年限3年となる
	11月	中国、大連市中医医院と学術研究提携を結ぶ
平成3年(1991)	7月	米国、Santa Barbara College of Oriental Medicineと教育提携を結ぶ
平成4年(1992)	7月	中国、南京中医薬大学と学術研究提携を結ぶ
平成7年(1995)	3月	この年の卒業生から文部省告示による専門士(医療専門課程)の称号を授与
平成8年(1996)	6月	中国江蘇省陰市中医医院と交流開始
平成12年(2000)	4月	柔道整復学科開設、法人名を学校法人森ノ宮医療学園、学校名を森ノ宮医療学園専門学校と改称
平成13年(2001)	1月	本校舎増改築工事完成
		はりきゅうミュージアム開設
平成14年(2002)	1月	はりきゅうミュージアムにて代田文誌特別展開催
	4月	緑橋校舎増設
平成15年(2003)	3月	柔道整復学科第1期生卒業
		創立30周年記念式典
		校歌「みどりの風」制定
	4月	全日制アドバンスコース開講
	7月	アネックス校舎(第1期)完成
平成16年(2004)	3月	中国江蘇省江陰市中医医院と学術・教育協定締結
平成17年(2005)	2月	医療法人淳良会関目病院と教育提携を結ぶ
平成19年(2007)	4月	森ノ宮医療大学開学
平成20年(2008)	2月	第1回おおさか優良緑化賞・大阪府知事賞受賞
	11月	森ノ宮医療大学コスモキャンパス第2校地取得
平成21年(2009)	4月	森ノ宮医療大学 AMRI 医療センター(アムリクリニック、アムリ鍼灸院)開院
平成22年(2010)	1月	森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック、みどりの風鍼灸院開院
	3月	森ノ宮医療学園アネックス校舎完成
	6月	森ノ宮医療大学メディカフェオープン
平成23年(2011)	4月	森ノ宮医療大学看護学科設置
		森ノ宮医療大学大学院修士課程保健医療学研究科設置
平成24年(2012)	2月	森ノ宮医療大学鍼灸学科スポーツ特修コース設置認可

4. 森ノ宮医療学園の概要（平成24年4月1日現在）

1. 設置する学校

法人の名称		学校法人森ノ宮医療学園		事務所の所在地		大阪府大阪市東成区 中本4丁目1番8号		
設置する学校	学校名	学部・学科名等	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	備考	
	森ノ宮医療大学	大学院保健医療学研究科保健医療学専攻（修士課程）		2	6	0	12	開設年度 平成23年
		保健医療学部鍼灸学科		4	60	0	240	開設年度 平成19年
		保健医療学部理学療法学科		4	60	0	240	
		保健医療学部看護学科		4	80	0	320	開設年度 平成23年
	森ノ宮医療学園専門学校	医療専門課程 鍼灸学科		3	180	0	540	開設年度 昭和48年
		医療専門課程 柔道整復学科		3	180	0	540	開設年度 平成12年

2. 役員の名

役員	氏名	役員就任	寄附行為上の選任区分	備考
理事長	森 俊豪	平成9年5月	7-1-2	
副理事長	清水尚道	平成22年11月	7-1-3	
理事	安雲和四郎	平成9年5月	7-1-1	森ノ宮医療学園専門学校校長
理事	荻原俊男	平成23年4月	7-1-1	森ノ医療大学学長
理事	安田実	平成11年5月	7-1-3	
理事	三木完二	平成9年5月	7-1-2	
理事	下條喜信	平成11年5月	7-1-2	
理事	花谷幸比古	平成9年5月	7-1-2	
理事	中田敬吾	平成14年5月	7-1-3	
監事	日根野文三	平成11年5月		
監事	小林由幸	平成14年10月		

3. 校地・校舎の概要

学校名 (所在地)	校地現有面積	校舎現有面積	備考
森ノ宮医療大学・ 大学院 (大阪市住之江区南港北 1丁目3番1号)	15,995.24 m ²	7,209.83 (東校舎) m ²	学生食堂は平成22年6月完成。(676.67 m ²) 西(看護学棟)校舎は平成23年3月完成。(4,566.38 m ²) なお、校舎面積 7,209.83 m ² は大学設置認可申請書の「基本計画書」の校舎面積に加えて基準外の体育館面積433.50 m ² を含む。
		676.67 (学生食堂)	
		4,566.38 (西[看護学棟]校舎)	
森ノ宮医療大学 (大阪市東成区中本2丁目5番41号)	1,329.40	198.76 (森ノ宮校舎)	(森ノ宮校舎)
森ノ宮医療大学 計	17,324.64	12,651.64	
森ノ宮医療学園専門学校 (大阪市東成区中本4丁目1番8号)	1,560.22	5,253.67 (本校舎)	アネックス校舎
森ノ宮医療学園専門学校 (大阪市東成区中本3丁目15番11号)	530.56	936.74 (緑橋校舎)	
森ノ宮医療学園専門学校 計	2,090.78	7,445.84	
(大学+専門学校) 合計	19,415.42	20,097.48	

5. 法人全体の決算概要

●正味資産の推移

(単位：円)

	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
正味資産 (総資産－負債)	11,020,929,740	10,566,142,850	9,985,113,494	9,493,711,390	8,972,215,386
資産増加額	454,786,890	581,029,356	491,402,104	521,496,004	1,052,092,549

●平成24年度決算概要

(単位：円)

No.		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	説明
1	帰属収入	2,735,524,015	2,637,110,025	2,462,253,774	2,267,298,934	消費収支(単年度) の収入合計
2	消費支出	2,280,737,125	2,056,080,669	1,970,851,670	1,745,802,930	消費収支(単年度) の支出合計
3	帰属収支差額	454,786,890	581,029,356	491,402,104	521,496,004	1-2
4	基本金組入	△ 27,005,220	△ 132,386,708	△ 1,309,217,641	△ 477,914,987	将来存続に向けての 最低限の設備など蓄え
5	差引収入超過	427,781,670	448,642,648	△ 817,815,537	43,581,017	3+4
6	前年度繰越収入超過額	183,778,597	△ 264,864,051	503,797,148	460,216,131	差引収入超過額の 累計額(支出超過は△)
7	基本金取崩	5,288,030	0	49,154,338	0	
8	翌年度繰越収入超過額	616,848,297	183,778,597	△ 264,864,051	503,797,148	5+6+7

(岩崎 光治)

6. 森ノ宮医療学園の加盟団体一覧

	加盟団体		主幹部署	備考
1	全国専修学校各種学校総連合会	専	事務局	学校関係
2	社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	専	事務局	
3	公益財団法人 日本高等教育評価機構	大	総務室	
4	都市圏高等教育懇談会	大	総務室	
5	日本私立大学協会	大	総務室	
6	日本私立大学協会関西支部	大	総務室	
7	西日本私立大学振興協議会	大	経営企画室	
8	大阪府私立大学連絡会	大	総務室	
9	特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪	大	教務室	
10	関西地区 FD 連絡協議会	大	経営企画室	
11	NPO法人学校経理研究会	法	財務室	
12	日本アロマコーディネーター協会	専	事務局	鍼灸関係
13	公益社団法人 東洋療法学校協会	専	鍼灸学科	
14	公益社団法人 全日本鍼灸学会	共/大関	鍼灸学科	理学療法 関係
15	一般社団法人 全国リハビリテーション学校協議会	大	理学療法学科	
16	一般社団法人 近畿リハビリテーション学校協議会	大	理学療法学科	看護関係
17	一般社団法人 日本私立看護系大学協議会	大	看護学科	
18	一般社団法人 日本看護系大学協議会	大	看護学科	
19	公益社団法人 全国助産師教育協議会	大	看護学科	
20	一般社団法人 全国保健師教育機関協議会	大	看護学科	柔道整復 関係
21	公益社団法人 全国柔道整復学校協会	専/大関	柔道整復学科	
22	公益社団法人 日本柔道整復接骨医学会	専	柔道整復学科	図書館 関係
23	私立大学図書館協会	大	図書館	
24	日本看護図書館協会	大	図書館	
25	日本温泉気候物理学医学会	大	図書館	
26	一般社団法人 日本東洋医学会	大	図書館	
27	関西プレスクラブ	大	経営企画室	広報関係 地域関連
28	社団法人大阪市防火管理協会	専	事務局	
29	東成防火協力会	専	事務局	
30	中本連合中本第一町会	専	事務局	
31	大阪商工会議所	大	経営企画室	
32	コスモスクエア地区開発協議会	大	経営企画室	診療所 関係
33	公益社団法人日本医師会	法	附属診療所	
34	一般社団法人大阪府医師会	法	附属診療所	
35	一般社団法人東成区医師会	法	附属診療所	

(井上 洋子)

7. 職員数について

●職員数(専門学校)

平成24年4月1日現在			
雇用形態	専任	兼任(またはパート)	合計
教員	27	65	92
職員	23	1	24
診療所職員	15	0	15
合計	65	66	131

●職員数(大学)

平成24年4月1日現在			
雇用形態	専任	兼任(またはパート)	合計
教員	71	116	187
職員	22	4	26
合計	93	120	213

(田畑 京美)

8. 専門学校および大学のシステム情報系について

1. 学生用パソコンについて

① 専門学校

H24年度3階学生ホールにインターネット閲覧用パソコンを2台追加設置した。

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	2階3階	9台
学内貸し出し用	教職員室	4台
図書館蔵書検索用	図書館	2台
求人検索用	2階受付前	2台
講義用 (H22年度導入)	106教室	35台

② 大学

H24年度閲覧室にインターネット閲覧、レポート作成用パソコン10台を追加設置した。

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧、レポート作成	閲覧室	45台
学生貸し出し用	図書館	8台
図書館蔵書検索用	図書館	2台
講義用	401教室	75台
求人検索用	学生相談室	2台

2. 学生用無線 LAN アクセスポイントについて

学生対象に登録制にて無線アクセスポイントを解放している。

① 専門学校

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	3階学生ホール	1台

② 大学

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	キャナルホール	1台

(柘植 浩)

Ⅱ. 森ノ宮医療学園専門学校 平成24年度事業報告書

今年度は、組織だって活動できることを目標としていたが、職務分掌を明確にすることにより、責任を明確化する狙いがあったが、ややもすると部署間の連絡と調整が困難な面があったことも否めない。平成25年度は互いに補い合う形で日々の業務に当たれるような体制を構築する。

入学式、卒業式は、例年通り入学式をアネックス校舎で、卒業式をベイタワー大阪で実施。できれば卒業式も校内で実施したいところではあるが、式典後の謝恩会のことを考えると、謝恩会会場と同一会場での実施にせざるを得ないところである。

教職員研修会実施がここ数年できていなかったが、平成24年度に関しては、「人権研修会」「人事考課研修会」など、次年度につなげられるような研修会を実施することができた。

(川鍋 史一)

1. 実施行事の報告

月	日	曜日	行事
4	1	日	開業支援セミナー
	3	火	経絡クラブ
	4	水	平成24年度入学式(アネックス校舎)、みどりの風保育園開園式
	5	木	新入生オリエンテーション
	6	金	新入生オリエンテーション
	7	土	日本コアコンディショニング協会、少年柔道教室、森ノ宮柔道整復研究会 高校生のためのスポーツセミナー
	8	日	日本鍼灸師会学術講習会、手技療法研究会、保健医療科学研究会 日本コアコンディショニング協会
	11	水	日本学生支援機構奨学金説明会(～12日)、古典鍼灸勉強会
5	14	土	少年柔道教室、経絡治療クラブ
	15	日	東洋はり医学会、医鍼会
	18	水	古典鍼灸勉強会
	21	土	森ノ宮古典研究会、少年柔道教室、アロマ講座
	22	日	中華伝承医学、関西漢方菴徳塾、緑橋第二コーポ管理組合、医鍼会 手技療法研究会、日本臨床鍼灸懇話会、ライフステージ
	25	水	古典鍼灸勉強会
	28	土	少年柔道教室、アロマ講座
	2	水	創立記念日の代休(3/1)
	12	土	少年柔道教室、アロマ講座
	13	日	オープンキャンパス・入試、プレグループ勉強会、臨床家育成会 日本臨床鍼灸懇話会、手技療法研究会、高校生のためのスポーツセミナー
6	16	水	市民公開ツボ講座
	19	土	森ノ宮柔道整復学術集会(～20日)、日本コアコンディショニング協会(～20日) 森ノ宮古典研究会、少年柔道教室、アロマ講座、経絡治療クラブ
	20	日	東洋はり医学会、医鍼会、三美会
	26	土	体育実習 グリンピア三木にて(鍼灸学科)(～27日)、少年柔道教室 アロマ講座
	27	日	新入生歓迎会、整骨院経営研究会、中華伝承医学会、医鍼会、関西漢方菴徳塾 太極拳部勉強会
	29	火	監査会(専門学校にて)、理事会(専門学校にて)、評議員会(専門学校にて)
	2	土	少年柔道教室、アロマ講座、スポーツ医学研究会

- | | | | |
|----|----|---|---|
| 3 | 日 | オープンキャンパス・入試・A0入試、日本刺絡学会講習会
日本ソマティックライフ、運動器疾患柔道整復学研究会
高校生のためのスポーツセミナー | |
| 8 | 金 | 松原中学校2年生職業体験 | |
| 9 | 土 | 大阪成蹊女子高校3年生体験学習、少年柔道教室、アロマ講座
森ノ宮柔道整復研究会 | |
| 10 | 日 | 大阪府鍼灸マッサージ師会、臨床家育成会、中華伝承医学会、手技療法研究会 | |
| 15 | 金 | 市民公開アロマ講座 | |
| 16 | 土 | 日本コアコンディショニング協会、大阪成蹊女子高校体験授業
森ノ宮古典研究会、少年柔道教室、アロマ講座、こどもの健康サークル
経絡治療クラブ | |
| 17 | 日 | オープンキャンパス・入試・A0入試、日本コアコンディショニング協会
東洋はり医学会、アメリカ研修（柔道整復学科2年アドバンスコース）（～
29日） | |
| 20 | 水 | 市民公開ツボ講座 | |
| 23 | 土 | 大阪成蹊女子高校体験授業、日本刺絡学会学術大会、少年柔道教室
運動器疾患柔道整復学研究会 | |
| 24 | 日 | 日本刺絡学会学術大会、医鍼会、日本臨床鍼灸懇話会、関西漢方苞徳塾
Facebook勉強会 | |
| 29 | 金 | 市民公開アロマ講座 | |
| 30 | 土 | 少年柔道教室 | |
| 7 | 1 | 日 | 日本刺絡学会講習会 |
| | 6 | 金 | 梅花高校体験授業、アロマ市民公開講座 |
| | 7 | 土 | 少年柔道教室 |
| | 8 | 日 | オープンキャンパス・入試・A0入試、臨床家育成会、森ノ宮手技療法研究会
NPO全国鍼灸マッサージ協会、第6回学術大会 |
| | 14 | 土 | みどりの風クリニック臨床研修会、少年柔道教室 |
| | 15 | 日 | 東洋はり医学会、医鍼会、森ノ宮スポーツ医学研究会 |
| | 18 | 水 | 市民公開ツボ講座 |
| | 21 | 土 | 森ノ宮古典研究会、経絡治療クラブ、少年柔道教室、アロマ講座 |
| | 22 | 日 | オープンキャンパス・入試・A0入試、関西漢方苞徳塾、合気道部勉強会
三美会、大阪府鍼灸師会学術講習会、高校生のためのスポーツセミナー |
| | 24 | 火 | 理事会（大学にて） |
| | 28 | 土 | 少年柔道教室 |
| | 29 | 日 | 中華伝承医学会、スポーツ医学研究会、手技療法研究会、ライフステージ
日本臨床鍼灸懇話会 |
| 8 | 2 | 木 | 中医研 |
| | 4 | 土 | 少年柔道教室 |
| | 5 | 日 | オープンキャンパス・入試・A0入試、小児大師はりの会講習会
日本刺絡学会講習会、森ノ宮手技療法研究会 |
| | 8 | 水 | サマーフェスタ2012（～9日） |
| | 9 | 木 | 中医研 |
| | 11 | 土 | 夏期休暇（～15日）、オリエント出版講演会（～13日） |
| | 16 | 木 | 中医研 |
| | 17 | 金 | 大阪桐蔭高校体力測定 |
| | 18 | 土 | 森ノ宮古典研究会、少年柔道教室、森ノ宮柔道整復研究会 |
| | 19 | 日 | オープンキャンパス・入試・A0入試、手技療法研究会、健峯会
サロンマネージメントメソッド |
| | 21 | 火 | 大阪府現教職員夏期セミナー（～22日） |

	22	水	市民公開ツボ講座
	23	木	中医研
	24	金	古典鍼灸勉強会
	25	土	少年柔道教室
	26	日	指定校推薦入試、北辰会、関西漢方苞徳塾、中華伝承医学会
9	1	土	日本コアコンディショニング協会、少年柔道教室、アロマ講座
	2	日	日本刺絡学会講習会、日本コアコンディショニング協会、鍼灸実技担当者勉強会
	8	土	少年柔道教室、アロマ講座
	9	日	手技療法研究会
	12	水	自衛消防訓練(夜間部1・2年対象)
	15	土	少年柔道教室、アロマ講座、日本鍼灸師会、森ノ宮古典研究会 森ノ宮柔道整復研究会、経絡治療クラブ、日本鍼灸師会臨床研修会(～16日)
	16	日	東洋はり医学会、医鍼会、実践臨床講習会、サロンマネージメントメソッド
	17	月	オープンキャンパス・入試・A0入試、コリトレールセミナー
	19	水	市民公開ツボ講座
	21	金	市民公開アロマ講座
	22	土	広島国際大学トレーニングセミナー(～23日)
	23	日	関西漢方苞徳塾、医鍼会、三美会
	29	土	少年柔道教室、アロマ講座、スポーツトレーナーセミナー
	30	日	光栄、手技療法研究会、森研、中華伝承医学会
10	6	土	少年柔道教室、スポーツ医学研究会、アロマ講座
	7	日	子どもの健康サークル
	8	月	オープンキャンパス・入試・A0入試、ランナーのためのセルフケア講座
	13	土	アロマ講座、森ノ宮柔道整復研究会、日本コアコンディショニング協会
	14	日	中華伝承医学会、日本コアコンディショニング協会、手技療法研究会 日本臨床鍼灸懇話会、はり灸おりべ モダン鍼灸
	17	水	モーニング入試、ナイター入試
	20	土	徳洲会病院看護研究発表会、森ノ宮古典研究会、アロマ講座、少年柔道教室
	21	日	経絡治療クラブ、東洋はり医学会、医鍼会、大阪府東洋療法共同組合 サロンマネージメントメソッド、ライフステージ
	24	水	市民公開ツボ講座
	27	土	アロマ講座
11	3	土	文化祭 学生・教職員クリーンアップ作戦(森ノ宮駅前、緑橋駅前、通学路の清掃)
	4	日	オープンキャンパス・入試・A0入試、コリトレールセミナー
	7	水	就職相談会 就職サロン(～18日)
	11	日	財団実技審査(柔道整復学科3年)
	14	水	就職相談会 就職サロン(～15日)
	18	日	医鍼会、手技療法研究会、三美会、奨学金返還説明会
	21	水	モーニング入試、ナイター入試、就職相談会 就職サロン(～22日) 市民公開ツボ講座
	23	金	はりきゅう実技審査(鍼灸学科3年)、実践臨床講習会
	24	土	日本コアコンディショニング協会、少年柔道教室
	25	日	中本連合防災訓練、医鍼会、中華伝承医学会、関西漢方苞徳塾 日本コアコンディショニング協会、鍼灸 OSAKA 勉強会、手技療法研究会
	26	月	第2回学内推薦入試(～28日)、JCCA 体幹セミナー
	28	水	就職相談会 就職サロン(～29日)
12	1	土	少年柔道教室
	2	日	オープンキャンパス・入試・A0入試、カナケン経営・物療器セミナー 和鍼巧房寺子屋、スポーツトレーナーセミナー

- | | | | |
|---|----|---|--|
| | 5 | 水 | 就職・開業支援講座(～6日) |
| | 7 | 金 | アロマ市民公開講座 |
| | 8 | 土 | 少年柔道教室 |
| | 9 | 日 | 森ノ宮手技療法研究会、奨学金返還説明会 |
| | 12 | 水 | 袴展示会(～13日) |
| | 15 | 土 | 灸メイン研修会、森ノ宮古典研究会、少年柔道教室 |
| | 16 | 日 | 入試、経絡治療クラブ、AEDプロバイダー講習会、東洋はり医学会
日本臨床鍼灸懇話会 |
| | 18 | 火 | 信太高校バス体験ツアー、理事会(大学にて) |
| | 19 | 水 | モーニング入試・ナイター入試、市民公開ツボ講座 |
| | 22 | 土 | 少年柔道教室 |
| | 23 | 日 | 中華伝承医学会、関西漢法苞徳塾 |
| | 26 | 水 | ウインターフェスタ 2012 |
| | 28 | 金 | 冬期休暇(～1/3) |
| 1 | 11 | 金 | フェルデンクライス(～20日) |
| | 12 | 土 | 日本コアコンディショニング協会(～13日) |
| | 13 | 日 | オープンキャンパス・入試・A0入試、大阪府鍼灸師会、就職相談会 |
| | 19 | 土 | 森ノ宮古典研究会、はり灸おりべ 厚労省研究成果報告会 |
| | 20 | 日 | 東洋はり医学会、医鍼会、小児はりセミナー、日本臨床鍼灸懇話会、実践臨床
講習会 |
| | 23 | 水 | モーニング入試・ナイター入試、袴展示会(～24日) |
| | 24 | 木 | 北かわち阜が丘高校バス体験ツアー |
| | 25 | 金 | アロマハンドトリートメント市民公開講座 |
| | 26 | 土 | 日本コアコンディショニング協会、スポーツ医学研究会 |
| | 27 | 日 | 入試、医鍼会、中華伝承医学会、日本コアコンディショニング協会
手技療法研究会、関西漢法苞徳塾、事業協同組合マッサージ師協会
走り大好きな会勉強会 |
| | 31 | 木 | 大正高校体験ツアー |
| 2 | 2 | 土 | 英真学園高校体験ツアー、少年柔道教室 |
| | 8 | 金 | アロマ市民公開講座 |
| | 9 | 土 | 少年柔道教室 |
| | 10 | 日 | 大阪府鍼灸師会、日本臨床鍼灸懇話会(～11日)
大阪府東洋療法協同組合(～11日) |
| | 11 | 月 | オープンキャンパス・入試・A0入試 |
| | 16 | 土 | スポーツ医学研究会、少年柔道教室 |
| | 17 | 日 | 東洋はり医学会、医鍼会、お灸セミナー |
| | 20 | 水 | モーニング入試・ナイター入試 |
| | 22 | 金 | アロマ市民公開講座 |
| | 23 | 土 | 森ノ宮古典研究会、森ノ宮柔道整復研究会、日本コアコンディショニング協
会 |
| | 24 | 日 | オープンキャンパス・入試・A0入試、関西漢方苞徳塾、中華伝承医学会
医鍼会、日本コアコンディショニング協会、第21回はり師・きゅう師国家
試験 |
| 3 | 2 | 土 | はり灸おりべセミナー、少年柔道教室 |
| | 3 | 日 | オープンキャンパス・A0入試、日本臨床鍼灸懇話会
ダイナミック ROTOセラピーセミナー、第21回柔道整復師国家試験 |
| | 5 | 火 | 経絡治療クラブ |
| | 9 | 土 | 少年柔道教室 |
| | 10 | 日 | 第38回卒業式式典(ホテル大阪ベイタワー) |
| | 12 | 火 | 経絡治療クラブ |
| | 13 | 水 | 就職・開業支援講座(～14日) |

- 16 土 森ノ宮古典研究会、関西杖道連盟講習会、中浜幼稚園謝恩会
- 17 日 東洋はり医学会、医鍼会、森ノ宮手技療法研究会、実践臨床講習会
スポーツセミナー、入試
- 19 火 経絡治療クラブ
- 21 木 桐蔭高校バスケ部体力測定
- 23 土 春のオープンキャンパス、森ノ宮柔道整復研究会、少年柔道教室
大阪訪問リハビリ振興会研修会(～24日)
- 24 日 関西漢方苞徳塾、中華伝承医学会、医鍼会、大阪訪問リハビリ更新会研修会
- 26 火 経絡治療クラブ
- 29 金 理事会・評議員会(専門学校にて)
- 30 土 少年柔道教室

(田畑 京美)

2. 専門学校の在籍学生数と学生動向について

● 専門学校の在籍学生数

平成25年 4月1日現在	1年			2年			3年			合計			
	在籍	(留年)	(休学)										
鍼灸学科	昼	93	1	0	120	3	2	89	2	1	302	6	3
	夜	39	4	3	44	3	2	50	6	1	133	13	6
柔道整復 学科	昼	89	2	0	94	5	1	88	12	0	271	19	1
	夜	47	1	0	66	7	4	60	6	0	173	14	4
合計	268	8	3	324	18	9	287	26	2	879	52	14	

* 留年および休学は在籍者数の内数

● 専門学校の年度別退学者数

(単位:名)

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
退学者数	36	26	42	42	50
退学者比率	3.8%	2.8%	4.6%	4.7%	5.4%
在学生数	951	928	905	898	932

(田畑 京美)

3. 専門学校の入試について

●専門学校入学試験の受験者数（平成25年度入学向けの入試）

平成二五年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	AO入試①	AO入試②	AO入試③	AO入試④	AO入試⑤	AO入試⑥	AO入試⑦	AO入試⑧	AO入試⑨	AO入試⑩	AO入試⑪	AO入試⑫	AO入試⑬	AO入試⑭
				鍼灸	午前	60	3	3	1	2	2	1	10	5	4	5	6
医	60	0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鍼昼		0	1		0	4	0	3	2	3	1	2	3	3	0	0	
鍼夜	60	1	0		0	6	0	0	2	3	1	2	2	3	4	0	
柔道整復	柔ア	30	5	2	3	1	1	6	10	1	2	1	0	1	0	0	
	柔昼	60	1	2	3	4	6	3	5	3	5	4	3	2	0	2	
	柔夜	60	4	2	0	0	3	2	3	4	2	2	1	7	0	5	
合計		330	14	11	7	17	12	15	32	19	15	16	15	17	5	7	

平成二五年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	高校生①	高校生②	高校生③	高校生④	高校生⑤	高校生⑥	高校生⑦	高校生⑧	高校生⑨
				鍼灸	午前	60	1	0	0	0	0	0
医	60	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
鍼昼		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
鍼夜	60	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔昼	60	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	柔夜	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		330	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2

平成二五年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	社会人①	社会人②	社会人③	社会人④	社会人⑤	社会人⑥	社会人⑦	社会人⑧	社会人⑨	社会人⑩	社会人⑪	社会人⑫	社会人⑬	社会人⑭	社会人⑮	社会人⑯	社会人⑰	社会人⑱
				鍼灸	午前	60	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1
医	60	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鍼昼		0	0		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
鍼夜	60	0	0		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	柔昼	60	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	
	柔夜	60	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	
合計		330	0	1	1	2	1	0	5	0	2	1	1	2	0	3	1	5	4	0	

平成二五年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	推薦①	推薦②	推薦③	推薦④	推薦⑤	推薦⑥	推薦⑦	推薦⑧	推薦⑨	推薦⑩	推薦⑪	推薦⑫	推薦⑬	推薦⑭	推薦⑮	推薦⑯	推薦⑰	推薦⑱
				鍼灸	午前	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
医	60	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鍼昼		0	0		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鍼夜	60	0	0		0	1	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
	柔昼	60	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0	1	0	0	
	柔夜	60	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	1	0	0	
合計		330	0	1	1	1	0	1	2	2	3	2	3	4	1	2	0	2	1	0	

平成二五年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	医療人①	医療人②	医療人③	医療人④	医療人⑤	医療人⑥	医療人⑦	医療人⑧	医療人⑨	医療人⑩	医療人⑪	医療人⑫	医療人⑬	医療人⑭	医療人⑮	医療人⑯	医療人⑰	医療人⑱		
	鍼灸	午前		60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
医			60	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	
鍼昼				0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鍼夜			60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柔道整復	柔ア		30	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔昼		60	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	柔夜		60	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			330	1	0	1	1	0	0	1	2	2	2	3	2	2	0	0	0	0	1	1	

平成二五年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	モーニング①	モーニング②	モーニング③	モーニング④	モーニング⑤	ナイター①	ナイター②	ナイター③	ナイター④	ナイター⑤	指定校推薦①	指定校推薦②	指定校推薦③	指定校推薦④	
	鍼灸	午前		60	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医			60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鍼昼				0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鍼夜			60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柔道整復	柔ア		30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	柔昼		60	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔夜		60	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			330	2	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8

平成二五年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	学内推薦(在)①	学内推薦(卒)①	学内推薦(在)②	学内推薦(卒)②	学内推薦(在)③	学内推薦(卒)③	学内推薦(在)④	学内推薦(卒)④
	鍼灸	午前		60	1	0	0	0	0	0	0
医			60	2	0	0	0	1	0	0	0
鍼昼				10	1	0	0	0	1	0	0
鍼夜			60	5	2	0	1	1	0	1	0
柔道整復	柔ア		30	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔昼		60	2	2	0	0	0	1	0	0
	柔夜		60	0	2	0	0	1	0	1	0
合計			330	20	7	0	1	3	2	2	0

合計	倍率
62	1.033
52	0.867
44	0.733
43	1.433
69	1.150
60	1.000
330	1.000

(田畑 京美)

専門学校募集状況について

平成24年度（25年度入学）の総受験者数は330名であった。平成23年度（24年度入学）の総受験者数405名、平成22年度（23年度入学）の総受験者数368名より大幅に減少した。入試区分の比重として、A0入試の受験者が一般入試の受験者より多い割合を占めているのは今年度も変わりはない。今年度のオープンキャンパス参加数は388名、去年度の参加数は398名と参加数自体には大幅な減少は見られない。しかしながら、受験へと繋がらなかったのが現状である。下記の*表1からも分かるように、従来の人気コースであった昼間部コースへの入学希望者数が大幅に減少している結果となった。背景の一つとして学生（資格非保持者）を雇い入れる治療所が減少し、学生（資格非保持者）の午前診→学校→夜診 という、ライフスタイルが変わりつつあるのだろうか、経済面で昼間に労働し資金を工面するというスタイルなのか、動向に注目したい。

*表1
合格者数 前年度対比

		H25年度	H24年度	H23年度
		入学者数	入学者数	入学者数
鍼灸学科	医療資格	9	17	14
	午前	54	60	48
	昼間	29	43	44
	夜間	35	50	48
	小計	127	170	154
柔整学科	アドバンス	32	36	26
	昼間	54	63	66
	夜間	46	61	58
	小計	132	160	150
合計		259	330	304

また、他校では学費値下げ、週3日制の導入など多々展開されており、厳しい社会環境（不景気・少子化）が続く中、受験者にとって経済的な負担・通学利便性などから他校へと出願する傾向もあった。平成25年度については重点課題としてオープンキャンパスからA0入試への出願に注力していきたい。

（北村 知子）

4. 森ノ宮医療学園専門学校の国家試験合格率の推移

●平成24年度

はり師きゆう師 国家試験(第38期)				
家試験成績		平成24年度(第21回)24年2月実施		
		受験者	合格者	合格率
現役受験者	はり師	121	114	94.2%
	きゆう師	121	115	95.0%
当校のべ受験者	はり師	166	120	72.3%
	きゆう師	170	122	71.8%
全国平均	はり師	5157	4005	77.7%
	きゆう師	5235	4138	79.0%

柔道整復師国家試験(第11期)				
試験成績		平成24年度(第21回)24年3月実施		
		受験者	合格者	合格率
現役受験者	柔道整復師	106	96	90.6%
全国現役受験者	柔道整復師	5073	4244	83.7%
当校のべ受験者	柔道整復師	150	102	68.0%
全国のべ平均	柔道整復師	6503	4438	68.2%

(森 優也・吉川 徹)

5. 専門学校の求人と就職状況について

(1) 本校に対する求人倍率

一般職業紹介状況（職業安定業務統計）によると、平成24年度の有効求人倍率は0.80倍となり、前年度の0.68倍を上回った。

本校の職業紹介利用者	本校の求人倍率	全国の求人倍率（参考）
139人	6.44倍	0.80倍

(2) 初任給平均額

《正社員》

	月給平均（円）	最高額（円）	最低額（円）	求人数（件）
鍼灸師	199,000	280,000	92,000	507
柔道整復師	208,000	400,000	120,000	615
学生	148,000	200,000	68,000	145

《アルバイト》

	時給平均（円）	最高額（円）	最低額（円）	求人数（件）
鍼灸師	992	1,800	750	200
柔道整復師	1,020	1,800	750	231
学生	857	1,500	750	371

平成24年賃金構造基本統計調査（初任給）によると、「医療・福祉」の産業別で19万5,700円（大卒）となっている。本校に対する正社員給与額は、最高40万円から最低9万円と、同じ有資格者でもあっても臨床経験の有無だけでなく、地域によっても大きく異なっている。

正社員の募集が前年度よりも上回っており、相変わらず売り手市場である。一方、施術所の増加により1件当りの患者数が減少しており、一部の施術所では治療時間を頻繁に変更したり、人員削減やアルバイト雇用へ変更したりして収益の確保に努めている。

また、正社員を希望する求職者は、待遇面で社会保険制度や労働時間に重点をおいて就職活動をする求職者が増えている。その傾向を受けて社会保険制度を導入、検討する施術所も増えてきている。

(3) 学生動態

例年、卒業を迎える学生が就職活動へと行動する時期は家験後からがピークとなるが、平成24年度は年末の就職・開業支援講座の効果もあり、年明けから就職活動を開始する学生が増えた。また、業界の就職情報誌によると、全国的に就職活動を開始する時期が年々早まっており、年内に内定を獲得し、安心して国家試験に取り組む傾向にあるとあった。本校の学生にも同様の動きが見られ、25年度の就職相談会を前倒して実施し、就職活動において他校に後れを取らないように取り組みたいと考える。

昨年度同様に就職活動が長期化する学生が増えてきている。特徴の一つは、就職活動の基本的な部分、履歴書の書き方、面接に臨む服装・身だしなみ、志望動機が不十分なことにより不採用が続き長期化するケース。もう一つは、施術先から採用内定をもらってから、治療内容、社会保険制度加入の有無、労働時間等の条件面で悩むあまり決意できず長期化するケースである。これは、業界の売り手市場という背景が影響していると考えられる。

これらの対応として、個人のこれまでの人生経験や性格に起因していることもあり、早急な対策を講じることは難しいが、学生一人ひとりに合った個別指導を通して改善を図りたいと考える。

また、卒業生の転職相談数は前年比22.6%増となっている。一方、施術所からは即戦力となる有資格者を希望するところも増えてきており、施術所と卒業生の間を取り持つシステムを25年度下半期に準備する予定である。

(4) 就職・開業支援講座

8月8日(水)

『90分間で解る!!あなたのホームページに必要なこと。』	受講者数 24名
『【Jimdo】ホームページを作るのに専門知識はいりません』	受講者数 31名
『社会人のマナー・常識特訓講座』	受講者数 5名
『治療家がSNSを活用する為に必要な3つのこと』	受講者数 35名
『無料で始める!!「トリプルWEBで認知度UP↑SNS×ブログ×HP活用術」』	受講者数 39名
『鍼灸整骨院 独立開業の魅力』	受講者数 35名

8月9日(木)

『かづきれいこ監修 リハビリメイク ～外観の社会学～「顔と心と体」』	受講者数 27名
『相手の真意をつかむ”聴き方”をマスターしよう』	受講者数 24名
『会いたくなる応募書類作成講座』	受講者数 9名
『就活と仕事に役立つ面接対策講座』	受講者数 7名

12月26日(水)

『間違いのない就職先の探し方』	受講者数 16名
『患者様・ご利用者様の心を癒す接遇』	受講者数 23名
『かづきれいこ監修 リハビリメイク ～外観の社会学～「顔と心と体」』	受講者数 22名

3月13日(水)

『女子力UP!メイク講座』	受講者数 19名
『美容鍼灸 成功と失敗の分かれ道』	受講者数 38名
『保険制度体系から請求実務とレセプト』	受講者数 10名

3月14日(木)

『保険請求の実情と柔道整復師を取り巻く業界事情』	受講者数 15名
『これからの時代に求められる国家資格を持ったトレーナーの新しい生き方』	受講者数 39名
『夢を叶えるストーリー思考術』	受講者数 30名

平成24年度より、学生と卒業生のさらなる知識向上と視野拡大を図る目的で、各業界で活躍している方を講師として招いて「就職・開業支援特別講座」を3回実施した。当初は鍼灸学科の学生が多かったが、回を重ねるごとに講座の認知度も上がり卒業生と柔道整復学科の学生も増えた。講座に対する要望を学生と卒業生からヒアリングしながら25年度も引き続き実施していく。

(5) 求人検索システム（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月間	累計アクセス数	14,611	13,495	10,449	9,223	7,135	8,361	
	累計訪問者数	1,314	1,078	837	830	773	859	
一日当たり	アクセス数	平均	487	435	348	297	230	278
		最大	935	1,141	900	644	552	626
	訪問者数	平均	43	34	27	26	24	28
		最大	78	62	39	45	43	43
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		18,447	16,406	9,742	12,576	10,363	12,384	
		1,212	1,155	1,051	1,223	1,157	1,395	
		595	546	314	405	370	399	
		4,580	1,894	1,058	1,100	1,007	776	
		39	38	33	39	41	45	
		66	60	53	59	66	71	

施術所からの求人数に対し、就職を希望する学生数が少ない状況である。この状況を改善するため、平成24年度の新入生から求人検索システムのIDとPASSを掲載したカードの配布を始めた。その結果、求人検索システムの利用者数は前年度比18%増加、紹介件数は5%増加した。引き続き学生に対しては求人検索システムの周知を図っていく。また、卒業生に対しても校友会報で利用の案内を告知し、有資格者を希望する施術所の要望に応え、求人依頼を継続的に得たいと考える。同時に就職相談においても学生の要望をしっかりと聞き取り、ミスマッチのない就職指導を心掛けたいと考える。

求人検索システムを利用できる端末について、スマートフォンおよびタブレット端末の所有者数の増加に比例して、高校新卒者やパソコン操作に不慣れな学生が増えており、簡単に操作できるスマートフォンでの利用を望む声が多くなっている。この声を受けて25年度上半期には求人検索システムをスマートフォン対応にする。

また、求人検索システムに卒業生の転職希望者と有資格者を希望する施術所の間を取り持つシステム「転職マッチング機能」を下半期に準備し、卒業生と施術所の要望に応じて信頼関係を築き、継続的に安定した求人数を保てるよう努めたいと考える。

(初瀬川 初雄)

6. 森ノ宮医療学園専門学校奨学金について

(1) 日本学生支援機構奨学金

- 平成24年度中に本校在學生に貸与された奨学金総額（入学時特別増額含む）
4億6,856万円
- 奨学生数（全学年中）
391人
- 月額貸与額平均（併用貸与者含む）
9万4,599円

《奨学生数の推移》 (前年度比)

新規採用	期末満期（卒業等）	期中異動（退学等）	次年度継続希望
171人（25%増）	126人（3%増）	20人（41%減）	257人（17%増）

《新規採用者内訳》 (単位：人)

	予約採用	定期採用	追加採用	緊急応急	合計
一種	3	9	—	0	12
二種	57	76	24	2	159
合計	60	85	24	2	171

高校最終学年で進学先の奨学金貸与を認める予約採用割合は、高校新卒者の入学者数が増えたことを受け平成23年度の2倍となった。現在の景気低迷に対する申込数の増加は本校だけに限ったことではなく、日本学生支援機構の連絡協議会において定期採用者枠の拡大を望む声が毎回多く寄せられている。その結果、定期採用に漏れる学生が24名と減少し、採用割合は平成23年度に引き続き100%となった。平成24年度新規採用した奨学生は171名となり、8年連続100名超を更新することとなった。

日本学生支援機構全体での近年奨学金の返還に係る延滞額及び延滞人数が増加し続け、平成21年度中に返還すべき額4384億円に対して、850億円が未返還となっており、延滞人数は約34万人となっている。返還金の回収状況は、憂慮すべき状況である。機構では、この現状を厳粛に受け止め、サービサーを導入しての督促の強化、学校への直接指導など対策を実行している。本校の延滞率は全国平均レベルを下回っているが、採用枠が縮小されないよう延滞率等の改善に向け、貸与終了者の返還意識を高めることを継続的に指導している。

(2) オリコ教育ローン

《新規採用者内訳》 (単位：回) (単位：円)

	入金回数	入金総額
平成24年4月～平成25年3月	41	23,668,000

学納金の延滞納を未然に防ぐことを目的とし、平成24年度の中期学納金からオリコ教育ローンの案内を納付書に同封することを始めた結果、前年度の3倍の利用者、4倍の入金総額となり、全体的に延滞納の割合を低くすることに成功した。しかし、現政権の経済政策による景気低迷の脱却には時間がかかると考えられ、オリコ教育ローンの需要は今後も増えると考えられる。

また、金利についてオリコとの交渉の結果、平成25年度から金利を4.3%まで引き下げることができ、学生にとってさらに利用しやすくなる。海外研修参加費、アロマ講座等の費用にも扱えるようになってきているが、周知ができていないため利用者がいない状況である。これから研修や講座に利用できることを案内し、学習の機会損失にならないよう努めたい。

(初瀬川 初雄)

7. 教務部門

平成 24 年度は、入学定員数確保を目標に、教務部門は事務・広報と一層連携を強くし、学校説明会等の企画から運営を見直し、また教職員による高校への出張講義をより一層積極的に実施した。その結果 330 名の入学者を確保し、目標数に対して 110%の成果を得ることができた。

教務では、鍼灸師・柔道整復師が職業として魅力的であることを第一に考え、①良好な学習環境の整備や在校生のケア、さらに卒業生の就職や開業など経済的な安定化へのアシスト。②本学は「臨床の森ノ宮」を本校の重要な根本的精神として常に他校をリードし、開学以来、優秀な卒業生を世に送り出してきた。その伝統を継承し、附属診療所での臨床実習の質の向上をはじめ、学外鍼灸院、医療関係、さらに業界はもとより他業種との連携や活用を検討し深める。③学生に対する指導、対応においての教職員の質の維持向上、④教員自身が学会等での発表、投稿を積極的に行い学術的なスキルアップを図る 4 点をメインに取り組んだ。

以下、平成 24 年度の実績を報告する。

1. 受験生の確保、教育環境整備や在校中のケア、卒業後の就職や開業の支援。

①. 受験生の確保

教職員・広報一丸での学校説明会の実施、見学者に対するきめ細やかな対応。さらに、世間一般への鍼灸および本校の認知度を高めるべく、高校等への出張訪問を実施した。→25 年度も継続する。

②. 教育環境整備計画・在校中のケア

24 年度は本校舎やアネックス校舎を活用し、教育の充実を計った。具体的には、正規の授業や希望者へのゼミの実施(補講、アロマ、統計、パソコン講座等)、さらに学内外の研究会、勉強会への提供を実施した。→25 年度も継続する。

③鍼灸業界との連携と卒業後の支援

大阪府鍼灸師会・大阪府鍼灸マッサージ師会・柔道整復師会との連携を強化した。講師派遣や会場提供を行い、さらに就職相談会等の開催で業界との連携を密にした。→25 年度も継続する。

2. 「臨床の森ノ宮」は本校の重要な柱で、附属診療所での臨床実習での質の向上。

臨床を意識した授業や臨床実習、学外医療機関、鍼灸院等での見学実習での質の向上を計った。→25 年度も継続する。

3. 教員の充実とスキルアップ

①FD・新人研修等を実施し教員の資質向上を図る。

新人研修を実施した。FDは人権に関しては「パワーハラスメント・セクシャルハラスメント」、「災害時初期活動と職員の行動」などを開催した。→25 年度は、さらに回数を増やし実施する。また、教員の教育技法の研修や授業見学会の開催。

③教職員の学会等での発表、学会誌への投稿を積極的に行う。

全体的には不十分であった。→25 年度は、より積極的に研究活動を奨励継続する。

④授業評価、自己点検・自己評価の実施

学生による授業評価を実施し、教員に結果を報告。効果は講師によって差があるもののよりよい授業にするための意識改革は徐々に浸透している。また、23 年度の自己点検・自己評価を行い、さらに学校関係者評価を行った。→24 年度分は、公表できるよう精度を上げる。

4. 学生指導

①鍼灸実技・解剖学・生理学などの課外授業を実施。→平成 25 年度も継続する。

②解剖見学実習を両科ともに実施し、学生の解剖学のスキルアップのみならず、生や死の倫理観を学んだ。→平成 25 年度も継続する。

③海外研修

海外研修では鍼灸学科はフロリダ研修(3 月)、柔道整復学科アドバンスコースが南オレゴン大学(6 月)で実施した。なお、鍼灸学科の中国研修は、社会情勢を鑑み中止とした。→平成 25 年度も継続する。

④国家試験合格率の向上に努めるとともに国家試験受験不合格者への支援を実施した。→25年度も継続する。

5. その他

①本校独自の3Dの教材の開発と授業への応用

解剖学や経穴等は3次元でのイメージが必須である。そのため学生の教育効果を上げる3D教材の開発と授業への応用を実施した。

②臨床実習での研修生の募集

卒業生の臨床能力アップとともに、臨床実習での教育効果を上げるために研修生を募集し、7名研修した(鍼灸学科)。→平成25年度も継続する。

6. 本来の教務の業務の洗い出しとシステム化を図る。

過去、教務は総務・学生支援課などを総合的に行っていた。現在、総務・学生支援課が機能し、24年度は、本来の教務の業務の洗い出しとシステム化を計った。

7. アメリカ、中国、ブラジル等国外との大学や病院との提携を行い、卒業生の短期研修や海外進出のアシストや日本鍼灸・柔道整復の普及や紹介のための調査研究は不十分であった。

(尾崎 朋文)

8. 専門学校図書室について

A. CASA 登録図書数 : 17,415 点

①図書概況

	図書閲覧室	貴重書室	鍼灸室	倉庫	合計
総記	374	13	0	17	404
哲学	430	13	0	8	451
歴史	255	11	0	2	268
社会科学	385	3	0	2	390
自然科学	12630	1214	134	1052	15030
技術	83	3	0	12	98
産業	36	5	0	1	42
芸術	418	4	0	37	459
言語	135	3	1	34	173
文学	75	11	0	3	89
その他	2	2	0	7	11
合計	14823	1282	135	1175	17415

①購入 : 153 点

②寄贈図書 : 24 点

③年間購読雑誌 : 23 誌

B. 年間概況

①開室 : 月～金 (10:30～21:30)

②貸出利用頻度

月	稼働 日数	貸出統計									視聴覚閲覧統計				
		柔整 1	柔整 2	柔整 3	鍼灸 1	鍼灸 2	鍼灸 3	校 友 会	教 職 員	聴 講 生	学 生	教 職 員	校 友 会	学 外	聴 講 生
4	20	24	54	49	30	101	79	87	62	0	5	6	3	0	0
5	19	29	35	52	38	110	51	62	50	3	13	0	1	0	0
6	21	28	20	34	28	46	34	98	46	3	5	1	1	0	0
7	21	9	23	50	53	61	72	66	17	4	13	1	4	0	0
8	16	4	28	82	34	53	45	69	33	1	18	0	4	0	0
9	19	31	24	41	41	107	38	50	51	1	17	0	2	0	0
10	22	86	28	11	81	102	44	82	72	1	15	5	11	0	0
11	21	22	8	7	95	91	31	60	51	2	1	2	6	0	0
12	18	17	25	19	100	119	38	47	32	0	14	5	5	0	0
1	18	21	20	23	75	126	38	71	51	0	13	1	9	0	0
2	19	21	14	15	67	76	5	71	75	0	3	8	3	3	0
3	20	39	73	0	36	73	0	71	43	0	7	0	3	0	0
合 計	234	331	352	383	678	1065	475	834	583	15	124	29	52	3	0
総 合 計		柔整=1066			鍼灸=2218			全体=4716			全体=208				

③その他利用頻度

月	稼働 日数	学外利用者統計		コピー申込み統計			ロッカー使用状況		
		初回利用	再利用	学生・校友会・学外	職員	職員遅延	ロッカー	利用不備	その他
4	20	0	3	97	29	5	150	1	0
5	19	2	5	134	49	2	168	3	1
6	21	5	4	155	23	1	198	3	0
7	21	1	5	107	33	1	220	5	1
8	16	3	4	144	9	0	121	1	0
9	19	1	4	89	21	2	177	0	0
10	22	2	10	71	36	4	221	5	1
11	21	0	2	85	40	2	233	2	2
12	18	3	3	98	55	1	166	2	0
1	18	1	0	81	36	3	158	3	0
2	19	4	8	59	12	1	196	1	0
3	20	4	5	95	14	1	99	1	0
計	234	26	53	1215	357	23	2107	27	5
総計		全体=79		全体=1572					

C. 登録状況

- 7月 : 図書購入 134種 151点
- 3月 : 蔵書点検
- : 図書購入 59種 63点(うち2点のみ23年度入荷)

D. 蔵書点検結果

- ①点検日 : 3月18日(月)～25日(月) 5日間
- ②点検範囲 : 開書書架・鍼灸室・倉庫保管分
- ③結果 : 所在不明 5点

(尾崎 朋文)

9. はりきゅうミュージアムについて

①活動状況

11月： 関西文化の日参加

②利用者概況

月	稼働 日数	はりきゅうミュージアム統計（土日は含まれず）			
		月全体	紹介・その他の見学	学校見学者	通常見学者
4	20	14	1	7	6
5	19	35	24	1	10
6	21	129	112（鍼灸科1年109）	3	14
7	21	11	0	7	4
8	16	20	12（スペイン4大専各連8）	4	4
9	19	18	7（八王子盲学校4 J I C A3）	7	4
10	22	36	31（東京さくらホテル2 千葉盲学校3 大阪医専26）	3	2
11	21	16	0	1	14
12	18	14	8（岐子セミナー）	0	14
1	18	1	0	0	1
2	19	8	0	4	4
3	20	12	0	5	7
合計	234	314	188	42	84

・団体見学は、盲学校2校、専門学校1校、岐子セミナー参加のアメリカ人があった。他に、ドイツ・スペイン・イスラエルなどからの見学者もあった。

（尾崎 朋文）

10. 森ノ宮医療学園専門学校各学科の部門報告

(1) 鍼灸学科

1. 医療資格者コースについて

22年度入学生より、カリキュラムの変更を行い、運営は順調であった。24年度から、昼間部選択コースとしてのカリキュラムを廃止し、昼間部選択コースの在籍学生は2・3年生のみとなった。なお、医療資格者コースの名称は、昼間部60名の定員の中に15名程度の医療資格を有する学生を対象にしたコースを設け、継続使用することとした。

2. 昼間部・夜間部カリキュラム変更に伴う対応について

24年度入学生より、昼間部の定員を120名、夜間部の定員を60名に変更し、医療資格者コースを含め各コースともカリキュラムを統一した。特に昼間部については、定員数を午前コース60名と昼間部60名として運営し、昼間部には、医療資格を有する学生を対象に、単位認定科目数を増やした特別コース（医療資格者コース）を設け、昼間部に吸収する形で運営した。

3. 研修・研究について

8月の東洋療法学校協会教員研修会は、中和医療専門学校が主管校となり名古屋にて開催された。本校からは17名の教員が参加した。

また、10月の東洋療法学校協会学術大会は、東京中野サンプラザ（東京）で開催され、3年生医療資格者の学生3名がポスター発表を行った。一方、各学会および団体等の全国大会に対し、学生からの希望を募り、参加費の補助を行った。

4. 授業および実習等について

5月に体育実習を例年通り、昼間部・夜間部1年生を対象に救急講習を加え実施した。また、5月に解剖見学実習を昼・夜間部2・3年生および医療資格者コース2・3年を対象に実施した。7月には例年通り、サマースクールを開催し2年生においては、医療面接の講座を開講した。さらに、23年度から東洋療法学校協会の実技評価委員による、外部評価実技試験を3年生対象に実施してきたが、24年度においても11月に実施した。加えて24年度から、東洋療法学校協会による「東洋療法統一試験」（模擬試験）についても11月に参加した。

5. 臨床実習について

みどりの風鍼灸院にて、鍼灸学科学生419名に対し臨床実習を行った。特に医療資格者3年生は夜間の時間帯を利用し臨床実習を行った。

6. オープンスクールの開催について

24年度は、13回開催された学校説明会に常勤教員が担当し、参加者に対して模擬授業等を中心に企画・構成・実行してきた。

7. 大阪府教育センター「大学等オープン講座」について

8月、大阪府の幼・小・中・高・盲・聾・養護学校の先生対象の夏期セミナーに6名の参加者があり、1日の講座を実施した。

8. 会議の開催について

- 第一回教務・職員会議（前期の出席状況および成績の報告）
- 第二回教務・職員会議（中期の出席状況および成績の報告）
- 第三回教務会議（卒業式賞決定）
- 第四回教務会議・第三回職員会議（卒業生決定）
- 第五回教務会議・第四回職員会議（進級者決定）

（森 優也）

(2) 柔道整復学科

1. 研修・研究について

8月25、26日の柔道整復学校協会教員研修会は、平成医療学園専門学校が主管校となり大阪で開催され、本校から20名の教員が参加した。

また、8月24日に東京武道館で開催された柔道大会に選抜学生が参加し、男子は3位(2部)の成績を収めた。

2. 授業および実習等について

3月から9月にかけて昼・夜間部3年生を対象に、みどりの風クリニックにて実習を実施した。また、新たに昼・夜間部2年生もみどりの風クリニックにて実習を実施した。(2・3年生とも春季・夏季休暇中に夜間部、前期および中期に昼間部の実習を実施した)

アドバンスコース3年生では8月に河村医院(整形外科)にて実習を実施した。

6月および7月に解剖見学実習を昼・夜間部2・3年生およびアドバンスコース2・3年生を対象に実施した。

6月にはアドバンスコース2年生のアメリカ研修(オレゴン)を実施した。

3. みどりの風クリニックに、教員2名をスタッフ助手として(1名は週2日、1名は週1日)派遣した。

4. 会議について

定例会議(毎月1回)

第一回教務・職員会議(前期の出席状況および成績の報告)

第二回教務・職員会議(中期の出席状況および成績の報告)

第三回教務・職員会議(卒業生決定)

第四回教務(卒業式賞決定)

第五回教務・職員会議(進級者決定)

5. 募集計画

アドバンスコースの募集対策として、平成20年度より継続中の高等学校への出張体験授業や説明会を実施、さらに平成22年度から広報と連携して現役受験生の増加に対する取り組みを強化した。

結果、平成24年度のアドバンスコースでは全員高校新卒の36名の入学者を迎え、平成25年度も32名の入学者のほとんどが新卒者となるなど効果が得られた。

6. その他

テーピング、ストレッチや基礎的運動生理学等を含めた高校生対象の講習会を継続して開催している。

また、公益社団法人日本柔道整復師会においてNGO支援無償資金協力の支援を受け行っている海外に向けての日本伝統治療(柔道整復術)普及事業活動に支援を行った。

(葉山 直史)

1.1. 専門学校の施設設備について

専門学校の施設は、本校舎(地下1階、地上7階建一部6階)、アネックス校舎、緑橋校舎となっている。設備面では本校舎の地下は教職員及び来客用の駐車場、1階及び3階から6階は教室と実技室を配置し、各室にマイク、プロジェクターを設置して教育環境を整えている。また3階には図書室とはりきゅうミュージアムを設置し、また業者に事務用品・食品・弁当販売を委託している。学生ホールは1階と3階に設置し自由時間の勉強や団欒場所に利用されている。7階にある講堂は学生のクラブ活動に利用されている。学園では車通学を禁止しているので、アネックス校舎に学生支援対策として自転車・単車の通学生のための駐輪場を設けている。2階は柔道場、4階は液晶モニターを設置した多目的ホールがある。平屋の校舎には実技室を設けている。緑橋校舎は附属診療所を併設して地域医療としての機能を果たすため、1階は内科、整形外科を中心とした診察室、X線検査およびMR検査施設、2階は日常生活回復機能訓練設備を導入したリハビリテーション室、3階は教室と施術所があり一般患者の受け入れと学生の実習施設としての機能を果たしている。

校舎は3ヶ所に分かれているが環境衛生の向上を図るため、日常清掃(教室、廊下、机、いす、黒板等備品の清潔および破損状況の確認、ゴミ容器の回収・清掃、便所施設の清潔保持)、故障点検、排水溝施設清掃点検・定期清掃(毎月ワックス)の実施、空調機設備、エレベータ、自動ドア、消防設備、電力関係の各種定期保守点検、水道水の水質定期検査、ねずみ等の害虫定期駆除を実施している。これら委託管理を業者に依頼している。ゴミの分別も実施し医療産業廃棄物は専門業者に委託している。

省エネ対策として一部の蛍光灯をLEDに切り替えるとともに、照明・空調機器について人力で消灯等を図り無駄なエネルギーの削減の啓発も図ってきている。

感染症対策として、各階に消毒液を設置し教職員、学生、来校者への衛生啓発を図っている。健康対策として、学校医による教職員・学生の定期健康診断と特定健康診査を実施し、保健指導を進めている。受動喫煙対策として室内を全面禁煙とし、室外に喫煙所を設置している。更に受動喫煙対策の啓発を図り禁煙対策をすすめている。バリアフリー対策は各校舎にエレベータと障がい者用トイレを整えている。緑化計画として本校舎とアネックス校舎では植樹ならびにベンチを設置して景観と寛げる場所を提供している。

防災対策として、消防計画を作成し火災、地震等の災害予防と人命の安全、被害の軽減を図るため自衛消防訓練を実施し、教職員、学生含めて防火管理の啓蒙を図っている。今年度は同時に防災について職員に対し「大阪市の災害と学園の防災を考える」講演会を東成区の地域防災活動支援事業の後援を得て行った。施設のセキュリティ対策は各校舎に防犯カメラの設置とセキュリティカードによる扉の開閉を導入している。また夜間警備では機械警備を業者に委託している。

地域共存として、秋に学生・教職員による地域清掃を学園周辺の通学路を中心に実施している。更に東成区役所、東成区中本連合振興町会とともに地域での災害初期時における医療救護活動で連携し、東成区医師会とともに校舎利用を含めた会議を今年度も進めている。また、校舎の地域開放として土曜日に柔道場を少年柔道教室に開放し、支障のない日曜日に町会にも教室開放をしている。地域住民に秋の学園祭では校舎開放を図っている。また学園祭ではボランティア活動として教職員・学生とともに共同募金会に協力して募金活動を実施している。

(古谷 壽宏)

Ⅲ. 森ノ宮医療大学 平成 24 年度事業報告書

1. 全体的な事項

(1) 文科省履行状況調査について

大学設置時から年度進行中の平成 21 年度までに付されている文部科学省および大学設置法人審議会から指摘されている留意事項は次の通りであった。

設置時	<p>大学設置分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画書を確実に履行すること。また、開設時から 4 年制大学にふさわしい教育研究活動を行い、その水準を一層向上させるよう努めること。 ○開設時には視覚障害者の入学を考慮し、点字図書、録音図書などの教材を整備すること。(鍼灸学科)
19 年度	<p>大学設置分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○FD 委員会を計画通り開催するとともに、授業評価アンケートの組織的な実施、その結果の効果的なフィードバックを含め、ファカルディ・ディベロップメント(授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究)の一層の推進に努めること。 ○森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科の入学定員超過の是正に努めること。
	<p>法人分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生生徒納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を努めること。 ○定員超過の是正に努めること(理学療法学科)
20 年度	<p>法人分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生生徒納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を努めること。
21 年度	<p>法人分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生生徒納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を努めること。

上記の留意事項については真摯に対応し、平成 20 年度以降は大学設置分科会から特に留意事項は付されておらず、また完成年度を迎えた大学院についても設置計画履行状況調査の結果、留意事項は付されなかった。

(2) 自己点検・評価・FSD 活動について

平成 24 年度において自己点検評価・FSD 委員会は 11 回、FSD セミナーは 3 回、それぞれ開催され、委員会では平成 25 年度に迫った日本高等教育評価機構(JIHEE)による大学機関別認証評価受審に関することについて集中的に協議され、平成 24 年度自己点検評価書を作成した。

また、FD 活動の一環として公開授業週間を実施し、その結果を全教員にフィードバックした。一方、昨年度に引き続き授業アンケートの集計結果も全教員にフィードバックし、集計結果の所見(リフレクションペーパー)を学長あてに提出の上、集計結果を公表、問題点の改善に努めた。

(瀬川 敏未)

(3) 寄付金募集活動について

過去における実績と第Ⅳ期（平成24年4月1日から平成25年3月末）までの寄付者の内訳は次の通りであった。

寄付募集状況

第Ⅰ期（～平成21年3月末） 第Ⅱ期（平成21年4月1日～平成22年3月末） 第Ⅲ期（平成22年4月1日～平成23年3月末） 第Ⅳ期（平成23年4月1日～平成24年3月末）		第Ⅴ期（平成24年4月1日～平成25年3月末）	
区分	寄付金額	区分	寄付金額
役員	15,800,000	役員	—
教員	5,730,000	教員	—
職員	740,000	職員	1,000,000
非常勤	4,340,000	非常勤	—
在校生（保護者含む）	700,000	在校生（保護者含む）	—
卒業生（保護者含む）	2,940,000	卒業生（保護者含む）	1,030,000
法人	4,850,000	法人	—
その他	8,730,000	その他	5,250,000
計	43,830,000	計	7,280,000

（瀬川 敏未）

(4) 森ノ宮医療大学の施設設備について

施設設備について

西棟竣工及び東棟改修後の1年点検を行い、不良個所の修繕を行った。また、竣工7年目となる東棟については、経年劣化による施設及び設備に対して適宜修繕を行い、快適な環境になるよう努めた。

施設開放については、学事に支障がない範囲において、地域団体、学術団体、幼稚園等に開放し施設の有効活用に努めた。

その他改修工事やコンセントの増設等、当初の設計図面と現状が相違しているため、Autocadを利用し、図面データの整備を進め始めた。

省エネについて

夏期において関西電力からの節電要請に応えるため、学習環境をなるべく損なわない範囲において、エレベータ1基の停止、照明の間引き、エアコンの温度設定、消灯等の巡回を職員全員で行った。関西電力が要請している前々年度の15%削減はできなかったものの、学年進行中に関わらず、8月について12%の削減となった。冬期についても、一定の節電を実施したが、デマンドの抑制をすることが出来なかった。

衛生について

例年通り、日常清掃だけでなく、年2回の定期清掃を業者に委託し快適な環境となるよう努めている。また今年度、食堂棟については定期清掃や害虫駆除以外に厨房内の清掃を食堂スタッフとともに一層の衛生管理に努めた。

防犯対策について

昨年同様、学内及び周辺に防犯カメラと機械警備の他に、16時～22時の時間帯には警備員の常駐・巡回により、学内の防犯対策を強化している。

(成田 丈朋)

2. 学生及び教育の事項について

【在学生数・定員充足率・退学者数等の推移】

学生数		H19.5.1	H20.5.1	H21.5.1	H22.5.1	H23.5.1	H24.5.1	H25.4.1
鍼灸	1年生	75	75	67	52	59	59	68
	2年生		61	70	63	50	57	52
	3年生			53	68	56	50	54
	4年生				53	69	59	59
	計	75	136	190	236	234	225	233
定員		60	120	180	240	240	240	240
定員充足率		125.0%	113.3%	105.6%	98.3%	97.5%	93.8%	97.1%
退学者数		3	10	7	8	7	13	-
退学率		4.0%	7.4%	3.7%	3.4%	3.0%	5.8%	-

学生数		H19.5.1	H20.5.1	H21.5.1	H22.5.1	H23.5.1	H24.5.1	H25.4.1
理学	1年生	78	68	68	68	69	68	68
	2年生		75	80	69	68	71	67
	3年生			58	71	70	67	70
	4年生				55	63	64	67
	計	78	143	206	263	270	270	272
定員		60	120	180	240	240	240	240
定員充足率		130.0%	119.2%	114.4%	109.6%	112.5%	112.5%	113.3%
退学者数		3	5	10	10	9	3	-
退学率		3.8%	3.5%	4.9%	3.8%	3.3%	1.1%	-

学生数		H19.5.1	H20.5.1	H21.5.1	H22.5.1	H23.5.1	H24.5.1	H25.4.1
看護	1年生					88	88	88
	2年生						88	88
	3年生							84
	4年生							
	計					88	176	260
定員						80	160	240
定員充足率						110.0%	110.0%	108.3%
退学者数						0	4	-
退学率						0.0%	2.3%	-

学生数		H19.5.1	H20.5.1	H21.5.1	H22.5.1	H23.5.1	H24.5.1	H25.4.1
学部計	1年生	153	143	135	120	216	215	224
	2年生		136	150	132	118	216	207
	3年生			111	139	126	117	208
	4年生				108	132	123	126
	計	153	279	396	499	592	671	765
定員		120	240	360	480	560	640	720
定員充足率		127.5%	116.3%	110.0%	104.0%	105.7%	104.8%	106.3%
退学者数		6	15	17	18	16	20	-
退学率		3.9%	5.4%	4.3%	3.6%	2.7%	2.4%	-

学生数		H19.5.1	H20.5.1	H21.5.1	H22.5.1	H23.5.1	H24.5.1	H25.4.1
大学院	1年生					5	1	8
	2年生						5	1
	計					5	6	9
定員						6	12	12
定員充足率						83.3%	50.0%	75.0%
退学者数						0	1	-
退学率						0.0%	16.7%	-

(瀬川 敏未・渡辺 鮎子)

3. 森ノ宮医療大学入学試験の状況について

【平成25年度入学試験受験者数】

H25年度 鍼灸学科	第1 志望	第1 新規 人数	第2 志望	第3 志望	志願 合計	受験数				合格	辞退	入学 者
						第1	第2	第3	計			
AO	33	(32)	15	5	53	33	15	5	53	44	7	37
指定校推薦	10	(10)	0	0	10	10	0	0	10	10	0	10
学园内推薦	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別特待生	2	(1)	0	0	2	2	0	0	2	2	0	2
公募推薦	20	(18)	26	26	72	20	24	25	69	28	12	16
一般	17	(10)	14	31	62	17	14	29	60	5	2	3
社会人	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	82	(71)	55	62	199	82	53	59	194	89	21	68

H25年度 理学療法学 科	第1 志望	第1 新規 人数	第2 志望	第3 志望	志願 合計	受験数				合格	辞退	入学 者
						第1	第2	第3	計			
AO	66	(54)	15	1	82	66	15	1	82	25	0	25
指定校推薦	8	(8)	0	0	8	8	0	0	8	8	0	8
学园内推薦	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別特待生	2	(1)	0	0	2	2	0	0	2	0	0	0
公募推薦	206	(109)	45	3	254	199	43	3	245	37	8	29
一般	95	(44)	44	2	141	91	41	2	134	10	4	6
社会人	2	(1)	1	0	3	2	1	0	3	0	0	0
計	379	(217)	105	6	490	368	100	6	474	80	12	68

H25年度 看護学科	第1 志望	第1 新規 人数	第2 志望	第3 志望	志願 合計	受験数				合格	辞退	入学 者
						第1	第2	第3	計			
AO	131	(105)	0	5	136	129	0	5	134	22	0	22
指定校推薦					0				0			0
学园内推薦	1	(1)	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1
特別特待生	10	(6)	0	0	10	10	0	0	10	1	0	1
公募推薦	541	(267)	15	7	563	522	14	7	543	60	16	44
一般	391	(164)	7	5	403	367	7	5	379	32	12	20
社会人	6	(4)	0	0	6	6	0	0	6	0	0	0
計	1080	(547)	22	17	1119	1035	21	17	1073	116	28	88

H25年度 大学院研究 科	第1 志望	第1 新規 人数	第2 志望	第3 志望	志願 合計	受験数				合格	辞退	入学 者
						第1	第2	第3	計			
第一次募集	1	(1)	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1
第二次募集	4	(4)	0	0	4	4	0	0	4	4	0	4
第三次募集	3	(3)	0	0	3	3	0	0	3	3	0	3

計	8	(8)	0	0	8	8	0	0	8	8	0	8
---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(瀬川 敏未・渡辺 鮎子)

4. 保健医療学部 鍼灸学科の事項について

(1) 学科構成

- 1) 平成24年度にスポーツ特修コースおよび教職課程の新設に伴い、老田教授、上田助教が入職した。また、宮本教授が理学療法学科より鍼灸学科へ転属した。他に梶井准教授、中島講師、赤丸講師、鈴木信講師が入職した。青井技術職員1名が24年1月末で退職した。結果的に、平成24年度末における専任教員は、教授8名、准教授4名、講師10名、助教5名、助手1名であった。
- 2) 研究員等については、客員教授4名、客員講師1名、客員研究員4名、研究員9名となった。
- 3) 鍼灸臨床系授業を中心として鍼灸師のティーチング・アシスタント(TA)9名をパート雇用した。
- 4) 学科内を「臨床鍼灸部門」「基礎鍼灸部門」「教育共通部門」「スポーツ特修・教職部門」に分割し、役割分担を明確にした。「スポーツ特修・教職部門」の会議として、「スポーツ特修コース運営委員会」を構成し、定期的に会議を行った。

(2) 行事(鍼灸学科に関連するもののみ)

- | | |
|----------|---|
| 5月8日 | 第8回森ノ宮医療大学学術セミナー担当(鍋田講師) |
| 8月21・22日 | 第21回鍼灸の研究と教育に関する研究会(大阪)を企画・開催 |
| 8月7日 | 第11回森ノ宮医療大学学術セミナー担当(澤田准教授) |
| 10月20日 | 大阪ヘルスジャンボリー(長居公園)において健康相談ブースを実施 |
| 12月4日 | 第14回森ノ宮医療大学学術セミナー担当(仲西教授) |
| 1月13日 | 大阪府立急性期・総合医療センターにおける「ふれあい病院探検隊」で「はり・きゅう施術体験」を実施 |
| 2月24日 | はり師・きゅう師国家試験(桃山学院大学) |
| 3月5日 | 第17回森ノ宮医療大学学術セミナー担当(永瀬教授) |

(3) 教育

- 1) 担任教員は、1年生を辻・涌田、2年生を松熊・増山、3年生を仲西・辻丸、4年生を澤田・小島・が担当した。3・4年生の指導にはゼミ教員も参加した。
- 2) 1年生はキャリアデザインに一般教養試験や面接トレーニングなどが組み込まれ、初年次教育の充実を図った。
- 3) 附属施術所実習の実習回数を増加させ、カンファレンスと連動して実技教育の充実を図った。
- 4) 2年次に附属施術所実習前評価として、客観的臨床能力試験(OSCE)を2月に導入した。
- 5) 4年次に卒業実技試験として、客観的臨床能力試験(OSCE)を12月に導入した。
- 6) 国家試験対策の一環として実力試験1回、模擬試験8回を実施した。模擬試験問題は専任教員がローテーションで分担して作成した。
- 7) 国家試験対策の補助として夏季および直前(2月)に補習授業を行った。また、各模擬試験の結果を踏まえて、毎週定期的に補習授業を行った。
- 8) 模擬試験の結果を踏まえて、学習支援センターと連動して課題指導を行った。
- 9) はり師・きゅう師国家試験の結果、受験者47名のうちはり師合格者は43名(91.5%)、きゅう師合格者は44名(93.6%)であった。国家試験を受験した私立大学内では1位の結果であった。
- 10) 既卒者を対象として、国家試験対策授業の聴講生を受け入れた。既卒者でははり師を11名受験して6名合格(54.5%)、きゅう師を15名受験して9名合格(60%)であった。
- 11) 卒業研究の中間報告および最終報告会を開催し、卒業論文を提出させた。また、卒業研究論文抄録集を発行した。

(4)研究

- 1) 学科専任教員による研究業績は、査読付き学術論文 14 編（うち英語 9 編）、査読なし学術論文 20 編（うち英語 1 編）、著書 14 編（うち英語 0 編）、専門分野における解説・記事 10 編（うち英語 0 編）、一般向け解説・記事 1 編、学会発表 72 題（うち国際 14 題）、講習会講師等 29 件であった。平成 23 年度よりも著しく増加した。
- 2) 外部研究費獲得は、研究代表者として、日本学術振興会科学研究費補助金 7 件（山下、宮本、松熊、鍋田、川畑、中原、上田）、兵庫県柔道整復師会研究助成金 1 件（川畑）、東洋療法研修試験財団助成金 1 件（山下）、全日本鍼灸学会研究助成 1 件（鍋田）であった。平成 23 年度よりも件数・助成額ともに増加した。

(5)社会貢献・国際交流

- 1) 本学開催の 3 回の市民公開講座において、理学療法学科・看護学科とともに本学科の講師を派遣した。
- 2) 8 月、スペインで日本式鍼灸治療を行う Miquel Masgrau 医師に対し、本学における鍼灸施術および学園はりきゅうミュージアムを案内し、情報交換した。
- 3) 10 月、オーストラリアの Benjamin Chant 鍼灸師の日本鍼灸に関する研究に協力し、本学附属施術所を案内し、情報交換した。

(6)その他

- 1) 鍼灸学科会議を 11 回開催し、学科内の教育・研究・運営に関して議論し方針決定を行うとともに情報共有を図った。
- 2) 9 月に 1 泊で教員研修会を開催した。学科の中期計画および今後の方針について協議した。
- 3) スポーツ特修コース運営委員会を 9 回開催した。
- 4) 学科教員で分担して指定校推薦対象校などへの高校訪問や出張講義を行い、大学認知度の促進と優秀な入学生の確保に努めた。
- 5) 就職指導の一環として、学科内就職ガイダンスを 3 年生および 4 年生を対象として実施した。

（山下 仁，鍋田 智之）

5. 保健医療学部 理学療法学科の事項について

平成24年度 報告

1. 人員

平成24年度採用者 3名：澤田優子、開田千鶴、中 正美

平成24年度退職者 1名：中川 司

2. 教育

1) 授業内容

①授業手法の見直しと改善を行った。成績不良者に対する個人面談を実施した。

②試験等の評価方法と判定基準の再設定。

③国家試験を意識した、講義内容の充実を目指した。

2) 国家試験対策

(1) 平成24年度 国家試験結果

全体	受験者数	78名	合格者数	70名	合格率	89.7%
----	------	-----	------	-----	-----	-------

新卒者	受験者数	62名	合格者数	59名	合格率	95.2%
-----	------	-----	------	-----	-----	-------

既卒者	受験者数	16名	合格者数	11名	合格率	68.8%
-----	------	-----	------	-----	-----	-------

(2) 国家試験対策行程

対象を、4年次学生ならびに既卒希望者として対策を組む。

4年生においては、前期と後期に2回の臨床総合実習があり、学内における国家試験対策授業および模擬試験を実施し、学生の目標までの進捗状況の把握、学生個別の問題点の抽出、個人面談、問題点克服の個人指導を実施する。既卒者における希望者については、聴講生として、4年生と同様に実施する。模擬試験、講義、補講の年間スケジュールを以下に示す。

① 試験（第1回学内模試：第47回国家試験問題を使用）4月2日実施

② 試験（第2回学内模試：アイペック提供のサプリを使用）4月3日実施

国家試験対策 第1クール

③ 補講（37コマ）（実習2期学生対象）4～5月実施

④ 試験（第3回学内模試：創作問題）5月29日、6月5日実施

国家試験対策 第2クール

⑤ 補講（37コマ）（実習1期学生対象）6～7月実施

⑥ 試験（第4回学内模試：創作問題）7月31日実施

→夏期集中対策補習対象学生決定

国家試験対策 第3クール

⑦ 補講（学科主催 東京アカデミー講師による夏期集中講座）8月7日実施

⑧ 試験（第1回 外部業者模試〔医歯薬①〕）8月16日実施

+ α 学科教員による少人数制集中補習継続実施

+ α 学習支援センターによるセンターアシスタント継続実施

国家試験対策 第4クール

⑨ 試験（第5回学内模試：創作問題）10月23日実施

⑩ 授業（理学療法セミナー：45コマ）10月下旬～11月実施

+ α 学科教員による少人数制集中補習継続実施

+ α 学習支援センターによるセンターアシスタント継続実施

国家試験対策 第5クール

⑪ 試験（第2回 外部業者模試〔医歯薬②〕）8月16日実施

- ⑫ 補講（学科主催 東京アカデミー講師による冬期集中講座 4日間計20コマ）
12月17、24、25日、1月10日実施
 - ⑬ 補講（学習支援センター主催 大阪行岡医療大学講師による特別講演
12月21日実施
 - ⑭ 試験（第3回 外部業者模試（[アイベック①]））12月19日実施
 - ⑮ 試験（第4回 外部業者模試（[アイベック②]））1月9日実施
 - ⑯ 試験（第5回 外部業者模試（[アイベック③]））1月23日実施
 - ⑰ 試験（第6回 外部業者模試（[医歯薬③]））2月1日実施
 - ⑱ 試験（第7回 外部業者模試（[アイベック④]））2月6日実施
 - ⑲ 試験（理学療法セミナー定期試験）1月21日、2月4日
+ α 学科教員による少人数制集中補習継続実施
+ α 学習支援センターによるセンターアシスタント継続実施
- 国家試験対策（第6クール）
- ⑳ 試験（理学療法セミナー追再試験）2月18日実施
+ α 学科教員による少人数制集中補習継続実施
+ α 学習支援センターによるセンターアシスタント継続実施

(3) まとめ

- ・昨年度まで実施されていた4年次総合臨床実習の第4期が無くなり、11月より、対策が学生全体で早期から可能となった。
- ・卒業判定のため、理学療法セミナーの試験内容を国家試験と同じ形態として実施した。
- ・3期生全員が合格した要因として、国家試験を視野に入れて普通授業を実施したことがあげられる。

3) 平成26年度以降のカリキュラム作成

平成26年度カリキュラム改訂について、学生の単位修得に余裕を持たせること。また、早期に実習を終え、国家試験対策期間を多くとることを目的に行った。

4) 担任制

- ①担任制における問題点を踏まえ、そのあり方を検討した結果、学生からの相談や学生の生活内容が把握しやすくなった。
- ②各学年の担任設置の改善により、各学年の連携がとりやすくなった。

5) 臨床実習

1年次：アーリーエクスポージャーを基礎ゼミナールの一環として施設見学を実施し、理学療法士の活動を知ることと勉学への意欲作りを目的に行った。
実施は、平成24年7月に2班に分かれ実施した。

2年次：臨床見学実習

実施期間 1期：平成24年8月6日～8月10日
2期：平成24年8月13日～8月17日
3期：平成24年8月20日～8月24日

患者との触れあいコミュニケーションをとること、施設での理学療法士の役割や理学療法部門の位置づけなどを学習した。

3年次：臨床評価実習

実施期間 1期：平成24年8月6日～8月24日
2期：平成24年8月24日～9月7日
3期：平成25年2月4日～2月22日
4期：平成25年2月25日～3月15日

3週間の実習にて、患者の検査測定、問題点抽出、理学療法プログラムの立案などを行い、症例レポートとして障害をまとめ考察した。

4年次：臨床総合実習

実施期間 1期：平成24年4月9日～6月1日

2期：平成24年6月4日～7月27日

3期：平成24年8月27日～10月19日

(1) 例年行っていた、4期の実習期間を4期目の実習をなくし3期とした。

これにより、全体で行う集中した国家試験対策期間を2ヶ月早めることが可能となり、国家試験合格率の向上につながったと思われる。

(2) 阪和第二泉北病院にて、教員が参加しての臨床実習を開始し、学生の問題点や学内教育との関連を知ることができ、今後の講義に役立つ情報が得られた。

①学外実習地との連携を強化し、連絡をより密にした。

②評価表を改変し、より学生指導に役立つものとした。

③平成25年度の実習のためのガイドラインについて、学内で行う実習オリエンテーションを再企画した。

6) 平成24年度留年・休学・退学者

留年者 1名

休学者 1名

退学者 4名

3. 入試

1) 理学療法学科のアドミッションポリシーをもとに、受け入れ態勢を検討した。

2) 受験者数の増大

3) AC委員会への積極的な取り組み

4. 研究

1) 論文

海外 6 国内 2

1) 学会発表・座長

海外 0 国内 15

2) 研修会・講習会・シンポジウムでの演者

海外 1 国内 17

3) 著書 3

4) 共同研究・国際交流 6

5) 外部研究費取得 5

5. 社会貢献（公開講座・啓発活動など）

市民公開講座、保健所事業、病院患者会など 17

6. 広報活動

1) 高校訪問の実施 4

2) オープンキャンパスにて高校1年生からの参加に対応した内容を取り入れた。
また、保護者向けに簡単な理学療法士将来展望を織り込んだ企画をした

7. FC・SD活動

1) 教員の意思統一

2) 積極的な参加

8. 就職支援活動

1) 教員の関係する施設および実習病院などへの学生紹介

2) 就職情報の収集

9. 施設連携

東洋医学と西洋医学の融合の研究を行うため、北野病院との連携の準備を進めてきた。これにより、鍼灸師、理学療法士、看護師の臨床実習や卒後教員、大学院生の研究が合わせて可能となる。

10. 今後の課題

- 1) 卒後教育としての研究会・講習会を計画していたが、開催ができなかった。

(金尾 顕郎, 河村 廣幸)

6. 保健医療学部 看護学科の事項について

(1) 学科構成

- 1) 平成23年度看護学科が開設され16名の教員で活動を開始し、平成24年度は以下の5名の教員が就任し総勢21名となった。

平成24年度は女性教員3名（高松佳奈助手、平川憲子助教、住田陽子講師）が産休に引き続いて育休を確保した。そのうちの1名（高松佳奈助手）は退職に至った。また佐伯恵子教授は母親の介護の必要が生じて退職に至った。

したがって実質的には19名が活動した。なお住田陽子講師の場合は講義と演習があったので、講義には非常勤講師を演習にはTAを確保した。

平成24年度就任教員

教授：藤本陽子

助教：田中晶子、重年清香、神崎真姫

助手：上田佳世

(2) 行事（看護学科のみに関するもの）

- 1) 平成24年4月14日（土）
「基礎ゼミナール」の一環として堺市「ハーベストの丘」へ行き、屋内で1コマの「基礎ゼミナール」を実施した。
- 2) 平成24年6月18日（月）13:00～ 日本教育会館一ツ橋ホール
日本看護系大学協議会定時社員総会へ出席した。
- 3) 平成24年7月13日（金）11:00～ アルカディア市ヶ谷（私学会館）
日本私立看護系大学協議会総会・講演会へ出席した。
- 4) 保健師課程教育に関する会議については以下のとおりである。
- ①平成24年8月4日（土）第27回全国保健師教育機関協議会教員研修会（岡山市）
平成24年8月5日（日）第5回スキルアップ研修会（岡山市）
 - ②平成24年8月7日（火）平成24年度東海・北陸・近畿ブロック保健師教育機関協議会第1回定例会議（神戸市）
 - ③平成24年10月23日（火）第1回全国保健師教育機関協議会秋季研修会（山口市）
 - ④平成25年2月7日（木）平成24年度東海・北陸・近畿ブロック保健師教育機関協議会第2回定例会議（神戸市）

(3) 教育

- 1) カリキュラムならびにシラバスにもとづいて講義、演習、実習を行った。
- 2) 実習は、1年次生は基礎看護学実習Ⅰ、2年次生は基礎看護学実習Ⅱを次のように実施した。

基礎看護学実習Ⅰ（1単位、必須科目）

平成24年8月27日（月）～8月31日（金）

大阪府立急性期・総合医療センター（3グループ）、住友病院（8グループ）、大阪鉄道病院（3グループ）に分かれて88名が実施し、全員が単位を修得した。

基礎看護学実習Ⅱ（2単位、必須科目）

平成24年9月10日（月）～9月21日（金）

大阪府立急性期・総合医療センター（2グループ）、住友病院（8グループ）、船員保険病院（2グループ）で82名が実施し、79名が単位を取得し3名は単位が認定されなかった。

- 3) 全般的な学生指導にはチューター制を導入し、原則として1年次の「基礎ゼミナール」担当者が卒業まで継続して担当する仕組みにしている。平成23年度入学生（1期生）は9グループ、平成24年度入学生（2期生）は10グループを編成した。なおチューターは原則として講師以上とし、助教や助手と複数で担当する場合が多い。チューターは必要に応じて担当学生への対応をした。対応の目的は、単位取得に関する

こと、欠席や遅刻等の学習態度に関すること、進路変更に関すること等であった。

- 4) 後期終了時点で特に専修科目(臨地実習の条件となる科目)が未修得であった学生に対し放置すると留年の可能性が大きくなるので平成25年3月25日～27日の間において3者面談を行った。3者面談の対象は1年次生4名、2年次生21名であった。欠席者は2年生の2名であった。3者面談は学生と父兄、大学側からは学科長、教務委員、チューターで行った。

- 5) 看護学科国家試験対策委員会が中心となって2年次生を対象に以下のように模擬試験ならびに結果のフィードバックを行った。

第1回：平成24年8月8日

第2回：平成25年2月15日

平成24年度に実施した模擬試験は低学年用(人体の構造と機能、病態学)であるが高学年も多く受験しているようであるが、本学は2回とも順位は低い。そこで下位20%の学生に対して国家試験対策委員会とチューターが連携をとりながら個別指導をする仕組みを作り活動を進めている。

また、外部業者(メビウス)からの国家試験ガイダンスと特別講義を以下のように実施した。

日時：平成25年2月18日(月)9:00～12:00の2コマ(1年次生対象)

13:00～16:10の2コマ(2年次生対象)

- 7) 正規のカリキュラムの他に看護学科独自で以下の講演会を計画した。

- ①平成24年10月23日(火)16:20～17:50

講師：Minori Thorpe(米国 看護麻酔士)

テーマ：看護麻酔士からみたアメリカの看護事情

- ②平成24年12月7日(金)14:40～16:10

講師：ジョゼ・アラウージョ・リマ・フィーリョ(ブラジル生命倫理委員会委員)

テーマ：エイズ対策・性教育・生命倫理、そして「生きる」ということ

(4) 研究

- 1) 看護学科専任教員による研究業績は以下のとおりである。

- ①学術論文8編
- ②著書3編
- ③学会発表21題
- ④その他

- 2) 外部研究費獲得(研究代表者)は次のとおりである。

- ①日本学術振興会科学研究費補助金3件
- ②JICA 草の根技術協力事業

(5) 社会貢献・国際交流

- ①財団法人メンタルケア協会 スペシャリスト養成講座講師
- ②公益法人 井の頭病院職員教育研修会講師
- ③泉大津市立病院看護研究指導
- ④大阪府立今宮高等学校特別非常勤講師
- ⑤大阪市立大学医学部附属病院二次救命処置コース インストラクター
- ⑥岡山県看護協会看護管理者養成ファーストレベル 講師
- ⑦日本糖尿病療養指導士認定機構認定委員
- ⑧HIV/エイズ検査事業
- ⑨介護認定審査会委員
- ⑩相愛大学人間発達学部こども発達学科非常勤講師
- ⑪震災復興支援：気仙沼、性教育講義
- ⑫大阪助産婦会「いのちの出前講座」
- ⑬フィリピン領事館セミナー
- ⑭FM COCOLO ラジオ出演
- ⑮「国際助産師の日の集い」リーダー

- ⑯パパママセミナー講師
- ⑰信愛女学院高等学校健康教育等 54 件

(6) その他

看護学科開設から学科内に会議や委員会等を設置し、細則にしたがって活動を進めてきた。それらの概要は以下のとおりである。

- ①学科会議：学科会議は学科の最高決議機関として毎月1回、合計11回開催し、教育、運営、社会活動、研究その他について審議し、学科の方針を決定し機能させてきた。
- ②領域代表者会議：基礎・成人・精神・母性・小児・公衆衛生の領域を代表する7名で構成し、原則として月1回、計13回開催し、各領域の問題、各領域に共通する問題や学科の基本的な問題等について審議し方針を決定した。
- ③基礎ゼミナール担当者会議：平成24年度「基礎ゼミナール」担当教員（10グループ、20名）ゼミナール開始前に方針を決定する会議、単位認定に関する評価会を開催した。
なお、オリエンテーションゼミナール系の3名は4月のオリエンテーションゼミナールの計画、安全な実施、評価について尽力した。
- ④カリキュラム委員会：カリキュラム委員は各領域からの1名の委員で構成し、平成24年度は8名であった。開設2年目のカリキュラム運用に伴う問題を提起し、それらを解決するための協議を重ねた。毎月1回開催した。
カリキュラム委員会の下部組織にある解剖見学実習担当委員を3名決定し平成25年度の解剖見学実習に備えた。
- ⑤臨地実習委員会：平成24年度は基礎看護学実習と領域別実習の内容を確定しそれぞれの実習要項を作成した。また平成26年度開始の「主題実習Ⅰ」についても各領域における実習内容を充実するための実習施設との交渉とそのフィードバックが図られた。本委員会も各領域から1名、合計8名で構成し、毎月1回、計11回開催した。
- ⑥国家試験対策委員会：5名の委員で構成する。2年生からの模擬試験の計画（2回）、結果のフィードバック（学生・チューター）、国家試験ガイダンスの実施、学部講師による特別講義（1, 2年次）、学生支援室との連携等について精力的に行った。
- ⑦地域連携推進委員会：この委員は地域連携（現時点では子育て支援「もりもりひろば」）に興味のある教員が委員として8名参画している。毎月1回「もりもりひろば」を実施した。
- ⑧広報委員会：7名で構成する。オープンキャンパス、高等学校訪問、学外進学相談会その他のイベントについて年間計画を立案し、教員あるいはボランティアの学生を配置し実施した。

(村上 生美)

7. 大学院保健医療学研究科保健医療学専攻の事項について

(1) 研究科構成

- 1) 平成24年度は学長1名、教授10名、准教授2名、専任講師4名、助教3名、兼任教授2名、兼任講師2名、兼任講師(非常勤講師)4名で構成された。准教授1名および兼任講師1名が退職したため、当該担当科目を授業できる本学学部講師1名および兼任講師1名を加えた。なお、教授1名および兼任講師4名以外は、本学保健医療学部教員と併任である。
- 2) 平成24年度の入学生は1名であった。2年生は1名退学して4名となった。
- 3) 平成25年度以降の教員構成について、教員選考委員会を組織して学部の専任講師以上が大学院教員を併任することについて検討し、全教員が適格であると判断した。

(2) 行事

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 4月3日 | 入学式(保健医療学部入学式と合同) |
| 9月6日 | 設置計画履行状況等調査(通称アフターケア)面接調査(於:文科省) |
| 9月12日 | 入学試験第一次募集 応募者1名、合格者1名 |
| 1月16日 | 入学試験第二次募集 応募者4名、合格者4名 |
| 2月25日 | 入学試験第三次募集 応募者3名、合格者3名 |
| 1月17日 | 特別研究最終報告会(公聴会) 4名発表 |
| 3月21日 | 特別研究中間報告会 1名発表 |

(3) 教育

- 1) 学部におけるいわゆる担任教員の役目は、特別研究の研究指導教員および研究指導補助教員(副担当教員)が担い、勉学・生活ともに個別の相談と指導を行った。
- 2) 文部科学省に提出した認可申請書にもとづき授業を実施した。
- 3) 大学院生には授業聴講と特別研究の活動以外に、ティーチング・アシスタント(TA)として保健医療学部の授業補助を行わせて、教育者の立場についても経験させた。
- 4) 2年生4名が修士論文を執筆・提出し、所定の審査過程で合格と判定し、修士(保健医療学)の学位を授与した。
- 5) 平成25年度の教育課程を改定した。

(4) 社会貢献・国際交流

- 1) 大学院1年生のうち2名が、ゴールデンウィークを利用して自主的に気仙沼における東日本大震災避難所における鍼灸施術ボランティアを実施した。

(5) その他

- 1) 平成25年2月8日付で文科省の大学院設置計画履行状況等調査の結果が通知され、本学大学院に関する留意事項は特になかった。その他意見として、入学定員を充足するため現状の検証やPR活動を行うことと、教員の年齢規程や若手教員採用などについて検討することについてコメントがあった。この点について対処することとした。
- 2) 平成24年度の入学者が1名となったことの原因分析と募集戦略の再考を行い、内外への周知を前年度よりも積極的に行った。また、授業料の減額(年間80万)および本学園職員の授業料20万円減免(入学金免除も)について、理事会の決議にもとづき平成25年度から実行することとなった。
- 3) 学士号非所有者の大学院受験資格審査に関する細則を制定した。

(山下 仁)

8. 大学経営企画室の事項について

事業報告

平成24年度の社会連携事業への取り組みについては、以下の通りである。

1) みどりウォーキング・食と健康フェスタ

開催日時：平成24年6月3日（日）9:00～15:00

開催場所：相愛大学、咲洲庁舎、森ノ宮医療大学

主催：大阪府（環境農林水産部）

共催：相愛大学、森ノ宮医療大学

目的：「みどりを感じながら、健康になろう！」をテーマにした「みどりウォーキング」を通じ、メタボ対策、老化抑制など府民の健康増進、健康管理に対する関心を高める。ひいては「みどりの大阪推進計画」の目標である「府民に緑があると感じる割合」「緑に触れた府民の割合」を高める。

後援：大阪市

本学の担当：

- ①健康講座「ウォーキングで健康になろう」講師は本学の青木元邦教授（聴講16名）
- ②ウォークラリーゴール受付、景品交換、誘導（鍼灸学科学生5名、理学療法学科学生5名）
- ③ストレッチ学習（理学療法学科教員3名、学生）
- ④血圧測定（看護学科教員2名、学生5名）
- ⑤鍼灸施術無料体験（鍼灸学科教員2名、大学院生3名）（体験者26名）
- ⑥その他運営 小島、広報 齋藤、井上

2) 市民公開講座「治療から社会復帰へのケア ―最近の進歩―」①がん

日時：平成24年6月16日（土）13:30～15:30

場所：森ノ宮医療大学 西棟6F（631・632）

主催：森ノ宮医療大学、府立急性期・総合医療センター

共催：住之江区生涯学習推進委員会

後援：大阪府、大阪市教育委員会

概要：

相互連携協定を締結している大阪府立急性期・総合医療センターとの協働で、地域貢献の一環として市民公開講座を開催し、一般市民に対して医療（病気の治療・リハビリ・予防等）に関する情報を提供し、興味・関心・理解を深めていただくことを目的として開催した。

今回初めて大阪府と大阪市教育委員会に後援名義を使用申請し、講座の広報活動として大学HPで案内すると共に、住之江区及び住之江区生涯学習関連施設6ヶ所、大阪市生涯学習センター5ヶ所、府立急性期・総合医療センターへのチラシ設置を依頼した。また、地下鉄車内の催事案内への掲載、サンケイリビング、大阪日日新聞、南港新聞への掲載等、広報室の協力のもと幅広く広報活動を行った。受講者66名。

内容：基調講演「がん診療の進歩」田中 康博 副院長

（大阪府立急性期・総合医療センター/森ノ宮医療大学客員教授）

講演Ⅰ「緩和ケアと鍼灸治療」澤田 規 准教授

（森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科）

講演Ⅱ「がん治療と理学療法」河村 廣幸 教授

（森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科）

講演Ⅲ「手術治療と看護」吉村 弥須子 教授（森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科）

3) 市民公開講座「治療から社会復帰へのケア ―最近の進歩―」②心臓病

日時：平成24年7月22日（土）13:30～15:30

場所：森ノ宮医療大学 西棟6F（631・632）

主催：森ノ宮医療大学、府立急性期・総合医療センター

共催：住之江区生涯学習推進委員会

後援：大阪府、大阪市教育委員会

受講者：46名

内容：基調講演「心臓病非薬物療法の進歩」福並 正剛 副院長

（大阪府立急性期・総合医療センター/森ノ宮医療大学客員教授）

講演Ⅰ「循環器疾患と鍼灸治療」山下 仁 教授

（森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科）

講演Ⅱ「心臓リハビリの進歩」三木屋 良輔 講師

（森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科）

講演Ⅲ「心臓病と看護」村上 生美 教授 （森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科）

4) ティール&ホワイトトリボンDAY

開催日時：平成24年9月4日（火）15:00～19:00

開催場所：京セラドーム大阪

内容：プロ野球球団オリックス・バファローズ公式戦において、市民の健康づくりを支援する大学・企業等と大阪府が共同で、「オリックス・バファローズ ティール&ホワイトトリボンDAY」を実施。子宮頸がんの予防・検診等の啓発を広く呼びかけた。

本学実施内容：教職員2名（小島賢久、寺井知子）看護学科学生16名

全来場者に対して、子宮頸がん検診等の啓発グッズおよびチラシを配布

女性の来場者に対して、子宮頸がんの認知度アンケートを実施

5) 市民公開講座「治療から社会復帰へのケア ―最近の進歩―」③脳卒中

日時：平成24年9月23日（日）13:30～15:30

場所：森ノ宮医療大学 西棟5F（531）

主催：森ノ宮医療大学、府立急性期・総合医療センター

共催：住之江区生涯学習推進委員会

後援：大阪府、大阪市教育委員会

受講者：83名

内容：基調講演「脳卒中診療の進歩」狭間 敬憲 先生

（大阪府立急性期・総合医療センター 脳卒中センター長・神経内科部長）

（森ノ宮医療大学客員教授）

講演Ⅰ「脳血管障害と鍼灸治療」鍋田 智之 講師

（森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科）

講演Ⅱ「寝たきりにならないための理学療法」金尾 顕郎 教授

（森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科）

講演Ⅲ「脳卒中と看護」大巻 悦子 教授 （森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科）

6) 御堂筋 kappo (カッポ)

開催日時：平成24年10月14日（日）12:00～16:00

開催場所：御堂筋（淀屋橋～新橋）

主催：御堂筋 kappo 実行委員会（大阪府、大阪市、国土交通省近畿地方整備局、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会、公益社団法人関西・大阪21世紀協会、公益財団法人大阪観光コンベンション協会、御堂筋まちづくりネッ

トワーク、NPO法人長堀21世紀計画の会、中之島・御堂筋SBJ連絡協議会)

内容：大阪のメインストリート御堂筋（淀屋橋～新橋）の約19kmを歩行者に開放し、多彩なプログラムを展開する企画で、今回で5回目の開催である。

本学出展内容：

①理学療法学科「寝たきり防止の体力測定と相談会」（教員3名）

（企画案）身体の運動機能は、歳とともに衰えてきます。運動器のどこが弱っているか、それをどのように鍛えればよいか、理学療法士がお答えします。

（測定内容）ファンクショナルリーチ、握力、片脚立位、長座位前屈

②看護学科「一時救命処置体験」（教員2名、学生18名）

（企画案）目の前で人が倒れた時、第一発見者が迅速に救命処置を始めることが、救命率、その人の社会復帰につながります。倒れている人を発見した時、一步を踏み出す勇気が持てるように心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）を使った一時救命処置技術の体験を行います。

（体験内容）心肺蘇生法、自動体外式除細動器（AED）

◎大学参加者（小島、河村、上田(喜)、中、吉川(有)、上田(佳)、金、寺井、井上)

7) 大阪ヘルスジャンボリー2012 「今日から作ろう、明日への健康」

開催日時：平成24年10月20日（土）11:00～16:00

開催場所：花と緑と自然の情報センター、長居公園、自然史博物館他（長居公園内）

主催：大阪市

後援：公益財団法人関西・大阪21世紀協会、健康日本21フォーラム、大阪市体育協会

協力：メタボリックシンドローム撲滅委員会、大学コンソーシアム大阪、大阪府警察

参加すこやかパートナー：セレッソ大阪・大阪市健康づくり推進協議会他

参加大学：大阪河崎リハビリテーション大学・大阪工業大学・大阪市立大学・大阪大学・大阪電気通信大学・近畿大学・相愛大学・森ノ宮医療大学

森ノ宮医療大学の出展：

①鍼灸学科（仲西、辻丸、専門学校教員）

「体質チェックと東洋医学的ツボ療法相談」

森ノ宮医療学園専門学校鍼灸学科教員と協力し、アンケートとヒアリングを用いた体質チェックと、東洋医学に基づいた養生のし方や症状に合ったツボについてのお話をした。

②理学療法学科（宮本、中原）

「運動負荷テストと呼吸循環機能の評価」

呼気ガス分析装置を用いた基礎代謝の測定と、キッズ対象にはトランポリンを用いた運動負荷テスト体験を行った。

③講堂イベント（講師：小島）

「森ノ宮医療大学の家庭でできるツボ講座」（14:30～15:00）鍼灸学科教員による公開講座経絡やツボを配した人体模型を使って、肩こりや腰痛などのツボを紹介した。

◎その他、石塚、寺井、井上

8) 連携シンポジウム「生と死を、今考えるⅢ 疫と免じるーがんと免疫の力ー」

開催日時：平成24年10月20日（土）

開催場所：大阪府立急性期・総合医療センター3階講堂

主催：府立急性期・総合医療センター、相愛大学、森ノ宮医療大学

内容：基調講演「ここまで来たがん治療ーWTI がん免疫療法最新の成果」

大阪大学大学院医学系研究科教授 杉山治夫

関連講演「がん治療に関する免疫力」

大阪府立急性期・総合医療センター 谷尾吉郎

パネルディスカッション：「免疫と健康—笑いは健康の原点」

①落語：落語家 笑福亭松喬

②ディスカッション

本学は、パネルディスカッションのパネラーとして青木元邦教授が参加した。

9) ふれあい病院探検隊

開催日時：平成25年1月13日(日) 10:00～16:00

開催場所：大阪府立急性期・総合医療センター

主催：大阪府立急性期・総合医療センター

協力：相愛大学、大阪府立大学、森ノ宮医療大学

概要：高校1・2年生対象(500名)、病院の仕事を疑似体験するイベントである。

森ノ宮医療大学の出展：

①鍼灸学科「はりと灸を体験しよう！」(体験者150名)

②理学療法学科「あなたの中心線はずれていませんか？」(体験者100名)

③看護学科「ナースのたまご ウルトラクイズ」(クイズ参加者100名)

今回のイベントでは700名を超える申込があり、当日は500名以上の高校生が参加した。

(鍼灸学科：辻丸)(理学療法学科：前田)(看護学科：村上、藤本、酒井、吉川有、上田)

10) 食と運動健康フェスタ

開催日時：平成25年2月10日(日) 10:00～16:00

開催場所：ポートタウンショッピングセンターセントラルコート

主催：相愛大学、森ノ宮医療大学

協力：農林水産省近畿農政局大阪地域センター、ポートタウンショッピングセンター、大阪港振興株式会社

後援：住之江区保健福祉センター、大学コンソーシアム大阪

森ノ宮医療大学の出展

「呼気ガス分析装置を用いた『エネルギー代謝測定』健康維持にかかせないエネルギー代謝の測定を体験してみませんか？

メタボリック症候群や生活習慣病の予防・改善を目的として、本学と相愛大学が連携した「おおさか食と運動健康フェスタ」を主催した。本学からは6名の学生スタッフ(現3回生)と4名の教職員が参加し、地域住民を対象に、呼気ガス分析装置を用いたエネルギー代謝測定を行った。

学生スタッフは2年次における「健康・スポーツ科学」で習得した知識・技能を実践することができる絶好の機会となり、測定のみにとどまらず、得られたデータからカウンセリングも行うことで来場者の満足度をより高めた。来場者数は51名であり、中には毎年このイベントに参加されている地域住民の方もおられた。本学としては学生の実習の場および広報活動、地域住民には健康に関する自己啓発となる双方にとって、大変有意義な時間を過ごすことができた。(鍼灸学科 上田真也 記)

11) もりもりひろば(平成24年度の活動)

本学看護学科が主催する「森ノ宮医療大学地域子育て支援 もりもりひろば」は、近隣在住の乳幼児とその家族を対象に、親子の絆および近隣のコミュニティの絆を深めることを目的とするプロジェクトである。具体的な内容としては、看護学科教員が健康相談・育児相談・絵本の読み聞かせ・遊び方への提案等を行なうものである。内容は以下の通りである。

回	日程	健康教育等	参加者
1	平成23年11月6日(日)	子どもの体調が悪い時の家庭看護	34組86名
2	平成23年12月10日(土)	お母さんのリラクゼーション	14組29名

3	平成24年1月21日(土)	みんなで「わ」になろう	12組27名
4	平成24年2月18日(土)	親子体操	15組32名
5	平成24年3月17日(土)	座談会、アンケート	9組20名
6	平成24年4月7日(土)	赤ちゃんの睡眠	9組20名
7	平成24年5月19日(土)	親子のふれあいあそび	14組33名
8	平成24年6月9日(土)	離乳食について(食育)	21組45名
9	平成24年7月7日(土)	小児鍼から学ぶファミリーケア	19組39名
10	平成24年8月4日(土)	赤ちゃんの事故防止	7組14名
11	平成24年10月6日(土)	座談会(輪になって話そう)	12組24名
12	平成24年11月4日(日)	お母さんのリラクゼーション、ベビーマッサージ等	17組27名
13	平成24年12月1日(土)	赤ちゃんの運動発達について、遊びの広場、子育て相談等	16組34名
14	平成25年1月19日(土)	冬の過ごし方、絵本読み聞かせ、遊びの広場、子育て相談	3組6名
15	平成25年2月23日(土)	座談会	8組18名
16	平成25年3月16日(土)	お母さんのヨガ	8組16名

12) ライフイノベーション

【以下の報告については、公益財団法人大阪市都市型産業振興センター「ライフイノベーション推進実証実験事業報告書」(2013年3月28日)を基に一部内容を改変して転載させていただきました。】

大阪市では、健康・医療をはじめとする分野での中小企業の新製品・サービス開発プロセスを加速し、新ビジネスの創出を促進するため、実証実験を円滑に行うことのできる環境を整備・提供する「ライフイノベーション推進実証実験事業」を行なっている。

公益財団法人大阪市都市型産業振興センター新産業創造推進室では、大阪市経済局より、本事業を受託し、企業や研究機関が希望する実証実験を実施している。

大阪市は本事業咲洲地区を中心に本事業を実施し、当該地区における実証実験フィールドとして、本学以外に社会福祉法人難波福祉会、ATC エイジレスセンターに協力を依頼し、実証実験を実施した。

特に、本学での実証実験では、企業とのヒアリングおよび実験手法の考案から実施、結果報告に至るまで、本学が協力したことに対し、大阪市から感謝された。

以下に、実験の実施内容および実施結果について報告する。

II. 実証実験実施機関

No	日程	実施機関	製品
1	12/3~12/25	株式会社ERテック	上肢リハビリ訓練装置
2	12/13	Alte27	転倒防止サポーター
3	12/17~1/9	株式会社アイン	ナノミストバス(ヘッドスパ)
4	2/7~2/21	株式会社スリーヒルズ	PBサポーター
5	3/5	あっと株式会社	リカバリーマット(rePad)
6	3/6	エビス電子株式会社	LED 近赤君

III. 各実験について

1.

【実験実施者】株式会社ERテック

【実施期間】平成24年12月3日~12月25日

【実験場所】森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 実習室

【担当教官】森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 専任講師 上田喜敏

【被験者】 保健医療学部 理学療法学科 学生 10名

【学内の使用機器】 特になし

【製品概要】 脳梗塞に伴う上肢運動機能障がい者のリハビリを主な目的とした上肢リハビリ訓練装置である。患者がアーム先端のグリップを握り、画像の指示に従ってゲーム感覚でアームを繰り返し動かすうちに、脳に新しい神経回路が形成され運動機能が回復するというニューロリハビリテーションの考えに基づくものである。ER流体ブレーキの優れた力覚呈示機能による、画像に連動した仮想現実感の力覚が、訓練効果を高める。

【実験内容】 上肢リハビリ訓練装置を、大学内の実習室に約3週間設置し、理学療法学科の講師や学生に、使用してもらい、感想や意見を、アンケートにて取得した。また、担当された理学療法士の教員には、インタビューを実施し、意見・感想・課題・改良点などについて回答を得た。

【実験結果】 使用後のアンケート（5段階評価：回答者10名）では、装置の使いやすさに関しては平均で3.4点、リハビリ効果に期待が持てるかに関しては4.2点であり、リハビリに役立つとの概ね良好な評価を得た。ゲーム感覚で適度な抵抗を感じながら楽しく訓練できるため、集中力の向上や適度な運動達成感（疲労感）に繋がり、脳梗塞以外にも良さそうとの評価があった。また期待はしていたが、半側空間無視の検査に使えるのだとの評価も得られた。（別紙1参照）

【実験実施者のコメント】

各学生に通りの訓練内容を確かめていただいたようで、好奇心の強い学生も多く居られ、細かな面についてもいろいろとご指摘をいただいた。訓練ソフトの内容に関しては、指導の上田先生から学生に説明いただいたが、当方が直接学生に説明すれば、ソフトの意味をより深く理解いただけたものと反省の感がある。指導の上田先生はロボットリハビリに強い関心を抱かれており、適切な施設で好意的な先生の下で実験していただいたと感謝している。



上肢リハビリ訓練装置の試用実験

2.

【実験実施者】 株式会社 Alte27

【実施日】 平成24年12月13日

【実験場所】 森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 実習室

【担当教官】 森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 教授 河村廣幸

森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 講師 澤田優子

【被験者】 Alte27が用意した男性3名、女性2名の計5名

【学内の使用機器】 サーモグラフィ、握力計、背筋力計、ビデオカメラ2台、ハンドヘルドダイナモメーター

【製品概要】足の血流促進、外反母趾・扁平足予防、立ち仕事、デスクワークの膝・腰痛疲労軽減、高齢者の踏ん張る力増進、転倒予防用靴下型サポーターである。

【実験内容】Alte27が用意した50～80代の被験者5名を対象に、足の表面温度、歩行速度、握力、下肢伸展筋力、肩外転筋力、肘屈曲筋力の測定を行い、製品の有無における測定数値の比較検証を行なった。(別紙2参照)

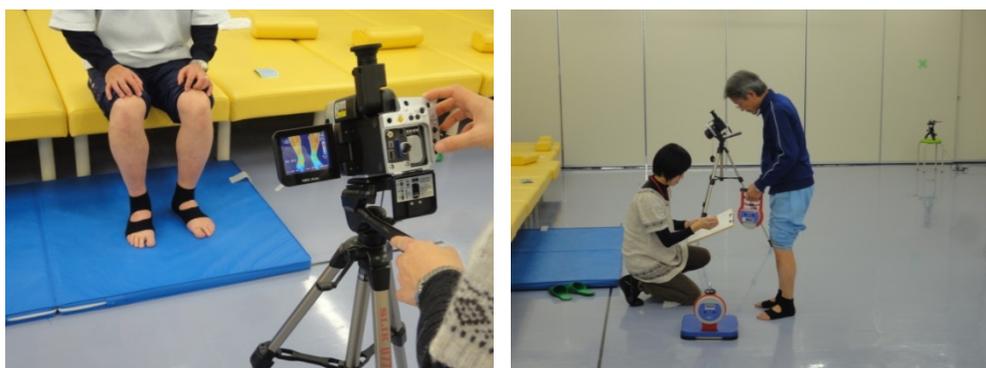
【実験結果】森ノ宮医療大学 保健医療学部 河村教授より、計測の結果、以下のコメントがあった。

「総合的に考えて、足底挿板の効果は有るとも無いとも言える結果かと思います。大きく見れば、効果を認める人は半数以上はいるのではという予想は立ちますが、実証するには人数が不足しています。また年齢層も性別も比較的ばらついていたため、一定の傾向はつかみきれていないといえます。

好意的に見れば、歩きやすさを示す自由歩行速度は改善しており、筋力の面からは握力はほぼ全員で向上を示し、肩外転筋力も握力ほどではないにしろ良くなっています。それより少し率は悪いながら下肢伸展筋力の向上は有るといえます。」

【実験実施者のコメント】

今回の足の改善(アシスト)用具はサポーター型を使用したが、サポーターを履く時に被験者によっては足裏と改善用具の位置が少しずれた被験者もいたようで、再度、インソール型で靴に挿入して実験ができれば、必ず安定した数値が今以上に取得できると考える。



転倒防止サポーターの計測実験

3.

【実験実施者】株式会社アイン

【実施期間】平成24年12月17日～25年1月9日

【実験場所】森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 実習室

【担当教官】森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 教授 村上生美

【被験者】保健医療学部 看護学科 講師・学生15名

【学内の使用機器】洗面台、車椅子

【製品概要】寝たきりの方を洗髪することは、移乗も含め介護者には、負担が大きく簡易な洗髪機器が望まれている。弊社では、混合ミストを活用し、通常の洗髪で使用するお湯の量を1/10～1/20で洗髪が可能な機器を開発した。

これだと、ベッドに寝たまゝの状態での洗髪ができ、介護者にも介護される側の方も、体への負担が少なくなる。

【実験内容】ナノミストバス(ヘッドスパ)を、森ノ宮医療大学 看護学科の教授、講師、学生を対象に使用していただき使用感等の評価をアンケートで取得し、そこから、製品の改良・改善の検討を行なう目的で実施した。

【実験結果】アンケート結果によると、本製品で洗髪に使用した湯量は、従来どおり1～2Lで完結したようだ。また、洗髪効果についても、従来の洗髪とほぼ変わらない満足感があった。

洗髪時間についても、従来の方法と比較すると2分の1から、3分の1に短縮できたとの感想があった。ネガティブな意見としては、お湯を出す際に、ボタンを押し続けたいけない点や、コンプレッサーの音が、やかましいとか、シャワーヘッドを地肌から離すと、水温が急激に下がる等のご指摘があった。

【実験実施者のコメント】

実験実施日と都合があわず、実際に体験していただいているところに同席できず、インタビューによるヒアリングができなかったのは、残念である。多くの学生さんに体験いただき、ありがたく思っている。



ヘッドスパの試用実験

4.

【実験実施者】 株式会社スリーヒルズ

【実施期間】 平成25年2月7日～2月21日

【実験場所】 森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 実習室

【担当教官】 森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 講師 前田薫

【被験者】 保健医療学部 理学療法学科 学生8名

【学内の使用機器】 筋電装置、床反力計

【製品概要】 安全でより高いレベルの遠赤外線技術から開発した特性遠赤外線素材「ピュアブラック」を使用したサポーター。

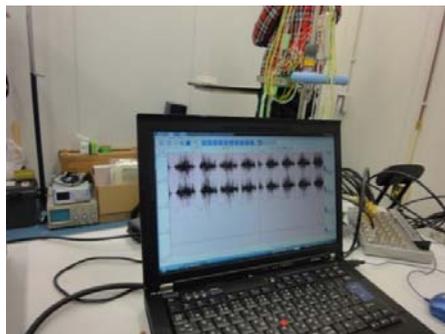
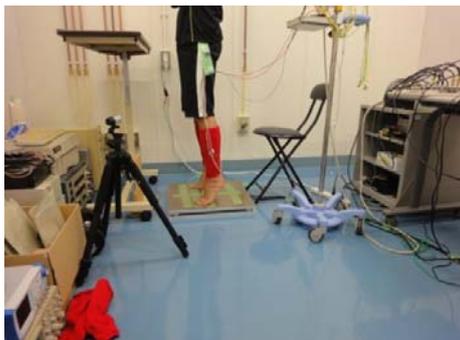
【実験内容】 ピュアブラックを塗布したサポーター（製品）を装着することで、カーフレイズ（立位でのつま先立ち動作）を反復することによる下腿三頭筋の疲労の過程がどのように変化するかを検討することを目的として、森ノ宮医療大学にて、学生8名を対象に、筋電装置で生体データを取得した。

【実験結果】 森ノ宮医療大学 保健医療学部（前田）より、研究報告書として、計測の結果および考察（別紙3参照）をいただいた。

結論としては、本研究の結果からは、ピュアブラックを塗布したサポーターが筋疲労に及ぼす特異的な影響を明らかにすることが、できなかった。

【実験実施者のコメント】

私どもが求めている分野の専門の先生がいらっしゃる施設でした。非常に満足しております。今回のことを踏まえまして、方法、検証数や予算なども、今後検討していきたいと思っております。



ピュアブラックサポーターによる効果測定実験
5.

【実験実施者】 あっと株式会社

【実施日】 平成25年3月5日

【実験場所】 森ノ宮医療大学 保健医療学部 実習室

【担当教官】 森ノ宮医療大学 保健医療学部 学部長 教授 金尾顕郎
森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 講師 松熊秀明

【被験者】 森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 学生6名

【学内の使用機器】 サーモグラフィー、加速度脈波計

【製品概要】 トルマリン・ゲルマニウムなど20種類の鉱石・金属が練りこまれた繊維で作られたリカバリーパッド(rePad)により、遠赤外線の効果で血流が促進されることが考えられ、疲労回復効果（肩こり・腰痛など）や床ずれがし難くなったりすることが期待される。

【実験内容】 リカバリーパッド (rePad) の使用による血流促進効果を測定するため、森ノ宮医療大学の学生6名に、サーモグラフィーによる表面温度および加速度脈波計、深部温モニターで生体データを取得し、製品の有無（本物シートと偽シート）で、数値に変化があるかを検証した。また、使用感に関する主観評価を取得した。

【実験結果】 加速度脈波計による結果

1) 偽シートにおいて、自律神経系のバランスが整い、中間値に収束している。しかし、本物シートについては、あまりまとまりが見られなかった。

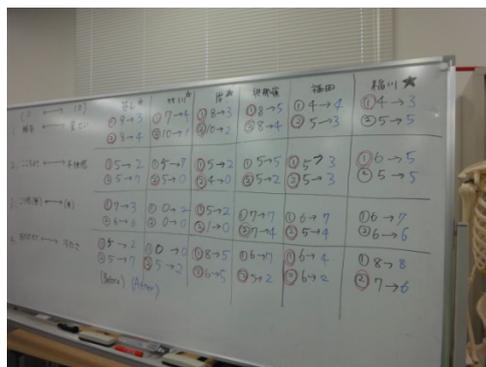
順番を変えて、再度計測することにより、明確になると考える。

2) 前後の平均値の比較を行ったが、偽シートが交感神経優位から、副交感神経優位に変化している。しかし、本物シートはバランスの良い中間領域に収まった。

問診の項目は、覚醒度、不快感、コリ感、冷たさについて、最大10、最少を0としたVASを用いた結果、偽シートより本物シートの方がすべての項目に勝っていた。

【実験実施者のコメント】

意外と測定に時間がかかったので、人数を増やすことは簡単ではないが、もう少し多くの人の実証実験をしたかったが、良いデータが取れた。



リカバリーパッド (rePad) の計測実験

6.

【実験実施者】 エビス電子株式会社

【実施期間】 平成25年3月6日

【実験場所】 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 実習室

【担当教官】 森ノ宮医療大学 保健医療学部 学部長 教授 金尾顕郎

森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 講師 松熊秀明

【被験者】 森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 学生6名

【学内の使用機器】 サーモグラフィー、加速度脈波計

【製品概要】 LED近赤外線の光で深部から体を温める温熱シート「LED近赤君」

【実験内容】 理学療法学科の学生7人を対象に、被験者は、仰向けにベッドに横たわり、腰に「LED近赤君」を装着し、全身の表面温度の変化をサーモグラフィーで計測し、左ふくらはぎの深部温度の変化を深部温モニターで計測し、左手中指の血流の変化を加速度脈波計で計測した。比較実験では、「LED近赤君」の代わりに市販の使い捨てカイロを使った時の計測値を取得した。

【実験結果】 加速度脈波計による結果

安静臥位になることで被験者の多くは、副交感神経優位となるが、近赤外線を照射することにより、交感神経が少し興奮を高める。

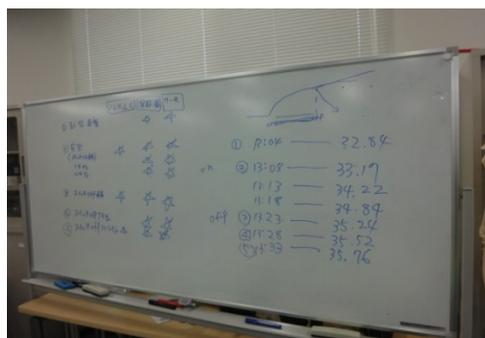
深部温計による結果

- 1) 照射群は、1名を除き、腰部への照射と同時に下腿後面の深部音が上昇した。
- 2) カイロを用いた被験者は、腰部での温かさを感じていたが、深部音の上昇があまり見られなかった。

問診内容は、全体的疲労感、精神的疲労感、身体的疲労感、自覚的ストレス、緊張度、眠気、意欲、イライラ感、憂うつ感、不安感の10項目について、最大を10、最少を0とした結果、近赤外線照射による緊張が和らぎ、ストレス疲労感が低地を示した。

【実験実施者のコメント】

精密なエビデンスが取れた。機会があれば体調不良の方を対象に、次回実証実験をしてみたい。



「LED近赤君」の計測実験

(小島 賢久)

9. 教務室の事項について

1) 履修登録について

(1) 学務システムでの履修登録について

今年度も引き続き学生支援システム GAKUEN 及び UNIVERSAL PASSPORT (以下、総称して「学務システム」という)より履修登録を行った。学務システムには先修条件や卒業要件、カリキュラムの読み替えの登録を行い、履修登録時に誤った入力をした学生にはエラー表示が出されるなど誤入力防止に努め、学生の履修状況の管理を一括して行った。

また、今年度は鍼灸学科にてスポーツ特修コース、教職課程の開設に伴い他学科においても新カリキュラムを導入し運営を開始した。特にスポーツ特修コースを希望する学生は鍼灸コースの学生と卒業要件が異なるため、学生が混乱しないようにオリエンテーションでの説明を行い、さらに該当学生には個別対応することにより学生へのフォローを行った。

(2) 履修登録説明会の実施について

前期

開催日時	対象	参加人数	内容
4月4日(水) 12:20～	本学学生	12名	履修登録方法や学生便覧の履修に関わる事項についての説明
4月5日(木) 18:00～		7名	
4月6日(金) 18:00～		5名	
4月9日(月) 12:20～		10名	
4月10日(火) 12:20～		13名	

後期

開催日時	対象	参加人数	内容
9月24日(月) 12:20～	本学学生	5名	履修登録方法や学生便覧の履修に関わる事項についての説明
9月25日(火) 12:20～		2名	
9月27日(木) 12:20～		6名	

(3) 既修得単位認定申請状況について

所属学科	申請者数	申請単位数	認定者単位数
理学療法学科	1名	45単位	41単位
看護学科	1名	13単位	9単位

既修得単位認定の募集を行い、理学療法学科の学生1名より32科目(45単位)の申請があり、29科目(41単位)が認定された。

また、看護学科の学生1名より9科目(13単位)の申請があり、6科目(9単位)が認定された。

(4) 編入学生入学状況について

所属学科	編入学した学年	編入学生数
—	—	0名

2) 学務システムの運用について

今年度についても引き続き学務システムにおいて、学生の出席や休講補講、成績、学籍情報等の授業運営に必要な情報や個人情報の管理を行った。

(1) 学務システム説明会の実施

教員や学生に対して、以下のとおり学務システム説明会を実施した。

対象	開催日時	人数	内容
新入教職員	4月3日(火) 16:40～	15名	ログイン方法や出欠入力システムの操作方法、採点入力システムの操作方法の説明
本学学生	各学年のオリエンテーション時	—	ログイン方法や時間割の確認方法、シラ

			パス閲覧方法、出欠状況の確認方法、成績照会方法、履修登録方法
兼任講師	兼任講師の来学時に随時実施	—	学務システムへのログイン方法や出欠入力システムの操作方法、採点入力システムの操作方法の説明

3) 授業運営について

授業運営が円滑に行われるよう、授業運営支援業務として次のとおり実施した。

(1) 出席の取り扱いについて

昨年度に引き続き、各担当教員が講義後に学務システム上に出欠入力を行うことで、学生が自身の出席状況を即座に確認できるよう徹底した。また、昨年度は兼任講師のみがICカードを活用し出欠管理を行っていたが、今年度は専任教員に対しても告知を行った。これに伴い学生数の多い看護学科においては使用頻度が増加し出欠管理をより円滑に行うことが可能となった。今後においてもさらに円滑に運用できるように努めていきたい。

(2) 休講、補講について

昨年度より休講および補講については学長通達により原則禁止としているため、休講および補講数は減少した。これにより安定的な授業運営を行うことができた。

(3) 学長の判断による授業休講時の対応について

平成24年度については、下記日程においては学長の判断において授業を休講とした。これによる各授業担当教員および学生への連絡もスムーズに行い、問題なく業務を行った。また、休講となった授業については、原則として補講を実施していただくよう要請し、補講日の決定については、各担当教員と相談の上、決定した。

休講日	理由等
平成24年6月19日(火)	台風4号が近畿地方に接近したことにより、午後から大阪府下に暴風警報が発令されたため、4時限目以降を休講とした。

(4) 兼任講師の不在時の学生対応について

昨年度に引き続き、兼任講師担当授業については課題提出および課題配布専用のメールボックスを利用することにより、兼任講師不在時の学生への課題配布や課題提出を可能とし、紛失等のリスクも軽減する策を講じた。また、平成25年度導入に向けて学務システム上で課題のやり取りなどができるコミュニケーションツールを教務委員会と共同して検討を行っている。教員の業務効率向上および学生満足度の向上を目的に当該システムの有用性を分析した上で導入を予定している。

(5) 教室利用について

昨年度に引き続き、固定教室ではなく各時間移動形式としているため、教室をきれいに保つことができた。また、空き教室の学生への開放については施設使用願の提出を義務付けることで、卒業研究等を申し出る学生への開放も継続して行った。授業に関わる教室の管理についてもグループウェア上(Hot Biz)において教室の予約状況・使用状況を管理した。しかしながら、看護学科の学生数が増えてきたこと、また学年進行性を廃止したことにより再履修となる学生が増加し、教室の定員数を超過してしまう問題が浮き彫りとなった。総務室とも連携し、学習環境を勘案しながら教室運営について来年度以降も改善、検討を実施したい。

(6) 授業用の物品について

教科書販売に関しては、昨年度に引き続き提携業者と連携し、円滑に販売が行えるよう支援を行った。授業用物品について、貸出用PCの収納バッグに映像ケーブル、LANケーブル等を予め備えた状態で貸出を行い、より効率的な管理が可能となった。

(7) 授業アンケートの実施について

昨年度に引き続き、各学科学年の3分の1の科目を対象に授業アンケートを実施し、授業アンケート集計業務を外注していることもあり、迅速な情報公開を行った。なお、アンケート結果およびリフレクション・ペーパーの内容については、取りまとめて自己点検・評価・FD委員会へ提出し、学生に対しては、授業評価の内容とリフレクショ

ン・ペーパーの内容をまとめて、学内掲示板に掲示することにより情報公開を行った。
また、アンケート結果は以下のとおりである。

① 授業アンケート質問内容について

・授業の運営について

- 問1 授業の開始・終了時間を守っていましたか
- 問2 授業の内容はよくわかりましたか
- 問3 シラバスにそった授業でありましたか
- 問4 教科書・教材は適切に使用して授業がおこなわれていましたか

・教員について

- 問5 担当教員の熱意を感じましたか
- 問6 学生の提出課題や質問等に適切に対応していましたか
- 問7 板書や映像等見やすく、話し方も聞き取りやすかったですか

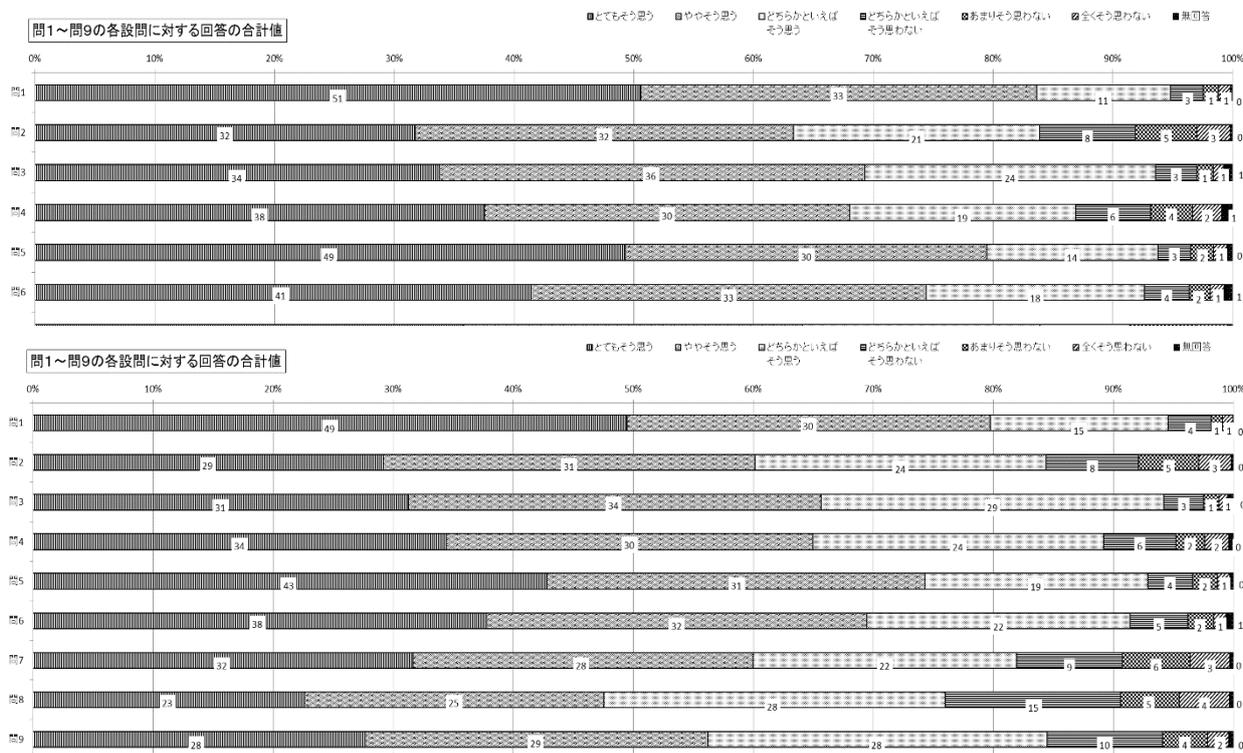
・自らの履修態度について

- 問8 わからないことは、質問したり、自分で調べましたか
- 問9 自らが熱意をもって授業に臨みましたか

※回収アンケート数 前期 3,005 件、後期 2,338 件

② 平成24年度 授業アンケート結果について

前期分のみ



アンケート結果によると、各設問に対して約8~9割以上の学生が肯定的な回答を行っている。しかしながら、能動的な学習態度、意欲という点において昨年度に引き続き改善が見られなかった。また、自由意見記入欄の「改善してほしい点」によると、授業の進め方・話し方、板書、授業のスピード、の改善を求めるなど、いくつか否定的な意見が伺えた。なお、この結果を受けて教員のリフレクション・ペーパーからは、学生の要望を受け入れるなど改善に前向きであった。今後も学生の授業満足度向上の為に、授業アンケートを継続して行い、教員と学生双方にとってよりよい授業運営となるよう情報収集・情報提供を継続したい。

また、下記日程において全教員に対し、授業アンケート結果報告会を行い、学生の授業アンケート結果についての情報を共有した。

対象となる授業アンケート	日程
前期授業アンケート結果	平成24年10月18日(木) 15:00～
後期授業アンケート結果	平成25年3月21日(木) 14:00～

4) 成績関連業務について

学科試験から成績管理、成績発表に関わる業務を下記のとおり実施した。

(1) 定期試験受験資格について

定期試験受験資格の有無については、昨年度に引き続き学生に学務システム上にて出欠状況の確認を行うよう掲示等により周知徹底し、同時に担当教員および担任へも注意喚起を行った。また、担当教員が入力した出欠状況をもとに誤りのないよう受験資格の有無について調整・確認を行った。

(2) 学科試験の運用について

①試験実施日および試験時間について

昨年度に引き続き、定期試験および追・再試験については原則通常の授業時間に準じて運営した。定期試験期間については、原則として16週目を筆記試験期間、17週目を実技試験期間とし、不都合が生じた場合は教務室にて調整を行い、円滑な試験運営を行った。また、今年度より定期試験においても大学指定期間外で試験を実施したい場合は、教務室が指定した期日までに試験日程の変更を申請していただくよう要請し、試験日の集中を避けることにより学生の負担を軽減できるよう努めた。これにより、再履修学生の重複等のリスクの軽減にも繋がった。今後も各担当教員へ協力を要請したい。

②理学療法学科3年生の試験スケジュールについて

理学療法学科3年生については追・再試験期間中に臨床評価実習を実施する為、追・再試験を実施することが困難であった。これに伴い予め定期試験と追・再試験の日程を早め、臨床評価実習開始日までに追・再試験を実施する策を講じた。

③試験問題について

試験問題書式については、昨年度に引き続き全担当教員へ本学の書式を提供するが、その利用については担当教員に一任した。また、試験問題の提出等については、これまでどおり常勤者の場合は担当教員が試験問題の封入等の準備をし、期日までに教務室へ提出することとした。期日までに提出されない場合は、試験当日に担当教員が各自持参することとし、スムーズな試験運営を行った。一方、兼任講師の場合も例年通り、期日までに試験問題の原本を教務室へ提出していただくよう要請し、教務室において試験問題のコピーや封入等の準備を行った。

④試験監督について

これまで通り、常勤者は担当教員のみで実施し、兼任講師については1名の試験監督者(補助)を配置することを原則として、各学科の業務分掌担当者へ試験監督者の配置を依頼し、取りまとめを行った。ただし、前述の常勤者の場合の配置については、教室等の理由により各担当教員の申し出に応じて学科の判断で試験監督者の追加等を行った。

⑤試験時のカンニング防止について

試験の際に1科目(1クラス)を1教室で実施できるよう机に取り付けるカンニング防止用のパーテーションを追加購入し、利用することにより試験教室数を確保できた。

⑥試験座席表について

昨年度に引き続き、定期試験時の座席表については教務室で作成せず、担当教員の判断により当該学生を着席させることとした。しかし、一部の担当教員より座席表を各自で作成したいとの申し出があったことから、試験教室の座席表の原本を全担当教員へ配信し、座席表の有無については一任した。追・再試験については、受験者数が減少することにより1教室で複数科目の試験を実施することから、従来通り教務室において座席表を作成し、各教室に貼付する方法で運営した。

⑦追・再試験受験申込みについて

今年度も定期試験の結果に基づき実施する追・再試験の該当者を対象として、追・再試験受験申込み期間を設定し、申込受付を行った。これまでと同様、学生は受験科目数分の証紙を券売機にて購入し、あらかじめ配布している所定の申込書に貼付して申込みを行うため現金授受によるリスクがなく、かつ短時間で申込受付を行うことができた。

(3) 臨時試験について

①通年科目について

例年通り定期試験は半期科目、通年科目に関わらず年1回の実施としているため、通年科目において担当教員の判断により半期終了後に試験を実施する場合は、臨時試験として扱い、その成績等については各担当教員により管理していただいた。

②単位未修得科目試験について

平成22年度入学生までを対象として実施する単位未修得科目試験について、これまで通り、申込み方法等を学生へ周知徹底し円滑に運営を行った。

③学長が特別に必要と認めた場合に実施する試験について

当該試験について、実施の許可があった場合はスムーズに試験を実施できるよう学科と連携し滞りなく運営した。また、単位未修得科目試験と同様に申込み方法等については学生へ周知徹底した。

(4) 成績について

昨年度に引き続き、学務システム上にて担当教員により直接、成績入力を行った。また、学生や保護者・保証人に対しての前期最終成績発表および学年末成績発表についても引き続き平成23年度入学生より全て学務システム上のみで行うこととし、成績発表当日に学生や保護者・保証人が成績閲覧を行った。

(5) GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度について

昨年度に引き続き、GPA制度により算出した評価をもとに優秀者に対して表彰を行った。今後においても、奨学金の選考や表彰等で活用していきたい。

(6) 成績証明書の英文表記について

これまでは成績証明書については日本語表記のみ対応としていたが、今年度より大学院の卒業生も輩出し、今後留学生および海外留学を希望する卒業生より英語表記の成績証明書の発行依頼が増加することが予想されるため、本学の英語科目担当教員と連携し作成した。

5) 資格取得支援業務について

資格支援に関する業務を下記のとおり実施した。

(1) アロマコーディネーターについて

昨年度に引き続き、森ノ宮医療学園専門学校で行われているアロマコーディネーター資格取得講座につき、学内への案内や申込手続きなどの業務を支援した。しかしながら、教務室を通じての申し込みは0件であった。

(2) スポーツリーダーについて

昨年度までに引き続き、スポーツリーダー資格取得に関する履修指導やスポーツリーダー資格取得講座の開講に関する業務を行った。また、卒業生に対しスポーツリーダー資格取得に関する事務手続きを滞りなく行い、卒業式に該当する学生へスポーツリーダー修了証明書および認定証を配布した。

①スポーツリーダー資格取得講座の開講

開講講座	開講時限数	受講人数
スポーツ経営学	6時限	16名

②平成24年度スポーツリーダー資格取得人数

所属学科	平成24年度スポーツリーダー資格取得人数
鍼灸学科	5名
理学療法学科	10名

(3) 健康食品管理士について

今年度より健康食品管理士認定講座の開講に関する業務及び資格取得に関する業務を行った。

①健康食品管理士講座説明会実施

開講日時	対象	参加人数	内容
7月18日(水) 18:10~18:50	鍼灸学科、理学療法学科 3・4年生	4名	受講概要の説明 質疑応答
7月19日(木) 18:10~18:50		2名	
8月3日(金) 12:10~12:50		0名	

②健康食品管理士認定講座の開講

開講日	開講時限数	受講人数
8月9日(木)	4時限	5名
8月10日(金)	3時限	

③平成24年度健康食品管理士受験者数及び資格取得人数

所属学科	受験者数	合格者数
鍼灸学科	3名	2名

(4) はり師、きゅう師および理学療法士国家試験について

国家試験に関わる事務手続きについて、鍼灸学科および理学療法学科と協力し滞りなく行った。

6) 講師関連業務について

(1) 兼任講師対応について

初回講義日に各兼任講師に対してオリエンテーションを実施し、授業運営を円滑に行えるようにした。

(2) 平成25年度講義依頼について

平成25年度授業開講準備として、各授業科目の担当教員に書類(講義時間希望調査書、兼任講師台帳等)作成の依頼をし、滞りなく業務を行った。また、シラバスについては学務システム上への入力を依頼した。新規兼任講師については本学所定の書類(教員個人調書等)の作成を依頼し管理を行った。

7) 会議体の運営について

教務室が運営支援担当となっている教務委員会について、日程調整や書類の取りまとめなど滞りなく実施した。また、スポーツ特修コース運営会議にも教務室より室員が出席し、スポーツ特修コースの諸問題に関する議事および議事録作成などを行った。

8) 鍼灸学科スポーツ特修コースの開設について

今年度より鍼灸学科スポーツ特修コースが開設され、カリキュラム運営に必要な教室手配、施設手配、ルール作り、規程の整備、履修者の選定などをスポーツ特修コース運営会議と協力して実施した。

9) 保健師課程について

平成25年度より保健師課程が本格的に運用されることに関し、教務委員会、看護学科と協力し保健師課程選考に関し、ルール整備、履修者の選定、情報提供などを実施した。

10) 鍼灸学科、理学療法学科、新カリキュラムの策定について

大学経営企画室からの要請により鍼灸学科、理学療法学科の新カリキュラム策定に向けた検討を教務委員会とともに実施した。時数の削減と教員の効率、業務比率を勘案する事を目的として検討を行い、平成26年度導入に向けて平成25年度教授会へと提案されることとなった。

- 11) 大学院のカリキュラム変更について
大学院では平成25年度よりカリキュラム変更が行われるのに伴い、新規に採用される教員の手続きなどを滞りなく実施した。
- 12) 大学院修士学位論文関連業務について
今年度より大学院の学位授与者を決定するため、修士学位論文（以下、「修士論文」という。）に係る業務について下記のとおり行った。
 - (1) 修士論文作成の手引きについて
学生が修士論文を作成する際の作成方法、および提出する際に必要な事務手続き等について誤りがないようにするため、修士論文作成の手引きを作成し、学務システムにおいて周知徹底した。
 - (2) 修士論文提出時の書類について
修士論文提出時の必要書類について作成し、修士論文作成の手引きとともに周知した。
 - (3) 修士論文の提出について
修士論文提出時の窓口となり、書類不備等の確認を行った。
- 13) 看護学科実習施設変更に伴う変更承認申請書提出について
平成25年度後期より看護学科3年次生が集中して実習を行うため、看護学科より実習施設を8施設追加することが報告され、大阪府および文部科学省に変更承認申請書を提出した。
- 14) その他の学外からの調査およびアンケート回答について
看護学科および大学院についての文部科学省設置履行状況調査やその他の学外からの教務に関する調査およびアンケート等について、期限までに提出した。

(在川 洋平)

10. 学生支援室の事項について

1. 奨学金について

1) 日本学生支援機構奨学金制度の積極的な活用について（学部・大学院含む）（単位：件）

平成24年度	予約採用 (新規)	定期採用 (新規・大学院)	追加・臨時採用 (新規)	緊急・ 応急採用	合計 (新規・大学院)
第1種	23 (8)	37 (11・1)	4 (2)	0	64 (21・1)
第2種	262 (104)	74 (24)	8 (1)	3	347 (129)
合計	285 (112)	111 (35・1)	12 (3)	3	411 (150・1)

平成24年度の貸与者総件数は411件（第一種、第二種の併用貸与者数は29名）である。

2) その他の奨学金

	採用
交通遺児育英会	0名
あしなが育英会	0名
在日朝鮮人学生奨学金	0名
在日韓国奨学会	0名
地方公共団体等奨学金	5名
合計	5名

3) 概況報告

〈日本学生支援機構〉

- (1) 平成24年度は新規予約採用者第1種8名、第2種104名に対し、定期採用が第1種11名、第2種24名であった。
- (2) 平成24年度初めに内示される大学学部定期採用推薦内示数は、大学学部第1種11名、第2種23名であった。大学定期採用申請者数が第1種11名、第2種25名と内示数より上回ったため、日本学生支援機構推薦方針により1年生を優先し割り当てることとなった。採用枠から外れた学生に関しては追加採用候補者として申請した。
大学院定期採用推薦内示数は、第1種1名が本学に割り当てられ、奨学金規程に基づき厳選な審査を行った結果、第1種1名が承認された。
追加採用では大学推薦内示数が第2種2名であり、奨学金規程に基づき厳選な審査を行った結果、第2種2名が承認された。
また、12月以降に臨時採用の募集があり、奨学金規程に基づき厳選な審査を行った結果、第1種2名、第2種1名が承認された。
- (3) 新入生採用者の割合は67.7%、1年生214人中145名であった。
- (4) 継続申請に関して、必須科目未修得者（1科目でも）に対する激励指導をした者32名、進級不可のため廃止となった者3名、退学者5名、辞退者9名であった。よって平成24年度の日本学生支援機構の継続奨学生数は合計365名となった。（平成24年3月31日現在）

〈その他の奨学金〉

その他の奨学金については、地方公共団体等の奨学金制度を5名利用している。

〈全体〉

平成24年3月31日現在の全在学生数は665名であり、そのうち382名が日本学生支援機構奨学金を貸与しており、第1種と第2種の併用者は29名である。

平成24年度の本学における奨学金貸与者の学生数割合は全学生の約6割、新入生については約7割であり、奨学金貸与者が年々増加している状況である。

2. 福利厚生

1) 学生食堂の運営について

学生食堂棟 Medi CAFE（メディカフェ）は運営4年目となり、昨年に引き続き運営に関する学生側の意見聴取を目的として、アンケートを実施した。株式会社ジー・クレストの協力で料金改定があり、利用者の増加だけでなく多くの学生より満足しているという肯定的な意見が聞かれた。反面、メニューの多様化等に対する要望意見があり、引き続き改善に努めたい。

2) 売店の設置ならびに運営について

株式会社三省堂書店の協力により、平成24年3月26日大学内に売店を設置して1年経ったが、教科書をはじめ、雑誌、文具、食料品だけでなく、実技道具なども充実したことにより、学生利用は安定している。また文具の品揃えの充実化により、学生の勉学への意欲促進を図る工夫等も取り組んでいる。今後も継続して、株式会社三省堂書店と協力しながら今後の学生満足度の向上につながるよう努めたい。

3) 舞洲アリーナおよび舞洲運動広場、巡回バスの増数について

学生のニーズに応えるため、舞洲アリーナの利用回数を増数した。加えて、サッカーサークルや軟式野球サークル等の発足により、舞洲運動広場の利用を開始した。これらに合わせて、舞洲スポーツアイランド行の巡回バスも増数した。

3. 社会貢献

1) 日本赤十字社主催 団体献血の実施について

社会貢献、地域貢献活動の一環として、また医療人として献血運動の推進に取り組むため、団体献血を以下の通り実施し、多くの学生、教職員の皆様に協力していただき、社会貢献の一環として有意義なものとなった。献血への理解を深め、今後も継続して積極的に献血推進に取り組んでいきたい。

	平成24年10月2日
受付数（人）	60
採血数（人）	41

4. 情報提供

1) 情報提供の充実について

平成24年度については、就職情報収集のために必要なホームページ上の求人票入力フォームの改善に取り組み、入力方法の改善を実施した。

5. 情報収集

1) 学生満足度調査の実施について

平成24年度は大学経営企画室主導で在学生向け満足度調査を実施した。学生支援室では、運営サポートとして、全学生に対するアンケートの実務を行った。

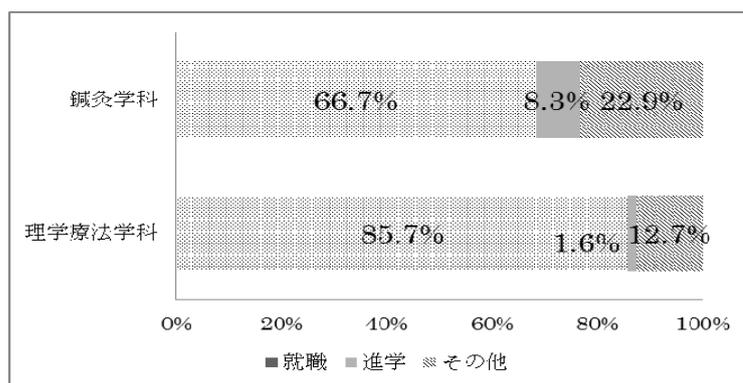
6. 森ノ宮医療大学キャリア支援事業について

1) 卒業生の進路状況について

(1) 進路状況について（平成25年3月31日現在）

平成24年度就職内定および進学等の進路が決定した学生は、理学療法学科で87%、鍼灸学科においては75%となった。理学療法学科のその他12.7%と鍼灸学科のその他22.9%については、進路未決定また自己都合により就職を見送ったものが含まれている。

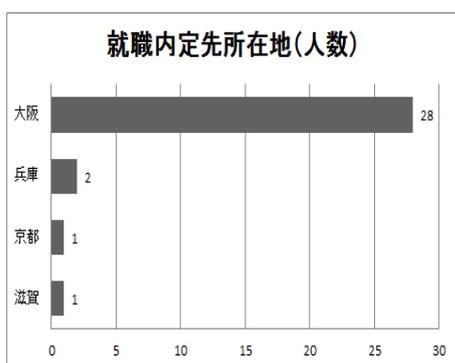
※平成24年度卒業生の学科別進路状況



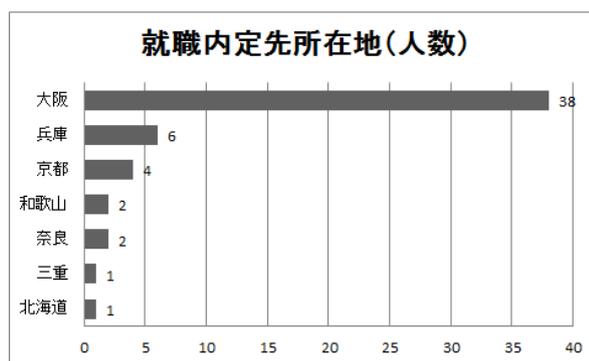
(2) 就職内定先の地域について

就職内定先の地域については、鍼灸学科、理学療法学科とも大阪で就職を決めた学生が大半であった。しかしながら、奈良県や京都府、滋賀県の出身者に対して希望に見合う求人情報を提供できなかった可能性もあり、平成25年度の求人情報収集の際には最優先課題として学生の要望に応じた求人情報収集に努めたい。

※鍼灸学科就職内定先所在地一覧



※理学療法学科就職内定先所在地一覧



2) 求人情報収集について

平成24年度、下記の通り求人情報の収集を行った。

(1) 求人情報の収集方法について

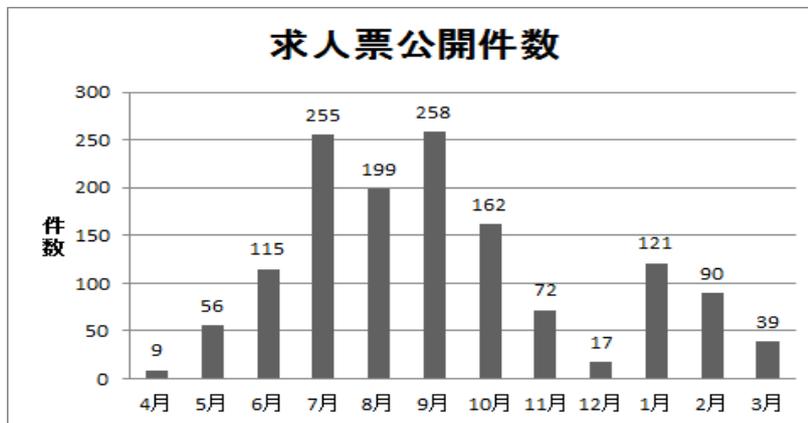
本学において保有する名簿を活用し、合計13,932通（合計3回）の求人依頼のダイレクトメールを発送し、次の通り成果を得た。

収集方法	採用対象	実施時期	送付対象	返信数
ダイレクトメール発送(2学科6,004通)	鍼灸学科 理学療法学科	平成24年6月中旬	近畿2府4県にある医療施設	390件
ダイレクトメール発送(2学科5,435通)	鍼灸学科 理学療法学科	平成24年10月中旬	近畿2府4県にある医療施設	190件
ダイレクトメール発送(1学科2,493通)	鍼灸学科	平成25年1月中旬	大阪府下にある医療施設	35件

(2) 求人票公開件数について（平成24年3月31日現在）

平成24年度卒業予定者に対する求人情報に関し、以下の件数の通り求人情報を公開した。公開方法は、本学学務システムの企業求人検索で公開のほか、本学1階の就職用掲示板への掲示および学生相談室の企業・施設別ファイル、求人票ファイルで学生に開示した。

※月別求人票公開件数



(3) 職種別求人件数について

本学宛に送付されてきた求人職種別件数は以下のとおりである。はり師、きゅう師、理学療法士に加えて介護士、作業療法士、柔道整復師などの医療系資格が必要な求人や大学生卒業者を対象とする事務職、営業・販売職など多彩な求人情報が本学に寄せられた。

※職種別求人件数一覧

職種	件数
理学療法士	623
はり師・きゅう師	159
その他の保健医療従事者	310
看護師	220
保健師	22
事務従事者	7
販売従事者	2
その他	50
総計	1,393

(4) 有効求人倍率について（平成25年3月31日現在）

本学に寄せられた各学科への求人数と求職者数より算出した学科別の求人倍率は全国の大学卒業予定者向けの平均求人倍率を大きく上回る結果となった。

	鍼灸学科	理学療法学科
求人件数（件）	159	623
求職者数（人数）	36	57
求人倍率（倍）	4.4	10.9

※参考数値 平成24年度大学卒業予定者の求人倍率全国平均1.27倍（リクルートワークス社調べ）

3) キャリア支援セミナーの実施について

森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て、在校生のキャリア支援の一環として医療現場の専門家によるセミナーを以下のとおり実施した。

セミナー 名称	実施日時	参加者数	協力団体	講演会概要
トレーナー が見たトラ の穴	平成24年 5月26日	学生 13名	教育後援会	元阪神タイガースチーフトレーナー 猿木忠男氏をお招きして、野球業界での鍼灸師や理学療法士、アスレティックトレーナーの現状や野球業界のトレーナー求人等についてご経験からお話し頂き、学生にとって有意義な講演となった。
健康長寿は まず禁煙か ら	平成24年 6月26日	学生 13名	教育後援会	大阪府立成人病センターがん相談支援センター 所長 大島明氏をお招きして、禁煙の勧めおよび受動喫煙の危険性について医学的見地からお話し頂き、学生にとって有意義な講演となった。
スポーツ障 害演習セミ ナー	平成24年 10月23 日	学生 8名	教育後援会	理学療法士およびアスレティックトレーナーである吉村直心氏をお招きして、膝の機能障害について実技を交えた講演を実施した。
エイズ対策、 性教育に関 する特別講 義	平成24年 12月7日	学生 160名	教育後援会	学生自身がキャリアを考えるにあたり重要な内容であること、また医学的な見地からも学生にとって大変有意義な内容であることを踏まえ、ブラジル生命倫理委員会委員ジョゼ・アラウージョ・リマ・フィーリョ氏をお招きして、エイズ対策、性教育に関する特別講義を開催した。
医療人とし てのキャリ アにおける 禁煙事情の 理解につい て	平成25年 1月11日	学生 153名	教育後援会	禁煙啓発活動および医療人としてのキャリアにおける禁煙事情の理解について前回のセミナー続編として、奈良女子大学保健管理センター教授高橋裕子先生をお招きして、鍼灸、理学、看護それぞれの立場における禁煙への取り組み、患者様への禁煙の勧めなど医学的見地から学生に学んでいただく機会を提供するために開催した。

4) 就職ガイダンスの開催について

学生支援室において、就職に必要な知識技術の習得を目的とした就職ガイダンスを以下のとおり実施した。次年度は、参加学生を増やすために4年生の授業および臨床実習を含め日時の調整及び内容の工夫をしていきたい。

セミナー名称	実施日時	参加者数	ガイダンス概要
第1回 就職ガイダンス	平成24年 3月30日	鍼灸学科 69名 理学療法 学科63名	4年生全員を対象に就職活動の基本に関し、学生支援室員によるセミナーを開催した。就職活動テキストを基に書類作成や面接時のマナーなど就職活動に必要な知識等の解説を行った。
第2回 就職ガイダンス『就活マナー実践講座』	①平成24年 5月21日 ②同日	①0名 ②0名	実施予定であったが、参加申込が無かったため未開講とした。
第3回就職ガイダンス『履歴書の書き方講座』	①平成23年 5月17日 ②平成23年 5月25日	①0名 ②0名	実施予定であったが、参加申込が無かったため未開講とした。
第4回就職ガイダンス『就活マナー実践講座』	平成24年 6月25日	10名	参加者はリクルートスーツを着用し、就職活動、試験時に必要なビジネスマナーについて、ロールプレイングを交えて指導し、面接時のマナーについてのDVDを視聴した。
第5回就職ガイダンス『履歴書の書き方講座』	平成24年 7月6日	6名	履歴書の書き方および自己分析の方法、意義等についてグループディスカッションを交えながら実施した。
第6回就職ガイダンス『模擬面接講座』	平成24年 7月11日	0名	実施予定であったが、参加申込が無かったため未開講とした。
第7回就職ガイダンス『履歴書の書き方講座』	平成24年 7月13日	11名	履歴書の書き方および自己分析の方法、意義等についてグループディスカッションを交えながら実施した。
第8回 『8月19日(日) 学内就職説明会活用術』	平成24年 8月19日	鍼灸学科 49名 理学療法 学科41名	キャリアコンサルタントを講師とし、大学内で開催される学内就職説明会の活用方法に関するガイダンスを実施した。ブース訪問時の注意事項や身だしなみ、ブース訪問後のアプローチ方法など実践的な内容の講義が行われた。
第9回 就職ガイダンス 『12月16日(日)学内 就職説明会活用術』	平成24年 12月16日	4年生 20名 3年生 55名	キャリアコンサルタントを講師とし、大学内で開催される学内就職説明会の活用方法に関するガイダンスを実施した。ブース訪問時の注意事項や身だしなみ、ブース訪問後のアプローチ方法など実践的な内容の講義が行われた。

5) 学生支援室による進路に関する個別指導について

学生支援室において、求人医療施設に関する質問や就職に関する書類作成および面接指導ならびに進学相談などを実施した。

学科	学年	相談者延べ人数
鍼灸学科	4	90件
理学療法学科	4	120件

6) 学内就職説明会の開催について

森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て、本学に求人情報をご提供いただいている医療施設を本学講堂にお招きし、学生と求人先との情報交換を目的とした学内就職説明会を開催した。

開催回数	日時	求人学科	来学医療施設数	来場学生数
第1回	平成24年 8月19日	鍼灸学科	15施設	90名
		理学療法学科	29施設	
		大学院生募集	1施設	
		専門学校生募集	1施設	
第2回	平成24年 12月16日	鍼灸学科	22施設	75名
		理学療法学科	21施設	
		大学院生募集	1施設	
		専門学校生募集	1施設	

7) 就職活動ツール

4年生に対し、就職活動に必要な知識や技術（ビジネスマナー、履歴書の書き方、労働法規等）を記載した就職活動テキストを作成し、配布した。また、当テキストを就職ガイダンスや個別指導の際に持参を義務付け、学生の就職指導の際に活用した。

8) 進路支援事業総括

本学の進路支援事業の方針に則り、各学科の就職指導に対し、学生支援室が後方支援を行う体制をとり、臨床現場の情報を豊富に有する教員とビジネスマナーなどの指導ツールや就職情報収集ツール、就職情報提供ツールを有する学生支援室およびそれを取りまとめる学生支援委員会と連携し、教授会において承認を得たうえで進路支援事業を実施した。

就職・進学情報の収集に関しては、学生支援委員会において方法論を検討し、平成23年度の就職情報を基に学科教員からの情報提供を追加し、学生支援室にて医療施設の訪問及びダイレクトメールによる求人情報の収集を実施した。

また、森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て大学内において医療施設を招き、学内就職説明会を実施し多くの施設に参加頂いた。求人件数および求人倍率の数値に関しては年々少しずつ増加しているが、就職情報の地域性や職種による情報数の開きが改善できず、情報収集方法にさらなる強化が必要である。次年度は引き続き、学生の志望地域や志望業種に沿えるよう改善をしたい。

学生への就職指導については教育後援会などの協力ならびに文部科学省の学生支援プログラムなどもあり、金銭的な支援を受けることができたことから、医療現場で活躍されている方々の講演やキャリアコンサルタントによる講演会など学内だけでなく、学外からの様々な情報を学生に提供することができ、学生のキャリア形成に寄与できたと考える。次年度は、学生相談室をうまく活用し、学生支援室で引き続き進路支援強化をしていきたい。

7. 学生相談

新たに産業カウンセラー有資格者を採用し、心理カウンセリングによる学生相談を実施してきた。平成23年度に比べ徐々に学生の相談が増えてきており、継続的にカウンセリングを実施することで、学生の心理的改善につながってきている。ただ、次年度より学生相談室に学生支援室が常駐することで、相談室に入室しづらい環境となり、学生相談の減少や問題をかかえている学生の対応が遅れてしまうことが懸念され、早急に設備面を含め、検討する必要がある。

学科	相談人数	相談件数
鍼灸学科	20人	46件
理学療法学科	14人	42件
看護学科	1人	7件

8. 大学関係諸団体との連携

1) 学生会

平成24年度は、課外活動用利用施設の利用回数増数を行ない学生の声に応えてきた。また、大学祭は例年通り11月に実施したが、第6回目を迎えた今年は参加学生および来場者が減少し、模擬店も減少するなどの問題点が出てきた。施設・設備に関する改善に

については、部活動数も増えたことにより、南校地への藤棚増設や部活動倉庫の棚の設置等、引き続き学生会と連携しながら可能な限り学生の要望に応えたい。

2) 教育後援会

大学と保護者との連携を密にして情報収集および会員相互の親睦を図ることを目的とし、教育後援会総会の第1回目を平成24年11月3日(土)および第2回目を平成24年3月9日(土)の計2回開催した。第1回目は保護者、役員、教職員を合わせて59名、第2回目は28名の方々が出席された。教育後援会総会では大学の動向に関する情報提供や教育後援会の事業報告、予算審議等活発な議論が行われた。また、総会後には学科別の説明会や学科教員と保護者の個別面談会なども行われ有意義な会となった。次年度以降は、年1回の実施となる。

9. その他

1) 禁煙活動に対する巡回

平成24年度は、1年間かけて大学敷地内全面禁煙に向け灰皿の撤去等に併せて、学生の大学内および周辺の喫煙に対する巡回および指導を実施した。

2) FDセミナーの実施

平成24年6月にこころの問題を抱えている学生対応が増えてきており、相談内容も多様・複雑化し学生相談対応の充実化が必要であることから、学生の対応に際しての基本的な知識・留意点を理解し、具体的な支援事例を知ること、学生対応の充実に資するためにセミナーを実施した。

3) 森ノ宮医療大学における人権問題と学生対応セミナーの実施(人権問題委員会共催)

平成25年2月、教職員45名を対象に学内におけるハラスメントや障がい者問題等の人権問題についての正しい認識を養うとともに、人権侵害を防止し、より一層快適な教育環境および職場環境を整えることを目的として実施した。

10. 平成24年度学生支援室行事報告

1) 鍼灸学科および理学療法学科4年生 第1回就職ガイダンス

実施日時：平成24年3月30日(金) 14:20~16:00

場所：森ノ宮医療大学 東棟415教室

参加人数：学生111名、職員2名

概況：本学の就職活動テキストに沿って就職試験に必要なマナーを説明した。

2) 第2回就職ガイダンス(就職マナー講座) 希望者のみ

実施日時：①平成24年5月21日(月) 10:40~12:10

②平成24年5月21日(月) 16:20~17:50

場所：森ノ宮医療大学 東棟414教室

概況：実施予定であったが、参加者がいなかったため中止となった。

3) 第3回就職ガイダンス(履歴書の書き方講座) 希望者のみ

実施日時：①平成24年5月23日(水) 16:20~19:30

②平成24年5月24日(木) 13:00~16:10

場所：森ノ宮医療大学 東棟414教室

概況：実施予定であったが、参加者がいなかったため中止となった。

4) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 スポーツトレーナー講演会の実施

実施日時：平成24年5月26日(木) 18:00~19:30

場所：森ノ宮医療大学 東棟415教室

参加人数：学生13名、教職員名

内容：元阪神タイガースチーフトレーナー 猿木忠男氏をお招きして、野球業界での鍼灸師や理学療法士、アスレチックトレーナーの現状や野球業界のトレーナー求人等に

ついてご経験からお話頂き、学生にとって有意義な講演となった。

- 5) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付の件
実施日時：平成24年6月11日（月）
内容：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為に、3期生勤務希望地の病院鍼灸院、施設等に対し求人票、DMを6,004件送付した。
- 6) 平成24年度 第1回奨学金選考会議
実施日時：平成24年6月11日（月）10:00～10:30
場所：森ノ宮医療大学 東棟102演習室
参加人数：本学教員7名、職員3名
概況：日本学生支援機構が定める内示数の範囲内で定期採用推薦者を推薦し、承認された。
- 7) 日本学生支援機構予約採用決定者 採用説明会
実施日時：①平成24年6月12日（火）13:00～14:00（理学療法学科）
②平成24年6月13日（水）14:40～15:40（鍼灸学科）
③平成24年6月18日（月）13:00～14:00（看護学科）
場所：森ノ宮医療大学 東棟415教室
参加人数：学生108名、教職員3名
概況：採用決定者に日本学生支援機構から交付された奨学生証・奨学生のしおりを配布するとともに記載事項に誤りがないかを確認させ、DVD（奨学生に採用された皆さんへ）を上映した。奨学生のしおりを基に、貸与を受けてから終了するまでの注意事項、返還義務についての指導を行なった。また、返還誓約書についての記載方法および提出書類を説明した。
- 8) 学生支援室主催 FDセミナーの実施
実施日時：平成24年6月21日（木）15:00～16:00
場所：森ノ宮医療大学 西棟631教室
参加人数：教職員40名
内容：本学においても、こころの問題を抱えている学生の対応が増えてきており、相談内容も多様・複雑化し学生相談対応の充実化が必要であることから、学生の対応に際しての基本的な知識・留意点を理解し、具体的な支援事例を知ることで、学生対応の充実に資するためにセミナーを実施した。
- 9) 第4回就職ガイダンス（就職マナー講座）希望者のみ
実施日時：平成24年6月25日（月）16:20～17:50
場所：森ノ宮医療大学 東棟414教室
参加人数：学生10名、職員2名
概況：参加者はリクルートスーツを着用し、就職活動、試験時に必要なビジネスマナーについて、ロールプレイングを交えて指導し、面接時のマナーについてのDVDを視聴した。
- 10) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 市民公開講座禁煙セミナー講演会の実施
実施日時：平成24年6月26日（火）16:30～17:30
場所：森ノ宮医療大学 西棟631教室
参加人数：学生13名、教職員20名、近隣住民10名
内容：大阪府立成人病センターがん相談支援センター所長 大島明氏をお招きし、昨今、国を挙げて禁煙対策が行われている中で、学生に禁煙の勧めと受動喫煙の危険性について十分な指導や学習機会を提供できていない現状があり、これから医療従事者としてキャリアを積み上げて行く中で、鍼灸、理学、看護それぞれの立場における禁煙への取り組み、患者様への禁煙の勧めなどが重要となる。それらを勘案し、学生への禁煙の勧めおよび受動喫煙の危険性について医

学的見地から学生に学んでいただく機会を提供し、大学内だけでなく地域住民の方々にも当講座の聴講を認め、教育後援会、大学、地域が一体となって禁煙活動を推進していくことを目的として開催した。

- 11) 第5回就職ガイダンス（履歴書の書き方講座）希望者のみ
実施日時：平成24年7月6日（金）13：00～16：10
場所：森ノ宮医療大学 東棟414教室
参加人数：学生6名、職員2名
概況：履歴書の書き方および自己分析の方法、意義等についてグループディスカッションを交えながら実施した。
- 12) 第6回就職ガイダンス（模擬面接）希望者のみ
実施日時：平成24年7月11日（水）13：00～14：30
場所：森ノ宮医療大学 東棟414教室
概況：実施予定であったが、参加者がいなかったため中止となった。
- 13) 第7回就職ガイダンス（履歴書の書き方講座）希望者のみ
実施日時：平成24年7月13日（金）13：00～16：10
場所：森ノ宮医療大学 東棟414教室
参加人数：学生11名、職員2名
概況：履歴書の書き方および自己分析の方法、意義等についてグループディスカッションを交えながら実施した。
- 14) 日本学生支援機構定期採用決定者 採用説明会
実施日時：平成24年7月26日（木）16：30～17：30
平成24年7月27日（金）18：00～19：00
場所：森ノ宮医療大学 415号室
参加人数：学生32名、教職員2名
概況：採用決定者に日本学生支援機構から交付された奨学生証・奨学生のしおりを配布するとともに記載事項に誤りがないかを確認させ、DVD（奨学生に採用された皆さんへ）を上映した。奨学生のしおりを基に、貸与を受けてから終了するまでの注意事項、返還義務についての指導を行なった。また、返還誓約書についての記載方法および提出書類を説明した。
- 15) 第8回就職ガイダンス（8月19日合同就職説明会活用術）
実施日時：平成24年8月19日（日）10：00～11：00
場所：森ノ宮医療大学 西棟511教室
参加人数：鍼灸学科49名、理学療法学科41名
概況：キャリアコンサルタントをお招きし、学内就職説明会の活用方法、学内就職説明会でのマナー等について講義していただいた。
- 16) 第1回学内就職説明会（森ノ宮医療大学教育後援会協賛）
実施日時：平成24年8月19日（日）13：00～15：30
場所：森ノ宮医療大学 体育館兼講堂
参加人数：鍼灸学科49名、理学療法学科41名
参加施設：鍼灸師募集15施設、理学療法士募集29施設、大学院生募集1施設、専門学校生募集1施設
概況：病院・施設等の人事担当者から、事業内容、求める人材、特色、採用試験等の情報を得ることができ、学生にとって貴重な経験となった。
- 17) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 スポーツトレーナー講演会の実施

実施日時：平成24年10月23日（火）18:00～19:30
場所：森ノ宮医療大学 東棟201教室
参加人数：学生8名、教職員名
内容：理学療法士およびアスレティックトレーナーである吉村直心氏をお招きして、膝の機能障害について実技を交えた講演を実施した。

- 18) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付の件
実施日時：平成24年10月15日（月）
内容：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為に、1期生勤務希望地の病院鍼灸院、施設等に対し求人票、DMを5,435件送付した。
- 19) 平成24年度（通算第9回）森ノ宮医療大学教育後援会総会開催
実施日時：平成24年11月3日（土）14:00～16:30
場所：森ノ宮医療大学 食堂棟2階
参加人数：役員 会長他10名、保護者会員49名
概況：森ノ宮医療大学役員補充が行われ、全会一致で承認された。総会終了後、学科別懇談会ならびに個別面談が行われた。
- 20) 第6回森ノ港祭（大学祭）
実施日時：平成24年11月4日（日）
場所：大学コスモキャンパス、南校地
参加人数：本学学生、教職員、地域住民約600名
概況：学生教育、学生間交流、地域交流の場として実施した。学外参加者と多くの交流がなされ大盛況であった。イベントとして実施した健康体力測定、お灸体験には地域住民の参加があり、本学の取り組みなど多くの方にお伝えすることができ有意義なものとなった。
- 21) 森ノ宮医療大学保健医療学部 特別講義
キャリア支援セミナー（森ノ宮医療大学教育後援会協賛）
実施日時：平成24年12月7日（金）14:40～16:10
場所：森ノ宮医療大学 西棟631教室
参加人数：本学学生、教職員200名
内容：学生自身がキャリアを考えるにあたり重要な内容であること、また医学的な見地からも学生にとって大変有意義な内容であることを踏まえ、ブラジル生命倫理委員会委員ジョゼ・アラウージョ・リマ・フィーリョ氏をお招きして、エイズ対策、性教育に関する特別講義を12月7日（金）に開催した。
- 22) 第9回就職ガイダンス（12月16日合同就職説明会活用術）
（森ノ宮医療大学教育後援会協賛）
実施日時：平成24年12月16日（日）10:30～11:30
場所：森ノ宮医療大学 西棟531教室、西棟532教室
参加人数：4年生20名、3年生55名
概況：キャリアコンサルタントをお招きし、学内就職説明会の活用方法、学内就職説明会でのマナー等について講義していただいた。
- 23) 第2回学内就職説明会
実施日時：平成24年12月16日（日）13:00～15:30
場所：森ノ宮医療大学 体育館兼講堂
参加人数：両学科4年生20名、3年生55名
参加施設：鍼灸学科22施設、理学療法学科21施設、大学院生募集1施設、
専門学校生募集1施設

概況：病院・施設等の人事担当者から、事業内容、求める人材、特色、採用試験等の情報を得ることができ、学生にとって貴重な経験となった。

24) 日本学生支援機構 返還説明会

実施日時：①平成24年11月27日(月)10:30~11:30

②平成24年11月27日(月)13:00~14:00

場所：森ノ宮医療大学 415教室

参加人数：学生59名、教職員2名

概況：4年生に日本学生支援機構から交付された返還誓約書・奨学生のしおりを配布するとともに記載事項に誤りがないかを確認させ、DVD(奨学生に採用された皆さんへ)を上映した。奨学生のしおりを基に、返還の注意事項、返還義務についての指導を行った。

25) 日本学生支援機構 適格認定説明会

実施日時：平成24年12月19日(水)12:15~12:30

平成24年12月20日(木)16:30~17:30

平成24年12月21日(金)14:40~15:40

場所：森ノ宮医療大学 415教室

参加人数：学生315名、教職員2名

概況：日本学生支援機構から交付された貸与額通知書を配布し、継続願の入力の際の注意事項を説明した。

26) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 禁煙対策ならびに受動喫煙に関する講演会の実施

実施日時：平成25年1月11日(金)16:30~17:30

場所：森ノ宮医療大学 西棟631教室

参加人数：学生153名、教職員33名

内容：6月に開催された禁煙セミナーに続き、禁煙啓発活動および医療人としてのキャリアにおける禁煙事情の理解について前回のセミナー続編として、鍼灸、理学、看護それぞれの立場における禁煙への取り組み、患者様への禁煙の勧めなど医学的見地から学生に学んでいただく機会を提供するために開催した。

27) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付の件

実施日時：平成25年1月22日(火)

内容：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為に、1期生勤務希望地の病院、鍼灸院、施設等に対し求人票、DMを2,493件送付した。

28) 学生支援室・人権問題委員会共催 森ノ宮医療大学における人権問題と学生対応

実施日時：平成25年2月21日(木)17:00~18:00

場所：森ノ宮医療大学 西棟631教室

参加人数：教職員45名

内容：教職員に対し、学内におけるハラスメントや障がい者問題等の人権問題についての正しい認識を養うとともに、人権侵害を防止し、より一層快適な教育環境および職場環境を整えることを目的として実施した。

29) 平成24年度(通算第10回)森ノ宮医療大学教育後援会総会開催

実施日時：平成25年3月9日(土)10:30~13:00

場所：森ノ宮医療大学 東棟221教室

参加人数：役員 会長他12名、保護者会員22名

概況：森ノ宮医療大学役員改選および会長選出、平成24年度事業報告および決算報告、平成25年度事業計画案および予算案が行われ、全会一致で承認された。総会終了後、学科別懇談会ならびに個別面談が行われた。

11. 森ノ宮医療大学 平成24年度部活動活動状況

1. 部活動（大学公認）

1) バドミントン部

部長：上田喜敏

学生代表者：稲川由里

昇部：平成20年4月

人数：32名（男性11名、女性21名）

活動日：毎週 火、金

活動場所：①本学体育館、②舞洲アリーナ、③大阪市中央体育館、④住吉スポーツセンター、⑤西スポーツセンター、⑥港体育館

実績：住吉利用団体交流会バドミントン大会

2) 柔道部

部長：宮本忠吉

学生代表者：榎谷貴史

昇部：平成20年4月

人数：6名（男性5名、女性1名）

活動日：不定期

活動場所：①本学体育館、②本学スタジオ、③修道館

実績：昇段試合

3) バレーボール部

部長：在川洋平

学生代表者：東本裕弥

昇部：平成21年6月

人数：32名（男性16名、女性16名）

活動日：不定期

活動場所：①舞洲アリーナ、②港スポーツセンター、③貝塚総合体育館、④小平尾南体育館

実績：TDRカップ、ドリーマーズカップ、合宿（加東市、たつの市）

4) 陸上部

部長：三木屋良輔

学生代表者：山崎風太

昇部：平成21年7月

人数：6名（男性4名、女性2名）

活動日：不定期

活動場所：①本学外周、②本学体育館

実績：大阪城公園ナイトラン、大阪城10kmマラソン

5) ハンドボール部

部長：澤田規

学生代表者：阪本祐平

昇部：平成21年9月

人数：14名（男性7名、女性7名）

活動日：不定期

活動場所：①本学南校地、②舞洲アリーナ、③他大学、他高校

実績：大学対抗戦、関西学生ハンドボール春季リーグ、合宿（京都府南丹市）

6) 硬式テニス部

部長：尾崎朋文
学生代表者：鎗丸善久
昇部：平成22年6月
人数：37名（男性21名 女性16名）
活動日：毎週木曜日
活動場所：①本学南校地、②ミズノクリスタテニスコート
実績：特になし

7) 男子バスケットボール部

部長：中原英博
学生代表者：木田直宏
昇部：平成22年6月
人数：28名（男性28名、女性0名）
活動日：不定期
活動場所：①本学体育館、②舞洲アリーナ、③他大学
実績：特になし

8) 女子バスケットボール部

部長：中原英博
学生代表者：山大路侑香
昇部：平成22年6月
人数：30名（男性0名、女性30名）
活動日：毎週 月、水
活動場所：①本学体育館、②舞洲アリーナ、③他大学
実績：秋季トーナメント、関西女子リーグ戦

9) 軽音楽部

部長：辻涼太
学生代表者：片山尚哉
昇部：平成22年11月
人数：45名（男性25名、女性20名）
活動日：不定期
活動場所：①本学構内
実績：大学祭ライブ

10) ライフサポート部

部長：吉川有葵
学生代表者：白上哲平
昇部：平成24年11月
人数：27名（男性12名、女性15名）
活動日：不定期
活動場所：①本学実習室、②大阪市立大学附属SCC、
③近畿ブロック血液センター、④相愛大学
実績：学外でのAED講習会

11) サッカー部

部長：上田真也
学生代表者：西原一晃
昇部：平成25年3月
人数：28名（男性25名、女性3名）
活動日：毎週 月、水、金

活動場所：①舞洲運動広場、②本学南校地

実績：練習試合7試合、平成25年度より関西学生連盟登録をする

2. 同好会（サークル）

同好会（サークル）は、（吹奏楽、茶道、軟式野球、エアロビックス（ヨガ）、ボランティア、歌）である。

（森川 卓）

1.1. 研究支援室の事項について

1. 研究費等に関する説明会 参加状況について

① 文部科学省

「平成25年度科学研究費助成事業公募要領等説明会」

日時：平成24年9月7日（金）

場所：京都大学（吉田キャンパス百周年時計台記念館）

② 文部科学省

「公的研究費の管理におけるリスクや不正対策についての説明会」

日時：平成24年11月27日（火）

場所：メルパルク大阪 メルパルクホール

③ 文部科学省

「e-Radシステム更新に係る説明会」

日時：平成24年12月20日（木）

場所：大阪大学（吹田キャンパス 大阪大学コンベンションセンター）

④ 独立行政法人日本学術振興会

「「科研費電子申請システム」操作方法等説明会」

日時：平成25年2月1日（金）

場所：メルパルク大阪 イベントホール

2. 科学研究費助成事業への応募取組状況（研究計画調書提出）について

提出月：4月～5月

提出先：独立行政法人日本学術振興会

研究種目名	応募研究者
研究活動スタート支援	重年清香
	澤田優子
	開田千鶴
	田中晶子
	奥川裕子
	中正美

提出月：10月～11月

提出先：独立行政法人日本学術振興会

研究種目名	応募研究者
平成25年度 基盤研究 (B) (一般)	宮本忠吉
平成25年度 基盤研究 (C) (一般)	吉川彰二
	神崎真姫
	来栖清美
	重年清香
	藤本陽子

平成25年度 基盤研究(C) (一般)	伊津美孝子
	仲西宏元
	小島賢久
	荻原俊男
	伊黒浩二
	西村千年
	田中晶子
	尾崎朋文
—	増山祥子
平成25年度 挑戦的萌芽研究	永瀬佳孝
	三木屋良輔
平成25年度 若手研究(B)	澤田優子
	吉川有葵
	上田真也
	開田千鶴
	松熊秀明
	奥川裕子
	中正美

3. 科学研究費助成事業からの交付について

(金額 単位：円)

研究代表者 氏名	研究種目名	課題番号	交付額
宮本忠吉	基盤研究(C)	22500617	交付額 780,000 うち直接経費 600,000 間接経費 180,000
松熊秀明	基盤研究(C)	22590670	交付額 520,000 うち直接経費 400,000 間接経費 120,000
吉川彰二	基盤研究(C))	22592505	交付額 1,690,000 うち直接経費 1,300,000 間接経費 390,000
吉川有葵	研究活動スタート支援	23890233	交付額 130,000 うち直接経費 100,000 間接経費 30000
上田真也	研究活動スタート支援	21792185	交付額 1,560,000 うち直接経費 1,200,000 間接経費 360000
鍋田智之	基盤研究(C)	23501123	交付額 1,560,000 うち直接経費 1,200,000 間接経費 360000
青木元邦	基盤研究(C)	23590902	交付額 1,950,000 うち直接経費 1,500,000 間接経費 450,000

森谷正之	基盤研究(C)	23592725	交付額 1,690,000 うち直接経費 1,300,000 間接経費 390,000
酒井ひろ子	基盤研究(C)	23593352	交付額 1,820,000 うち直接経費 1,400,000 間接経費 420,000
前田薫	基盤研究(C)	23700649	交付額 520,000 うち直接経費 400,000 間接経費 120,000
山下仁	基盤研究(C)	24590644	交付額 1,300,000 うち直接経費 1,000,000 間接経費 300,000
川畑浩久	基盤研究(C)	24590906	交付額 2,860,000 うち直接経費 2,200,000 間接経費 660,000
吉村弥須子	基盤研究(C)	24593344	交付額 1,170,000 うち直接経費 900,000 間接経費 270,000
中原英博	若手研究(B)	24700768	交付額 1,560,000 うち直接経費 1,200,000 間接経費 360,000

4. その他の外部資金研究費等について

(金額 単位：円)

研究者の氏名	研究種目等	交付額等	備考
前田薫	科学研究費助成事業 (基盤研究(B)) 課題番号 23300238 研究分担者 分担金	分担金配分額 65,000 うち直接経費 50,000 間接経費 15,000	研究代表者所属 金沢大学 医学系 教授・藤原 勝夫
	科学研究費助成事業 (挑戦的萌芽研究) 課題番号 23650365 研究分担者 分担金	分担金配分額 39,000 うち直接経費 30,000 間接経費 9,000	研究代表者所属 金沢大学 医学系 教授・藤原 勝夫
宮本忠吉	科学研究費助成事業 (基盤研究(B)) 課題番号 24300237 研究分担者 分担金	分担金配分額 260,000 うち直接経費 200,000 間接経費 60,000	研究代表者所属 東洋大学 理工学部 教授・小河繁彦
青木 元邦	課題番号 AS232Z00003G 研究担当者	委託研究費 840,000 うち直接経費 646,154 間接経費 193,846	独立行政法人 科学技術振興機構
	経済産業省 近畿経済産業局 平成19年度 地域コンソーシアム	補完研究	NPO 法人 近畿バイオインダストリー 振興会議

5. 調書等提出状況

提出月	書類名	提出先
4月	平成24年度科学研究費助成事業交付申請書 平成24年度科学研究費助成事業交付請求書	独立行政法人日本学術振興会

	「産学連携等実施状況調査（平成23年度実績）調書」提出	文部科学省
5月	「平成23年度科学研究費助成事業実績報告書（収支決算報告書）」提出	独立行政法人日本学術振興会
6月	「平成24年度学術研究助成基金助成金交付申請書」 「平成24年度学術研究助成基金助成金支払請求書」	独立行政法人日本学術振興会
	「競争的資金に係る間接経費執行実績報告書（平成23年度）」提出	文部科学省
7月	「平成24年科学技術研究調査調書」回答	総務省
	平成24年度科学研究費補助金に係る分担金 受領委任状・振込依頼書	東洋大学 金沢大学
	「平成23年度大学等における科学技術・学術活動実態調査」回答	文部科学省
	「平成23年度大学等発ベンチャーの現状と産学連携の課題に関する調査」回答	文部科学省
8月	「委託研究開発実績報告書」 「完了報告書」	独立行政法人 科学技術振興機構
9月	「体制整備等自己評価チェックリスト」提出	文部科学省
1月	「研究機関における公的研究費の不正使用等の防止に関する体制整備及び運用の徹底について（研究用物品の検収業務体制の整備状況調査票）」回答	文部科学省
	「研究活動の不正行為への対応に関する取組状況の調査について」回答	文部科学省
	「産学官連携本部等の整備状況について」回答	文部科学省
3月	「補完研究コンソーシアムに係る共同研究契約書」 「経済産業省所管に属する物品の使用又は転貸に関する契約書」	NPO 法人 近畿バイオインダストリー振興会議
	平成24年度科学研究費助成事業に係る分担金経理報告書	東洋大学 金沢大学

6. その他

国立情報学研究所 ILL 文献複写等料金相殺サービス利用の経理責任を担っている。
 ReaD に研究機関として登録し機関管理を担っている。
 科学研究費管理システムを導入した。

(葉廣 泰代)

12. 委員会の事項について

1. 自己点検評価FD委員会 事業報告

委員： 安田（委員長）、小島、山下、金尾、村上、永瀬、森谷、中川、河村、在川、
瀬川、岩崎、石塚、渡辺、

開催回数： 11回開催

事業内容：

- 1) 日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価申込と資料作成
- 2) 学内FDセミナーの開催（3回）
7月10日「高等教育を取りまく環境」大学通信社
8月30日「教育技法について」武庫川女子大学 北口勝也准教授
人権問題委員会との共催
3月11日「中国の人々の日本観・日本人観」山東師範大学 胡以男教授
- 3) 平成24年度前・後期授業評価アンケートの実施
アンケート調査結果とリフレクションペーパーによる教員からのフィードバックにより、教職員に対する結果報告会と学生向けに掲示を前期・後期の2回行った。
- 4) 公開授業週間の開催
11月5日から11月16日に公開授業を実施し、その授業内容の報告についてワーキンググループを設け、まとめと報告会を行った。
- 5) ワークショップ・セミナーへの参加
日本高等教育評価機構主催のセミナー参加

2. 教務委員会 事業報告

委員： 金尾（委員長）、安雲、青木、鍋田、河村、吉川（彰）、永瀬、在川、廣澤

開催回数： 12回開催

事業内容：

- 1) カリキュラムについて
(1) 平成26年度鍼灸学科・理学療法学科入学者からの新カリキュラムの協議
(2) カリキュラムの変更についての協議
(3) 単位未修得者の対応方法についての協議
- 2) 業務分掌の確認
- 3) 平成25年度スケジュールの協議
- 4) 新規兼任講師採用についての協議
- 5) 教務規程の変更についての協議

3. エンロールメント・マネジメント委員会 事業報告書

委員： 小島（委員長）、管理運営委員会

開催回数： 4回開催

事業内容：

- 1) 入試部会 小島（委員長）、山下、金尾、吉村、宮本、井上
(1) 平成24年度、入試結果と入学者の成績・国試合否の相関の検討
(2) 平成26年度入試の検討

4. 学生支援委員会 事業報告

委員： 金尾（委員長）、山下、上田、村上、安田、在川、中西、三木屋、住田、森川

開催回数： 8回開催

事業内容：

下部組織として、課外活動部会と進路支援部会があり、各部会からの議案事項について協議した。また、委員会規程の変更について協議した。

- 1) 課外活動部会
(1) 部活動費の振り分けと使用状況の確認

- (2) 学外施設の借り入れについて
- (3) 体育館使用時間について
- (4) 教室・南校地の設備設置について
- (5) 卒業記念祝賀会について

2) 進路支援部会

- (1) 平成24年度就職ガイダンスおよびキャリア支援セミナーの開催について
- (2) 学内合同就職説明会開催について

5. 学術研究委員会 事業報告

委員： 青木（委員長）、山下、永瀬、澤田、前田、吉川（彰）、来栖、葉廣、宮本、森谷

開催回数： 4回開催

事業内容：

- 1) 平成24年度の研究費執行状況について
 - (1) 個人研究費
 - (2) 購入研究機器・購入備品・メンテナンス費
 - (3) 動物実験施設運営費
- 2) 学術セミナー・市民公開講座の開催
 - (1) 学術セミナー (11回)
 - (2) 市民公開講座 (3回)
- 3) 下部組織の調整
 - (1) 森ノ宮医療大学学術委員会研究倫理審査部会
 - (2) 森ノ宮医療大学学術委員会動物実験倫理審査部会
 - (3) 紀要編集委員会

6. 人権問題委員会 事業報告

委員： 仲西（委員長）、金尾、安田、中川、増山、前田、藤本、瀬川、柳田

開催回数： 2回開催

事業内容：

- 1) 研修会について（2回）
 - 平成24年8月 「教授法・学生との接し方」武庫川女子大学 北口勝也准教授
自己点検評価FD委員会と共催
 - 平成25年2月 「いじめやセクハラについて」本大学学生相談室 前川葉子氏
- 2) 学内における人権問題の対応
 - (1) 人権問題が発生した場合の対応について、事象が発生した場合に速やかに対応できるよう、対応チャートを作成した。
 - (2) 学生ならびに教職員に対して学生支援室と人権問題委員会共催の「相談」ポスターを作成し西棟および東棟のエレベーターホールへ掲示した。

7. 附属図書館運営委員 事業報告

委員： 中村（委員長）、松熊、開田、伊津美、森谷、横山、藤重

開催回数： 2回開催

事業内容：

- 1) 閲覧室のパソコンを新たに10台追加 プリンターも新に1台増設
- 2) 図書館管理用システム導入
- 3) ブックハンティング開催（2回）と報告
- 4) 新規文献検索システム（SFX）トライアルを実施
- 5) 学科・学年ごとに分けた毎月図書館利用数を管理運営委員会で報告
- 6) 試験期間中の卒業生貸出が開始
- 7) 3学科1年生の図書館ガイダンスの実施
- 8) コーティングフィルム巻き体験会を実施

（金尾 顕郎）

学術研究の事項について

1. 研究費の適正使用

学術研究委員会研究費配分ポリシーに則り、適正な研究費配分・使用を行い、研究活動を推進した。

2. 平成24年度の研究費執行状況

(平成24年度予算額：2374万円)

(1) 個人研究費：1283万円

(2) 購入研究機器・購入備品・メンテナンス費：796,0485万円

①フリーラジカル解析装置

②入力アンプ ATBA-32F

③組込プロセッサ

④BRC 電気生理システム

⑤Laser doppler probe

⑥データ解析パソコン

⑦D-Glucose-U-13C6

⑧PYY 測定キット

⑨GLP-1 測定キット

⑩画像編集/動画統合ソフト

⑪CO2 インキュベータ

⑫バイオクリーンベンチ

⑬超音波診断装置修理

⑭呼気ガス 分析フィラメント メンテナンス

⑮血液ガス分析装置レンタル・保守料

⑯ドラフトチャンバー蛍光灯

(3) 動物実験施設運営費：76,3837万円

(1)～(3) 計 2155,432万円

3. 学術セミナー・市民公開講座の実施

医学・保健医療研究を推進する取り組みとして、大学における研究促進・活性化を目的とした学術セミナーを平成23年度から定期的に開催している。鍼灸学科・理学療法学科・看護学科の各先生方からのレクチャーにより、異なる医療資格・研究分野の垣根を超えて知識を深め共有した。またセミナーは本学学生も自由に聴講でき、さらに市民公開講座として一般市民の参加できるものとしている。

- ・ 第7回 荻原俊男学長 「健やかな長寿を目指して：超高齢社会と老年医学」
- ・ 第8回 鍋田智之講師 「鍼灸の治療効果を評価する研究の問題点と今後」
- ・ 第9回 金尾顕郎教授 「呼吸理学療法の効果」
- ・ 第10回 伊津美孝子准教授 「eラーニングを活用した新卒看護師教育の効果」
- ・ 第11回 澤田規准教授 「運動器疾患における超音波画像診断の基礎と臨床応用」
- ・ 第12回 森谷正之教授 「顕微鏡で学んできたこと、学びたいこと」
- ・ 第13回 吉村弥須子教授 「質問票を用いたQOL(Quality of life)の評価」
- ・ 第14回 仲西宏元教授 「日本の灸法と灸の研究」
- ・ 第15回 上田喜敏講師 「日本における介護の問題」
- ・ 第16回 来栖清美講師 「精神看護学における研究実践の紹介」
- ・ 第17回 永瀬佳孝教授 「知覚を測る」
- ・

5. 下部組織について

(4) 森ノ宮医療大学学術委員会研究倫理審査部会

- ・ 平成24年度新規実験計画申請数10件・承認件数10件・継続実験計画件数14件であり、活発な研究活動が継続されていた。

(5) 森ノ宮医療大学学術委員会動物実験倫理審査部会

- ・ 動物実験実施者対象に年1回の動物実験訓練講習を実施することとしており、平成24年6月4日に第2回を実施した。
 - ・ 平成24年次報告書を作成し、情報の公表を紀要にて行った。
 - ・ 平成24年度新規実験計画申請数3件・承認件数3件・継続実験計画件数8件であり、活発な研究活動が継続されていた。
- (6) 紀要編集委員会
- ・ 森ノ宮医療大学紀要を年1回継続して発刊している。

(青木 元邦)

1.3. 学習支援センターの事項について

1. 学習支援センター利用に関する説明会

①下記の通り学習支援センター員より学習支援センターの概要等を低学年対象に説明した。

日程	時限	対象	教室
平成24年5月10日(木)	2時限目 12:00～	鍼灸学科2年生	東棟222教室
平成24年5月10日(木)	3時限目 14:20～	理学療法学科1年生	東棟317教室
平成24年5月10日(木)	4時限目 14:40～	看護学科1年生	西棟431教室
平成24年5月10日(木)	5時限目 16:20～	理学療法学科2年生	東棟317教室
平成24年5月10日(木)	5時限目 17:40～	看護学科2年生	西棟532教室
平成24年5月11日(金)	3時限目 13:00～	鍼灸学科2年生	東棟222教室

2. 学習支援センター会議の運営について

①平成24年度は下記の通り学習支援センター運営のための会議を行った。

回数	日程	時限	場所
第1回学習支援センター会議	平成24年4月5日(木)	14:30～16:00	東棟102教室
第2回学習支援センター会議	平成24年5月10日(木)	15:30～16:40	東棟102教室
第3回学習支援センター会議	平成24年7月12日(木)	15:30～16:30	東棟102教室
第4回学習支援センター会議	平成24年9月13日(木)	15:30～16:30	東棟205教室
第5回学習支援センター会議	平成24年11月8日(木)	15:00～15:45	東棟205教室
第6回学習支援センター会議	平成25年1月10日(木)	15:00～16:05	東棟102教室
第7回学習支援センター会議	平成25年3月13日(水)	13:00～14:00	東棟101教室

3. 平成24年度学習支援センターアドバイザーについて

氏名	業務	回数	勤務時間
前川 葉子	学生からの学習相談初期対応および学習指導	71回	毎週木・金曜日 12:00～20:00
松原 勝美	学生からの学習相談および学習指導	27回	隔週月・水
谷口 由美子	レポートの書き方、板書の取り方、試験の勉強方法	6回 (前期のみ)	毎週火曜日 18:00～19:30

4. 平成24年度学習支援センターアシスタントについて

①鍼灸学科センターアシスタント

期間：平成24年5月30日(水)～平成25年2月28日(木)

氏名	学年など	担当曜日	回数	勤務時間
高崎 雷太	修士2年	月	22回	17:30～19:30
大月 隆史	修士2年	水	22回	17:30～19:30
鎌坂 有輝	卒業生	水	31回	17:30～19:30
浅野 真里絵	修士2年	木	8回	17:30～19:30
大川 祐世	修士1年	木	21回	17:30～19:30
橋本 優香	卒業生	木	18回	17:30～19:30

②理学療法学科センターアシスタント

氏名	学年など	担当曜日	回数	勤務時間
西野 冬馬	卒業生	不定期	1回	17:30～19:30
村岡 直	卒業生	不定期	1回	17:30～19:30
兼井 俊樹	卒業生	不定期	4回	17:30～19:30

酒井 優樹	卒業生	不定期	2回	17:30～19:30
能勢 英里香	卒業生	不定期	3回	17:30～19:30
嶋崎 勇介	卒業生	不定期	11回	17:30～19:30

1) 鍼灸学科

国家試験模試成績の下位 20%の学生を対象に、卒業生を学習支援センターアシスタントとして雇用し、それぞれの学生に個別指導を行った。その結果、国家試験模試の成績が上がった学生も多く見られ、後述する利用者アンケート結果にもあるように学習支援対象者からも大変好評であり、実際に成績が向上した学生も多数見られた。

2) 理学療法学科

国家試験模試成績の下位 20%の学生に指導を行っているが、4年次に臨床総合実習が配当されているため担当制が採用できず、国家試験模擬試験成績の下位 20%のクラスを作成し、指導を行った。これにより国家試験の合格率が前年度より大幅に向上した。

5. 学習支援センターアンケートについて

今年度学習支援センター発足に伴い、データベース作成のためアンケートについて学務システムを用いて実施した。なお、アンケート結果は以下のとおりである。

1) 第1回学習支援センター教職員アンケートについて

実施日時：平成24年6月5日（火）～19日（火）

対象：森ノ宮医療大学 常勤教員

【質問内容】

- 問1 担当されている主な科目を3科目記入して下さい。
 - 問2 上記で記入いただいた科目を履修するために、学生が高等学校で学んでおくことが望ましい科目は何になりますか。
 - 問3 本学の学生において、学習の支援が必要な事項はありますか。どのような内容でも必要性があればその理由とともに記載してください。
 - 問4 上記質問の3. で回答頂いた内容を提供することが可能ですか。その方法はどんなものがよいと思われますか。
 - 問5 卒業研究を担当されている先生にお聞きします。卒業研究をどこで実施されておられますか。具体的な教室名を記入してください。
 - 問6 その他ご意見等ございましたらご記入下さい。
- ※回収アンケート数 85件、4名が未提出

2) 第1回学習支援センター教職員アンケートの結果報告について

本センターで実施したアンケート結果については、9月定例教授会後の授業アンケートのフィードバック会にて永瀬学習支援センター員より報告を行った。

1. 高等学校で学んでおくことが望ましい科目

図1に示すように、全体的には国語および生物を中心とした理科系科目の解答が多い傾向が見られたが、教養、専門基礎、各学科で異なる特徴が認められた（図2）。

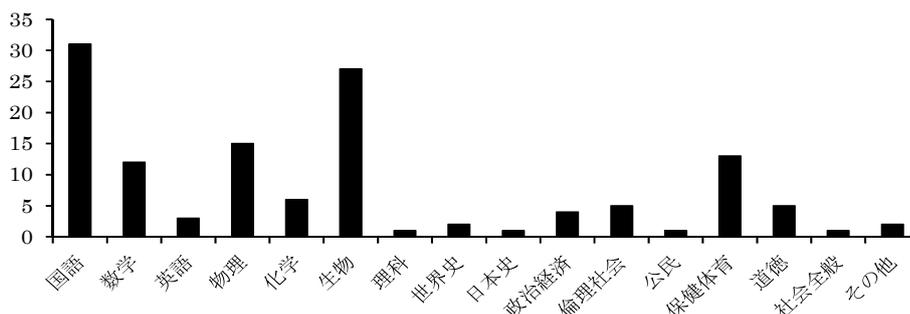


図1. 高等学校で学んでおくことが望ましい科目 (保健医療学部全体)
縦軸は回答数を表す。

教養科目担当の先生方では、国語や生物が多く見られたが、多くの科目にばらつく傾向が認められた（図2A）。本年度から体育系の担当者が増えたために、保健体育も多く認められる。専門基礎では、国語と理科系科目を必要と考える傾向が見られた（図2B）。

臨床系では、鍼灸学科が国語と生物に多く回答が見られたのに対し（図2C）、理学療法学科では物理学に多くの回答が認められた（図2D）。鍼灸学科では、他学科と比べ、道徳に回答が多い。看護学科では、国語と生物の回答が多いが、比較的多くの科目にばらつく傾向が認められた（図2E）。

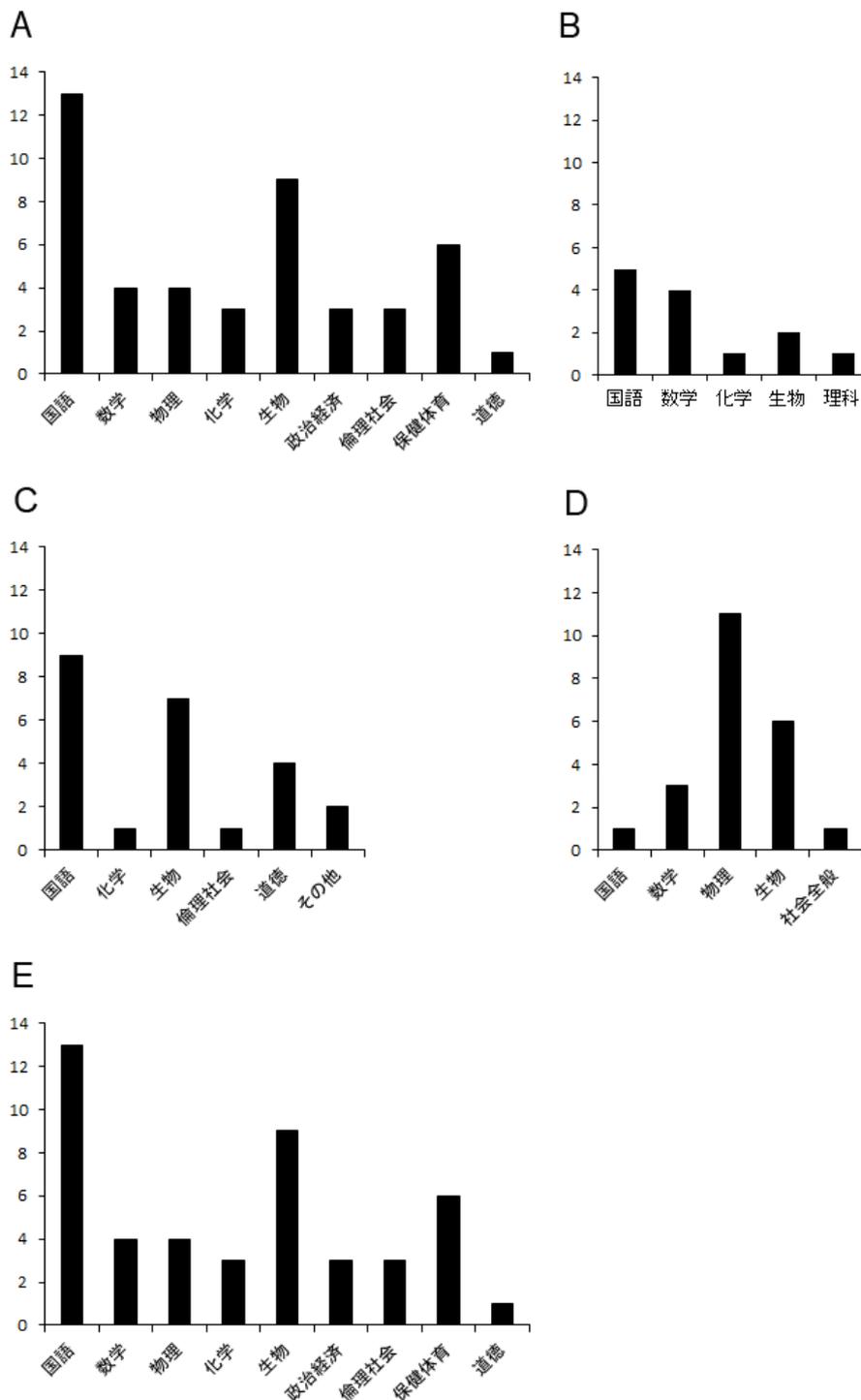


図2. 高等学校で学んでおくことが望ましい科目（各部門における違い）

A, 教養; B, 専門基礎; C, 鍼灸; D, 理学; E, 看護. 縦軸は回答数を表す.

2. 学習支援が必要な事項

学習支援が必要と思われる事項では、学習方法の支援が最も多く、次いでマナーを含めた社会人力の支援があげられた（図3）。

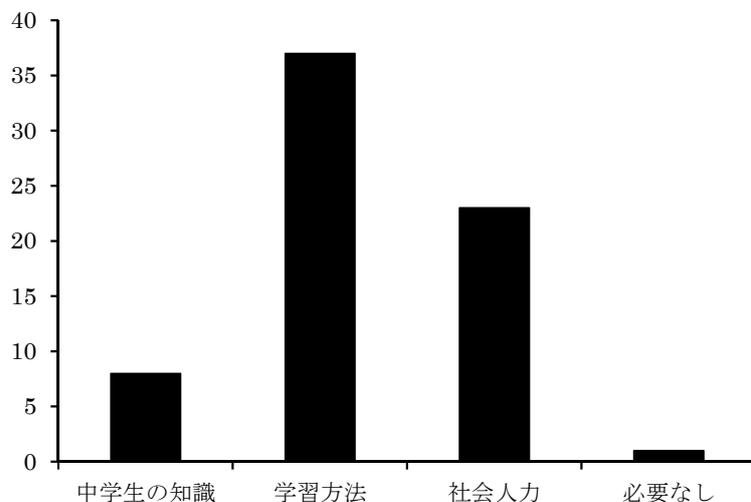


図3. 学習支援が必要な事項（全体のまとめ）

縦軸は回答数を表す。

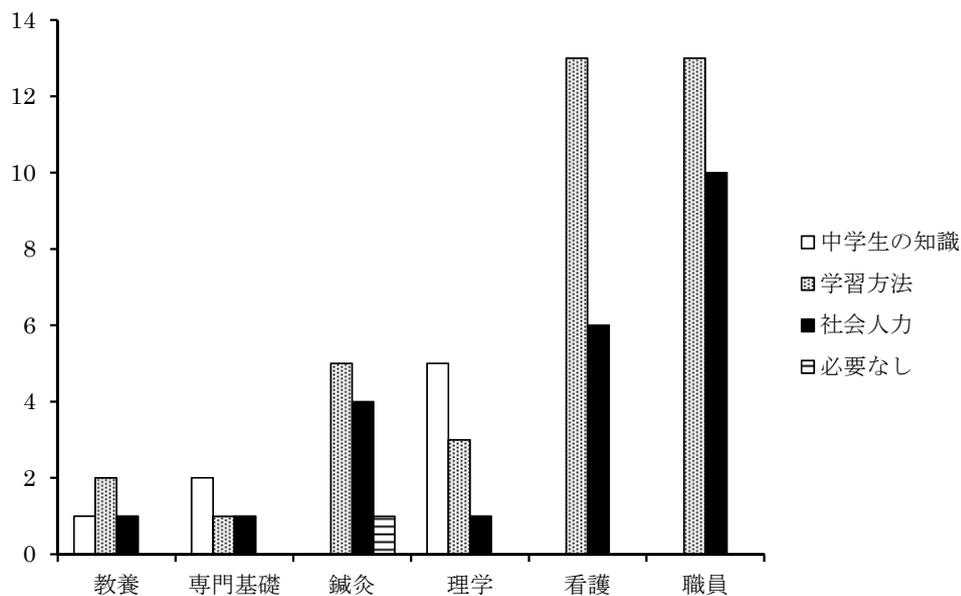


図4. 学習支援が必要な事項（各部門での違い）

縦軸は回答数を表す。

3. 学習支援の提供

学習支援を提供する手段として最も多く回答が寄せられたのは、学外から専門家による講演や補講であった（図5）。次いで、教員による個別指導が多かった。

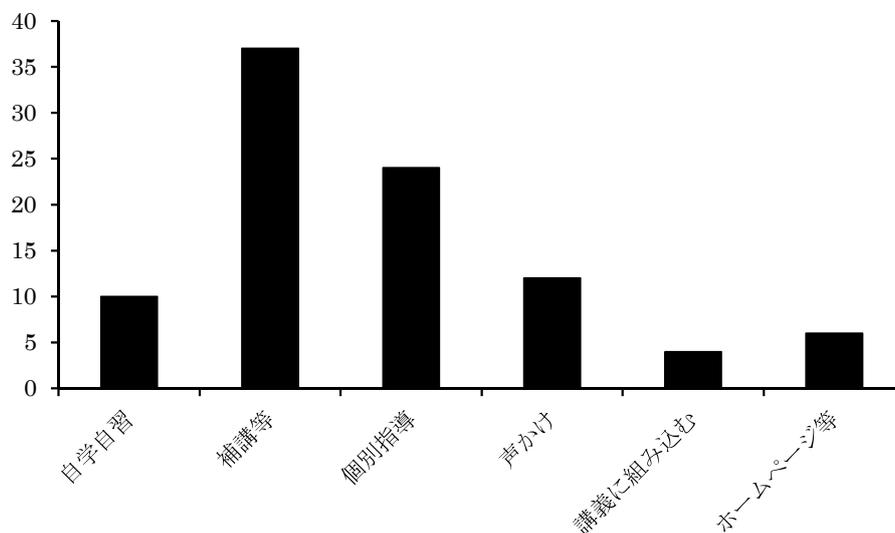


図5. 学習支援の提供（全体のまとめ）

縦軸は回答数を表す。

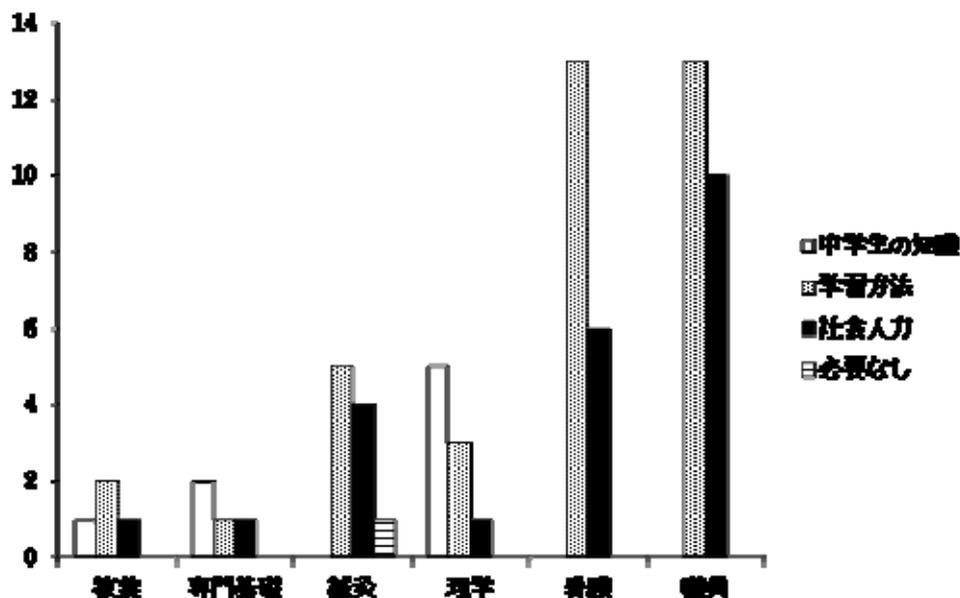


図4. 学習支援が必要な事項（各部門での違い）

縦軸は回答数を表す。

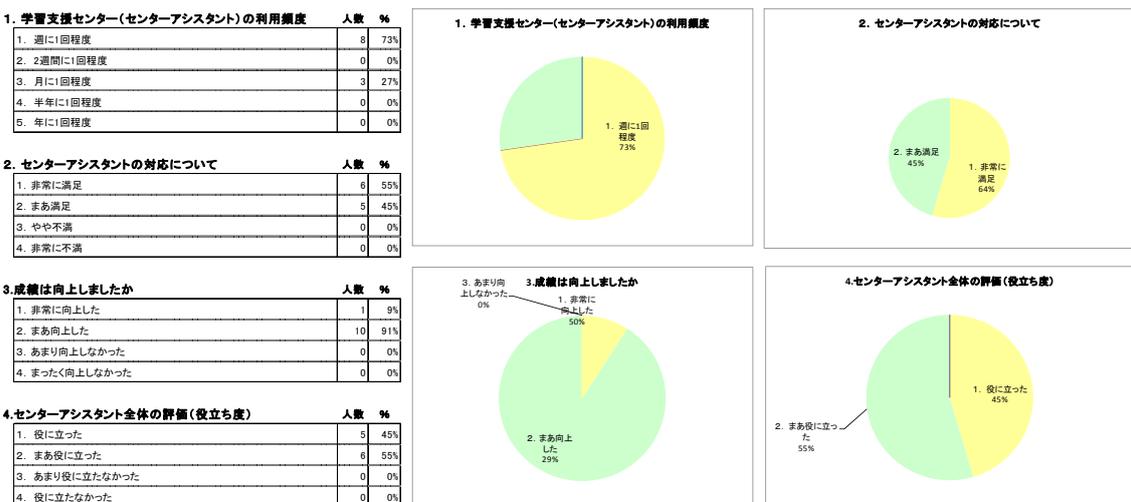
6. 学習支援センターアシスタント利用対象者のアンケート結果

学習支援センターアシスタントを利用した学生から、以下の4項目についてアンケート調査を年度末に実施した。

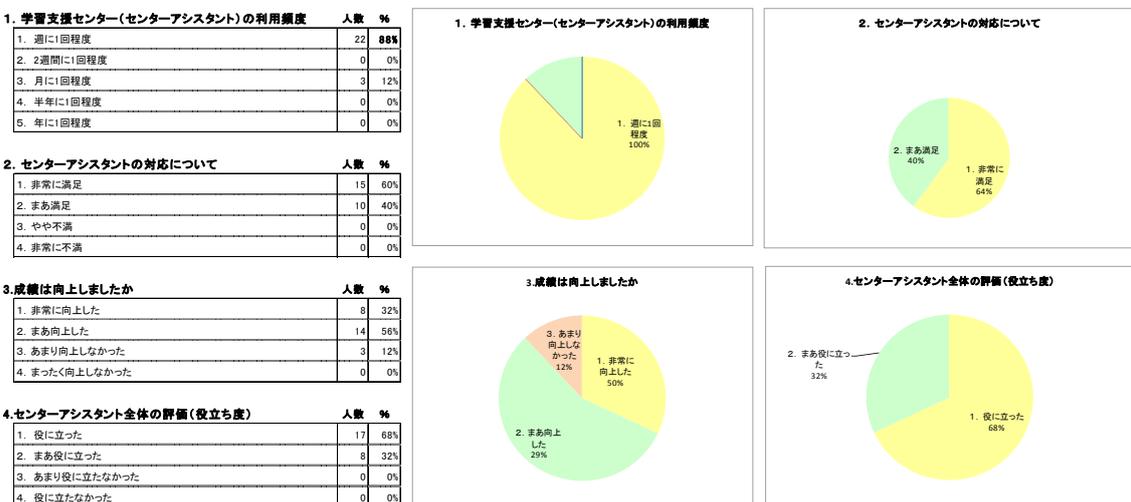
【鍼灸学科】



【理学療法学科】



【全体結果】



7. 学習支援センター主催のステップアップ講座について

学生の学習支援としてのニーズに応えるため、高等学校国語科教員や本学の専任教員、兼任講師及び学習支援センターアドバイザーにより、「国語力アップ講座」、「理学療法士に必要な物理学講座」、「レポートの書き方講座」など多彩な学習関係の講座を開講した。

1) 国語力アップ講座について

前川センターアドバイザーより国語に関する講座を開講した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成24年7月5日(木) 18:00~19:30	東棟102教室	基礎の基礎! 国語力UP講座	4名
第2回	平成24年8月9日(木) 13:00~14:30	東棟207教室	正しい言葉遣い・構成力ある文章を作ろう	5名
第3回	平成24年10月12日(金) 18:00~19:00	東棟101教室	正しい言葉遣い・構成力ある文章を作ろう	5名

2) 理学療法士に必要な物理学講座について

角田センターアドバイザーより「理学療法に必要な物理学について講座」を開講した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成24年7月10日(火) 13:30~14:30	東棟102教室	理学療法に必要な物理学	10名

運動学の理解に必要な範囲での力学、特に「てこ」について

3) レポートの書き方講座について

澤田学習支援センター長・森川学習支援センター委員より「レポートの書き方講座」を開講した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成24年10月25日(木) 18:00~19:00	東棟101教室	レポートの書き方講座	5名
第2回	平成24年12月20日(木) 18:00~19:00	東棟205教室	レポートの書き方講座	6名

4) ノートの取り方講座について

立命館大学非常勤講師の高橋先生を新たにアドバイザーとして迎えることより下記の「ノートの取り方講座」を開講した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成24年11月29日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	ノートの取り方講座	8名

5) パワーポイントを使った授業のメモの取り方講座

立命館大学非常勤講師の高橋先生を新たにアドバイザーとして迎えることより下記の「パワーポイントを使った授業のメモの取り方」を開講した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成25年2月28日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	パワーポイントを使った授業のメモの取り方講座	5名

(澤田 規)

14. 森ノ宮医療大学 附属図書館について

(1) 概況報告

平成24年度は看護学科が2学年になり、全体の学生数の増加に加え図書館を日常的に利用する学生が多くなってきたが、それに伴って、絶対的なスペースの不足が生じている。

土曜日の開館も定着してきた。「ブックハンティング」も今年は第9回・10回(年2回)開催している。教員による指定図書・推薦図書制度も定着してきた。

(2) 事業報告

1) 図書館のサービス状況について

①開館日数と開館時間数

平日 8:00~19:30 / 土曜日 11:00~17:00

	平日	土曜	休日※	合計
開館日数(日)	241	44	3	288
開館時間数(時間)	2,772	264	18	3,054

※休日はオープンキャンパス等での臨時開館、開館時間を10:00~16:00とした。

②入館者数

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
測定せず	28,141	49,233	72,126	79,346	72,034

(単位 人)

③貸出状況

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
教員	350	1,134	1,081	1,056	1,539	1,576
学生	888	3,150	6,670	10,520	10,157	9,104
校友会員	0	6	10	32	435	560
その他	0	0	1	5	8	0
計	1,238	4,290	7,762	11,613	12,139	11,240

(単位 冊)

④予約貸出・購入希望・複写

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
貸出予約(冊)	19	60	113	170	260	62
購入希望(冊)	7	93	135	58	55	10
館内コピー(枚)	1,529	3,540	17,441	32,030	11,860	21,700

⑤レファレンス件数

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
教員	4	60	62	75	85	93
学生	1	173	448	546	451	614
計	5	233	510	621	536	707

⑥相互利用

		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
文献複写	依頼	33	169	391	498	468	574
	受付	1	26	61	62	76	133
相互貸借	依頼	0	3	1	4	0	0
	受付	0	0	0	1	4	5

相互利用	依頼	0	0	0	1	0	0
	受付	0	2	0	1	0	0

⑦学外利用者

		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
校友会	大学卒業生(人)	0	0	0	0	516	530
	専門学校生(人)	3	4	17	5	7	5
	専門学校卒業生(人)	0	0	2	12	0	0
	貸出冊数(冊)	0	2	8	25	284	402
一般学外者(人)		6	71	71	61	38	14
電話照会(件)		4	10	17	6	6	22

⑧データベース利用状況

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
メディカルオンライン		43	275	540	967	1,546
GiNii(サイニイ)			117	168	435	453
GiNAHL(シナール)					39	86
計	0	43	392	708	1,441	2,085

(文献ダウンロード件数)

2) 図書館資料の所蔵状況

①図書

項目		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	
登録図書(冊数)		4,814	6,419	7,474	11,697	14,667	16,345	
内訳	うち購入図書	3,336	4,366	4,886	6,006	7,810	8,915	
	内訳	和書	2,784	3,736	4,229	5,312	6,399	7,146
		洋書(中国語含)	465	473	487	520	549	666
		製本雑誌	0	0	0	0	464	660
		視聴覚資料	87	157	170	174	398	443
	うち寄贈図書	1,478	2,053	2,588	5,691	6,857	7,430	
	内訳	和書	1,433	1,994	2,485	5,368	6,530	7,097
		洋書(中国語含)	9	13	15	100	104	104
		製本雑誌	10	16	35	35	35	41
		視聴覚資料	26	30	53	188	188	188

②雑誌

項目		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	
受入雑誌総タイトル数		92	112	138	156	238	265	
内訳	購入雑誌タイトル数	49	57	56	66	105	109	
	内訳	和雑誌	36	43	41	50	74	75
		洋雑誌(中国語含)	12	12	12	13	18	18
		電子ジャーナル	0	0	0	0	8	11
		データベース	1	2	3	3	5	5
	寄贈雑誌タイトル数	43	55	82	90	133	156	
	内訳	和雑誌(紀要含)	36	47	72	79	123	143
		洋雑誌(中国語含)	7	8	10	11	10	13

3) 平成24年度の経費

図書購入費		8,420,874	備品・消耗品その他		5,298,004
内訳	図書	2,236,226	内訳	図書館システム	572,000
	視聴覚資料	73,668		機器・設備費	3,391,479
	雑誌	2,457,330		図書装備用品	300,916

	電子ジャーナル	531,350		事務用品	161,697
	データベース(追加有)	3,122,300		諸会費	67,000
				製本費	400,680
				閲覧室トナー・メンテ	264,096
				その他	140,136
平成24年度 図書館経費 合計					13,718,878

4) 図書館の活動報告

①ガイダンス及び企画

日程	概要	場所
3/30~4/3	オリエンテーションでのガイダンス(図書館の利用について)	各クラス・入学式会場
4月3日	新任教職員への図書館ガイダンス	西棟 631
4月17日	看護学科基礎ゼミガイダンス①	図書館・閲覧室
4月24日	看護学科基礎ゼミガイダンス②	図書館・閲覧室
4月24日	学習方法論「図書館ガイダンス」鍼灸・理学・看護1年生	図書館・閲覧室
5月8日	看護学科基礎ゼミガイダンス③	図書館・閲覧室
5月8日	ブッカー巻き体験企画①	図書館
5月11日	ブッカー巻き体験企画②	図書館
5月15日	看護学科基礎ゼミガイダンス④	図書館・閲覧室
5月22日	看護学科基礎ゼミガイダンス⑤	図書館・閲覧室
6月11日	理学療法学科基礎ゼミガイダンス	東棟 401 教室
7月1日	第9回ブックハンティング	丸善&ジュンク堂書店梅田
10月24日	鍼灸学科基礎ゼミガイダンス	東棟 401 教室
11月11日	第10回ブックハンティング	丸善&ジュンク堂書店梅田

②ブックハンティング詳細

年度	回	日程	場所	参加人数(人)		購入冊数 (冊)	購入金額 (円)
				学生	教職員		
20年度	第1回	2008/9/20	ジュンク堂(難波)	2	2	15	27,765
	第2回	2008/12/7	ジュンク堂(堂島)	2	2	7	15,351
21年度	第3回	2009/6/27	ジュンク堂(堂島)	6	2	13	45,118
	第4回	2009/12/6	ジュンク堂(堂島)	10	3	93	236,139
22年度	第5回	2010/7/3	ジュンク堂(堂島)	9	2	96	188,825
	第6回	2010/12/5	ジュンク堂(堂島)	6	4	49	179,966
23年度	第7回	2011/7/2	ジュンク堂(梅田)	3	2	43	187,476
	第8回	2011/11/20	ジュンク堂(梅田)	4	3	36	107,958
24年度	第9回	2012/7/1	ジュンク堂(梅田)	2	4	17	52,712
	第10回	2012/11/11	ジュンク堂(梅田)	5	4	56	108,035

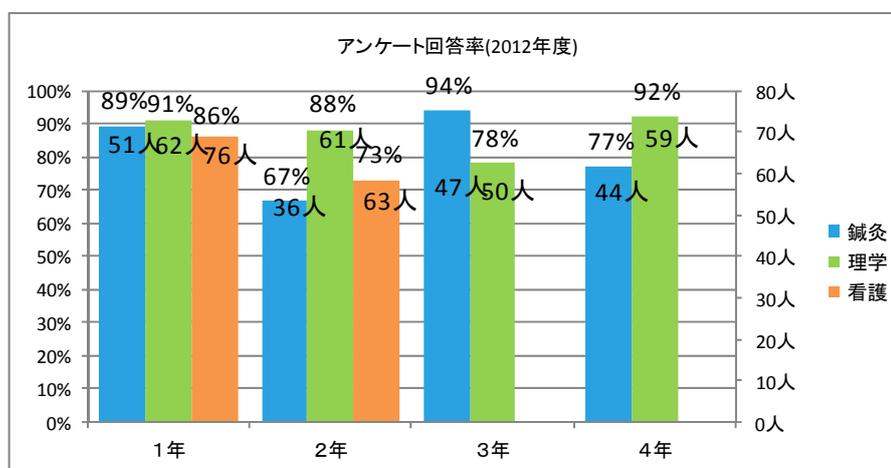
③外部研修への参加

日程	概要	場所
5月21日	電子情報セミナー in 関西学院 2012	関西学院大学大学図書館ホール
7月17日	私大図協 阪神地区相互利用担当者連絡会	太成学院大学
8月3日	私大図協 西地区部会 阪神地区 第1回研究会	プール学院大
8/4~8/7	大学図書館問題研究会 第43回全国大会(京都)	コミュニティ嵯峨野
8/8~8/10	医学図書館協会 第19回基礎研修会	愛知学院大学 楠元キャンパス
8/25~8/26	第29回医学情報サービス研究大会(築地大会)	聖路加看護大学
8/30~8/31	私大図協 第73回総会・研究会	慶應義塾大学

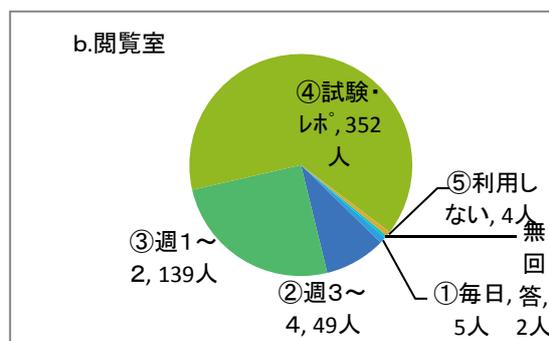
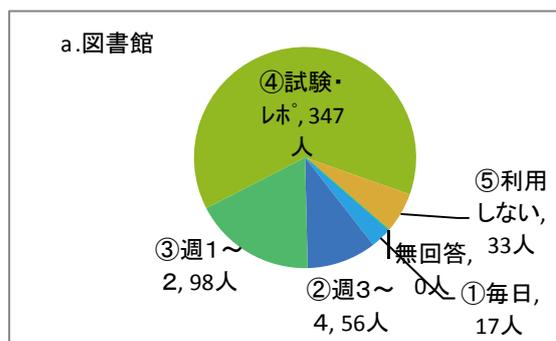
8月31日	Nii ILL システム講習会	大阪大学
8月31日	講演会「学校現場と著作権」	大阪教育大学天王寺キャンパス
9月7日	丸善学術情報ソリューションセミナー	ラムダホテル大阪
9月7日	セミナー「Ex Libris Solution Day」	滋慶医療科学大学院大学
9/12～9/14	Nii 目録システム講習会【図書コース】	関西学院大学
10月23日	兵庫県大図協研究会	関西学院大学大学図書館ホール
10/24～26	Nii 学術情報リテラシー教育担当者研修会	大阪大学
10月31日	私大図協 阪神地区相互利用担当者連絡会	太成学院大学
11/5～11/7	医学図書館協会 第19回研究会・継続教育コース	東京医科歯科大学 M&D タワー
11月30日	医中誌 Web Ver.5 説明会	コンベンションルーム・AP 梅田大阪
12月18日	京都大学図書館機構講演会	京都大学
2月8日	私大図協 西地区部会 阪神地区 第2回研究会	神戸親和女子大学

5) 図書館アンケート結果 (抜粋)

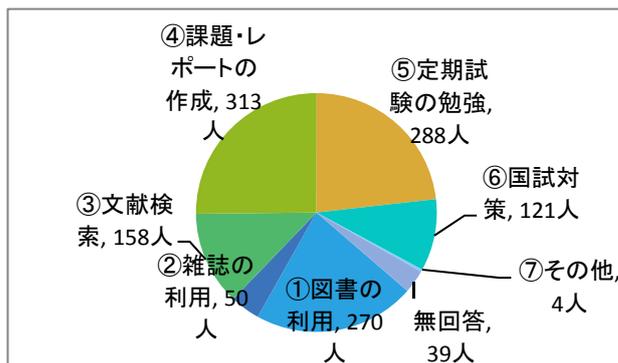
問1. 回答者所属
(=回答率)



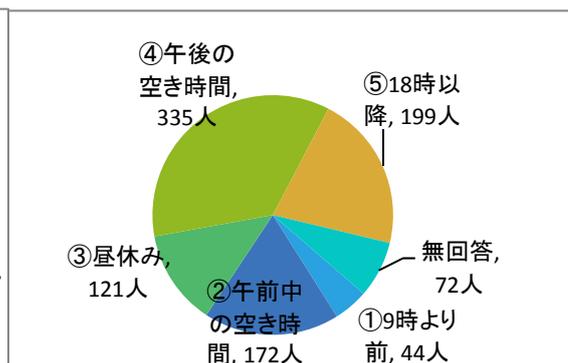
問2. 利用頻度



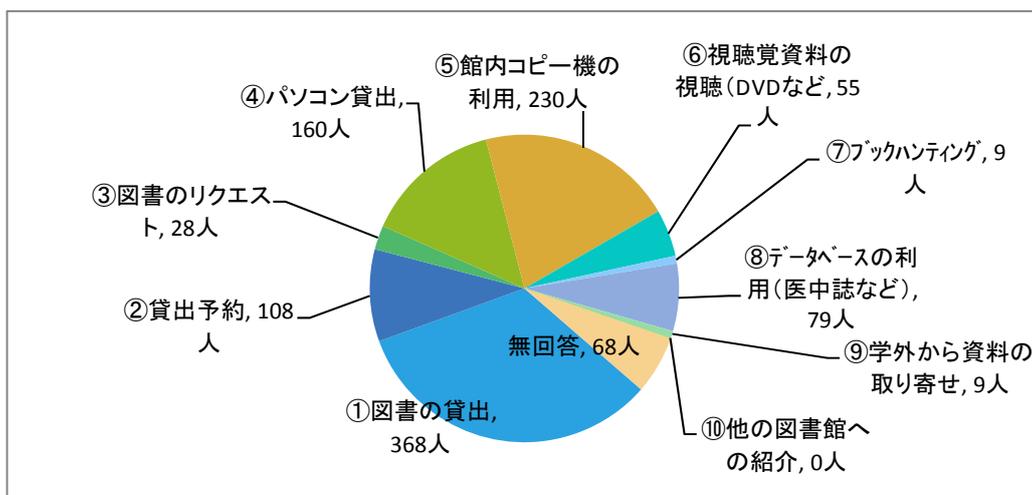
問3. 利用目的



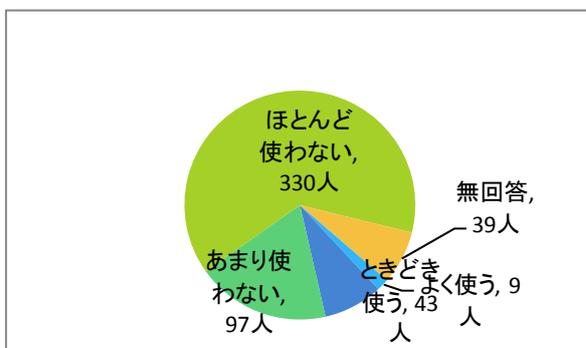
問4. 利用時間帯



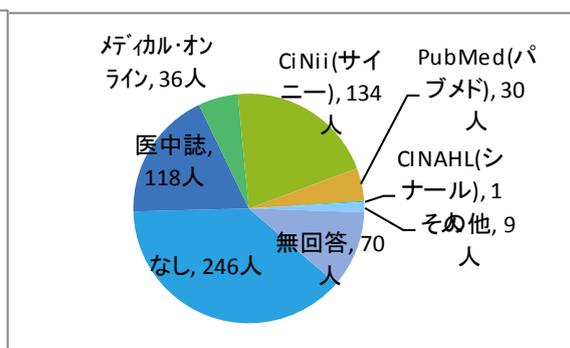
問5. 図書館でよく利用するサービス



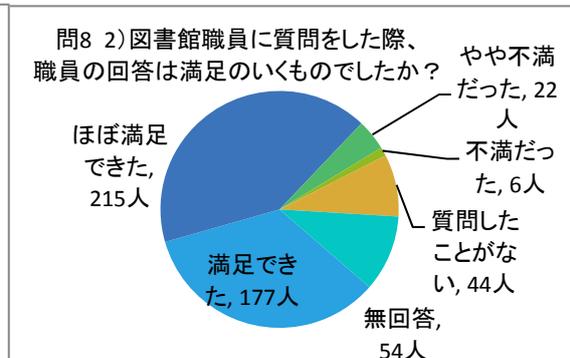
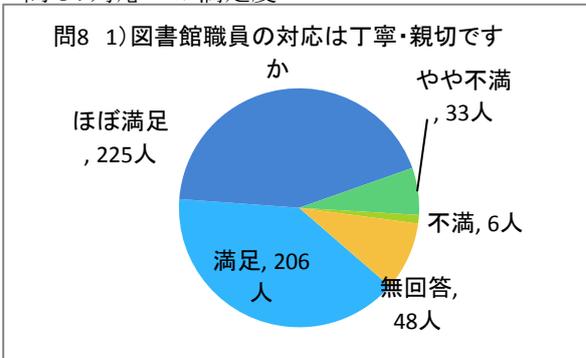
問6. 1) 蔵書検索システム (OPAC) 利用率



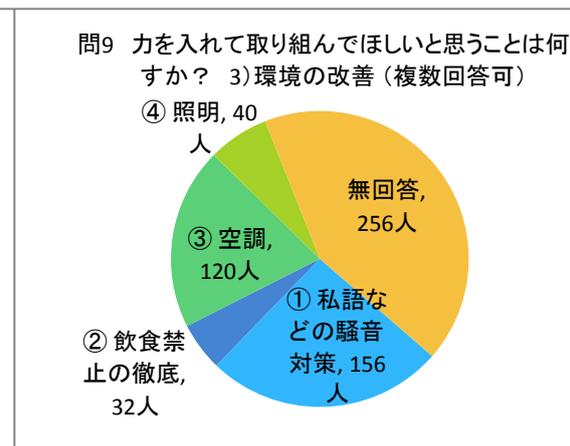
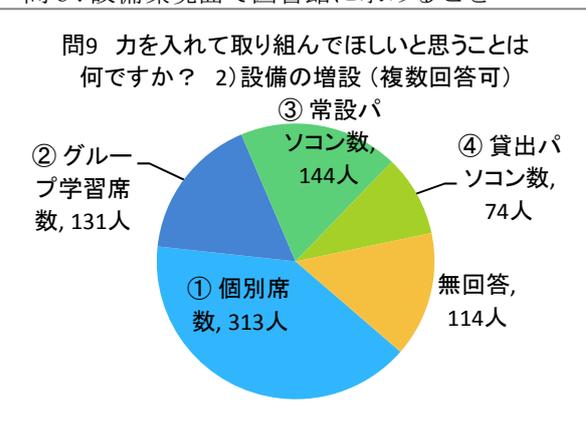
2) データベース利用率



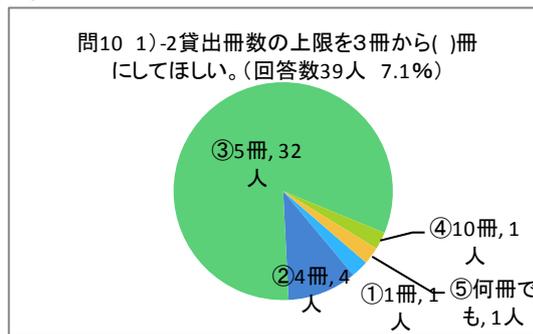
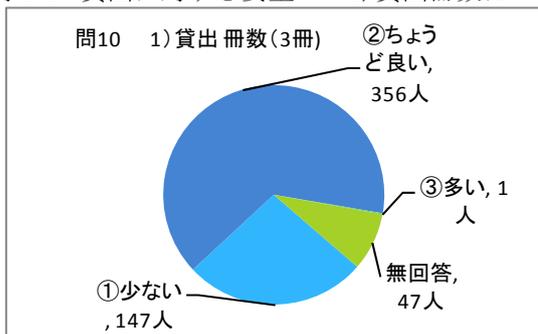
問8. 対応への満足度



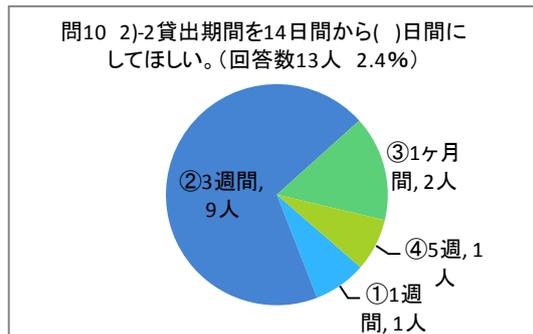
問9. 設備環境面で図書館に求めること



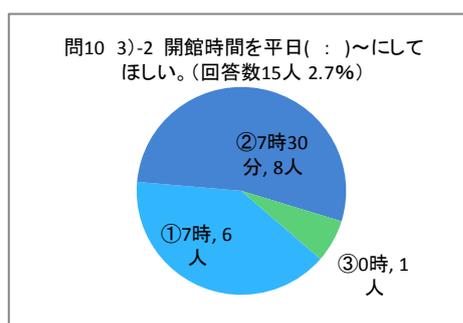
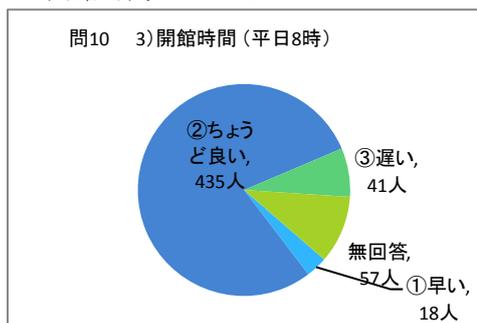
問10. 貸出に対する要望 1) 貸出冊数について



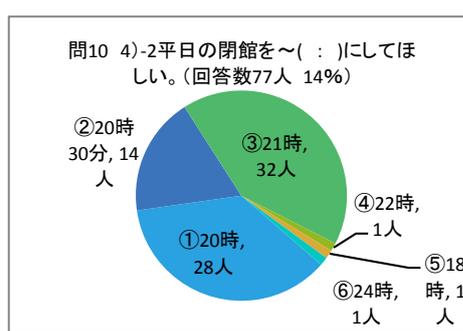
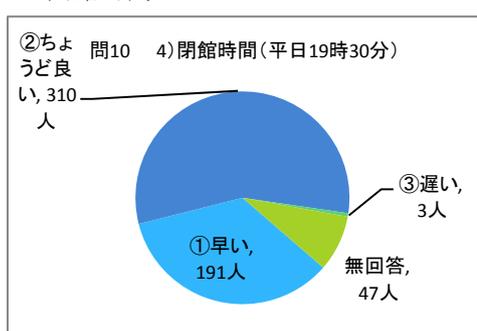
2) 貸出期間について



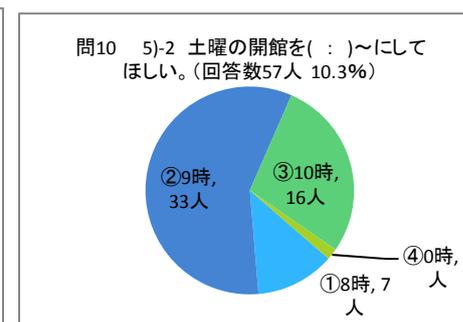
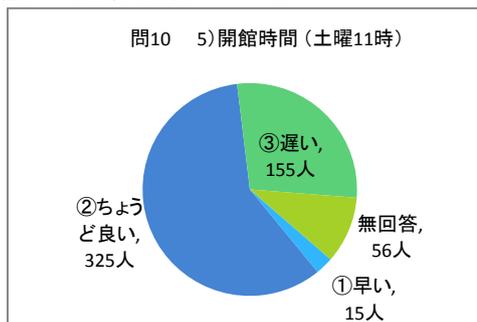
3) 平日の開館時間について



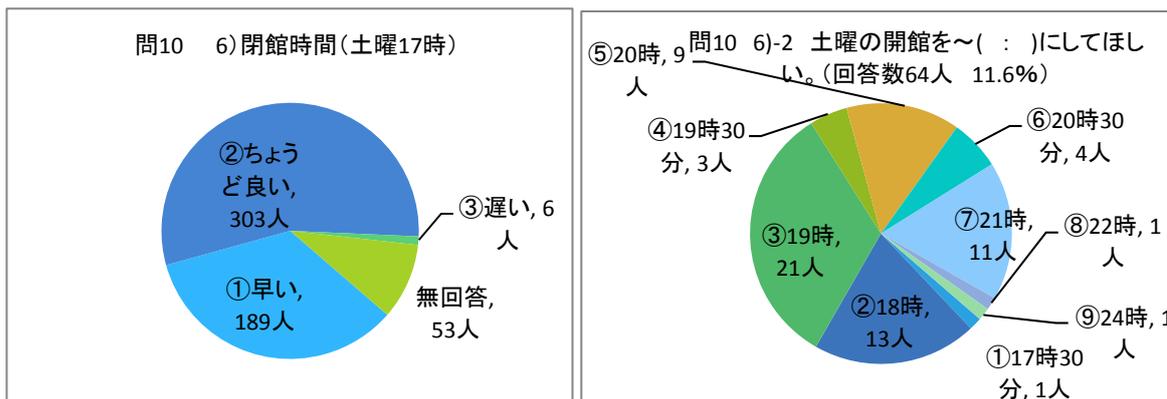
4) 平日の閉館時間について



5) 土曜日の開館時間について



6) 土曜日の閉館時間について



(問10については、アンケート時と問題番号・順番が異なる。)

アンケートから見えてくる学生の要望について

- 設備・環境面―― パソコンの増設、図書館内に個人ブース設置、図書館の拡張を望む
- サービス面―― 平日の閉館を20～21時までとしてほしい
- 土曜日の開館を9～10時、閉館を18～21時としてほしい

等で、今後これらの要望にどのように答えていくか、優先順位をつけて考えていきたい。

尚、図書館職員の対応については83.2%、レファレンスについては75.7%の学生が満足と回答していた。レファレンスについては、提供できる資料の充実も必要不可欠であるため、資料の拡充に努めていきたい。

(中村 允之)

14. 森ノ宮医療大学 附属鍼灸施術所(はり・きゅうコスモス治療院)について

1. 組織

鍼灸師免許を有する鍼灸学科専任教員および研究員、卒後研修生がローテーションで、鍼灸施術を行った。また、専任技術職員が全曜日にわたって鍼灸施術に従事した。施術者の内訳は、鍼灸学科教授2名(山下、仲西)、准教授2名(坂本、澤田)、講師3名(鍋田、松熊、増山)、助教2名(辻丸、涌田)、助手1名(辻)、技術職員1名(青井)客員研究員1名(天野)、卒後研修生5名(黒部、中村、清水、奥野、森谷)である。人員配置の平均は1日6.4名で実施した。

2. 施術時間および料金体系

施術時間

曜日	施術時間		
	10時～12時	13時～16時	
		12時～15時	16時～18時
月(学生実習)	辻丸、仲西、青井	辻丸、坂本、青井、辻	
火(学生実習)		辻丸、増山、澤田、青井	
水(大学院生実習)	山下、増山、青井	山下、増山、松熊、天野	
木		涌田、辻丸、青井、辻	
金(学生実習)	鍋田、涌田、青井	涌田、増山、青井	

料金体系

(1)初診料(初診時のみ)	1,000円(消費税込)
(2)通常料金	3,000円(消費税込)
(3)提携施設・団体料金	2,000円(消費税込)
(4)学園職員	1,000円(消費税込)
(5)学園学生(初診料免除)	500円(消費税込)
(6)小児鍼	500円(消費税込)

実習協力料金の設定：臨床実習への協力を承諾した上記(2)(3)の患者は1,500円

提携施設・団体：近隣で社会的連携が緊密になると予想される、あるいは患者紹介をしていただけそうな施設や団体などを提携施設・団体として施術料の優遇を行っている。現在指定した施設・団体は以下のとおり。

近鉄ビルサービス 悦(株式会社ガイア)
 リバーガーデン ローレルスクエア大阪ベイタワー
 山口コスモデンタルクリニック 全労災大阪府本部
 関西インターメディア(FM COCOLO) NTTドコモ
 シーサイドレジデンスコスモスクエア咲洲

3. 主な宣伝活動

大学正面玄関の看板、大学ホームページ、学園校友会報への掲載などを行った。

4. その他の活動

咲洲ウォーキング、大阪府立急性期・総合医療センター「ふれあい病院探検隊」、市民参加型のイベント「大阪ヘルスジャンボリー」に鍼灸治療ブースを開設し、鍼灸治療に対する啓発を行った。

IV. 学校法人森ノ宮医療学園附属診療所 平成24年度事業報告書

1. 業務日程

●みどりの風クリニック

- ①診療日数 242日
- ②休診日
 - 休日・祝日 67日
 - 土曜休診日(第1, 3土曜日) 22日
 - 木曜休診日(第2, 4木曜日) 24日
 - 夏季休診日 5日(8月11日～15日)
 - 年末年始休診日 6日(12月29日～1月3日)
- ③職員健康診断
- ④専門学校学生検診
- ⑤日本東洋医学会
- ⑥日本肩関節学会
- ⑦日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
- ⑧毎月第4(or第5)土曜:クリニック・鍼灸院定例会議
- ⑨柔道整復学科臨床実習(昼間部・夜間部)
- ⑩みどりの風クリニック・鍼灸院 新卒者研修会(3月9日)

●みどりの風鍼灸院

- ①診療日数 241日
- ②休診日
 - a) 日曜・祝日 67日
 - b) 土曜休診日(第1・第3) 22日
 - c) 木曜休診日(第2・第4) 24日
 - d) 夏期休診日 5日(8月11日～15日)
 - e) 年末年始休診日 6日(12月29日～1月3日)
 - f) 森ノ宮医療学園新年会 1日(1月4日)
 - g) 全日本鍼灸学会:三重大会 2日(6月8日・6月9日)
- ③全日本鍼灸学会(三重県):3日間(6月8日～10日)
- ④日本臨床鍼灸懇話会全国集会(東京大会):2日間(11月24日・11月25日)
- ⑤みどりの風クリニック・鍼灸院合同:消防訓練(10月18日)
- ⑥毎月第4土曜:クリニック・鍼灸院合同定例会議
- ⑦みどりの風クリニック・鍼灸院 新卒者研修会(3月9日)
- ⑧鍼灸学科臨床実習(午前コース・昼間コース・医療資格者コース・夜間コース)

2. 診療体制について

● みどりの風クリニック 診療体制

標榜科

内科：一般内科・漢方内科・心療内科

整形外科：整形外科・リハビリテーション科

休診日(日曜・祝日・第1, 3土曜日、第2, 4木曜日) 内科、水曜日午後診予約制

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:00(内科、整形)	○	○	○	○	○	○
午後 1:30～ 4:30(内科)	○	○	○	○(整形も)	○	×
夜間 4:30～ 7:30(整形)	○	○	○	×	○	×

● みどりの風鍼灸院 施術体制

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00～11:00	○	○	○	○	○	○
午後診 1:30～4:00	○	○	○	○	○	×
夜間診 4:30～7:30	○	○	○	×	○	×
休 診 日	日曜日、祝日、第1・3土曜日、第2・4木曜日					

3. 人事について

● みどりの風クリニック

医 師：宮崎義雄、新谷卓弘

看護師：細澤由美子、村尾友美、尾崎かおる

受 付：秦麻衣子（平成24年12月末退職）、廣田弥生、阪井加子、
井上志乃（平成25年2月1日入職）

放射線技師：坂口和也

リハビリ：大森淳次、池上誠一、川口善教（平成24年8月末退職）
岡野雅俊（平成24年10月入職）

● みどりの風鍼灸院

鍼灸師：中島茂、成田真和、于思・菊谷敏士（鍼灸院常勤）

尾崎朋文（教務：金曜日午前）

志垣清湖（教務：水曜日午前）

4. 平成24年度患者動向について

● みどりの風クリニック

患者総数は26,178人（前年度25,133人）で、前年比は104.2%であった。内訳は内科7,803人（前年度7,513）、整形外科18,375人（前年度17,620人）となっている。初診患者数は2,870人で、初診率（初診患者数の割合）は11.0%（前年度10.9%）であった。内訳は内科964人（同：12.4%）、整形外科1,906人（同：10.4%）である。

●みどりの風鍼灸院

年間利用患者総数は3,908人(月平均325.7人)となる。前年の3,836人と比べて72人(1.9%増)と患者数は増加した。新患者数は142人で前年の146人と比べて4人(2.7%減)減少となる。1日平均利用者は16.2人で前年の15.8人と比べて0.4人(2.5%増)増加した。

5. 平成23年度収入動向について

●みどりの風クリニック

平成24年度の保険診療報酬売上収入(予定)は130,885,800円(前年119,917,448円)で、内訳は内科43,651,640円(前年40,376,595円)、整形外科87,234,160円(前年79,540,853円)である。その他、事故・労災等の自費診療収入が7,785,992円となっている。

●みどりの風鍼灸院

平成24年度の鍼灸院施術収入は1,240万円で前年1,223万円と比較し17万円(1.4%増)増になる。予算案施術収入1,500万円と比べて17.3%減になった。

●その他の収入

平成24年度の臨床実習収入は、クリニック2,632,000円、鍼灸院17,000,000円であった。健康診断による収入は6,709,158円であった。

6. 主な支払について

●みどりの風クリニックの主な支出

平成24年度クリニックにおける支出の中で予算外の支出は、心電図購入費1,000,000円であった。

●みどりの風鍼灸院材料費

平成24年度の鍼灸院施術消耗品費は1,261,369円で予算案1,300,000円と比較して38,631円(3.0%減)減となった。

(宮崎 義雄・中島 茂)

V. 学校法人森ノ宮医療学園出版部 平成24年度事業報告書

年間売上 3,549万7,227円

(予算比87.4% 昨年度予算4,059万2,900円 / 昨年比89.3%、昨年度売上3,960万7,173円)

1. 概況報告

平成24年度は総体として、売上では予算の87.4%達成と、可もなく不可もない結果となった。その要因としては、商品別売上に明確に表れているように、手数料収入の減退が第一に挙げられる。単行本・鍼灸 OSAKA 等その他については微減ではあるものの、大枠昨年に準じた結果となり、需要は定着していると言える。ただし、予算比である以上、予算提出時に計上した書籍の多くが次年度へ延期する結果となったことも影響していることは言うまでもない。

24年度企画が未遂となった要因としては、①部内の人的環境の変化、②依頼原稿の遅延等外的要因がある。②については、業務の性格上不可避な要素と言えるが、そのことを含めて年間スケジュールを念頭に置いて計画的に仕事を進めていく必要があったことを自省を含めて記す次第である。

さて、遂行できたものとしては、『ツボ暗記カードアプリ韓国語版』の発売、ムック Vol.2 『はりきゅうロード』発行である。2点は既刊書籍同様、出版部のオリジナリティを体現したものとして評価を得ている。

また制作・編集としては校友会報2号は、専門学校・大学教職員の協力の下、無事納品することができた。教科書販売・参考図書販売も昨年同様無事遂行した。大学・専門学校図書室(館)図書の販売は昨年より微増となった。図書館書籍については、収蔵スペースという根本的課題が言及されており、出版部としても必要書籍の順調な購入と閲覧を含めた法人としての検証検討を期待している。

次年度については、特に看板である「鍼灸 OSAKA」の定期購読者の漸減傾向の原因を探りつつ内容を検討し購読者数復活を目指すことを第一に、企画した書籍の発行に向け尽力する。

2. 制作・出版物報告

1) 「鍼灸 OSAKA」の発行 (105~108号 各1800部 発行)

No	発行日	特集
第105号	2012/6/20 発行	鍼灸でとらえるからだ
第106号	2012/9/10 発行	海外で鍼灸師として生きる
第107号	2012/12/7 発行	日本鍼灸の多様な術と豊かさ
第108号	2013/03/10 発行	漢方医と鍼灸師のコラボレーション

2) 新刊本およびスマートフォン用アプリケーションの発行

- * 「はりきゅうロード」森ノ宮医療学園出版部編
発行日：平成12年5月5日 価格：2600円
- * 「ツボ暗記カードアプリ韓国語版 iphone版」ダウンロード販売
発行日：平成25年3月登録
価格：約2,800円(※日本円/レートにより変動3200ウォン・税込み)

3) 編集・制作

- * 「校友会報」(年2回 No.10 No.11)

4) 次年度継続制作中の出版物タイトル

- * 『中国針灸学術史大綱』(黄龍祥著 日本語訳)：第1部翻訳完了・校正進行中
- * 『はりきゅう Q&A』(森ノ宮医療学園出版部編)
- * 『ポケット鍼灸臨床ガイド iphone アプリ版』：一部進行中
- * 『ツボ暗記カード 他言語 iphone アプリ版』：依頼中
- * 『鍼灸 OSAKA 絶版号のデジタル版』：準備中

3. 平成24年度事業計画進捗状況

	24年度計画制作物・事業	実績・進捗状況	
季刊誌	鍼灸 OSAKA105	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA106	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA107	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA108	発刊	了
デジタル	ツボ暗記カードアプリ韓国語版	アップ済み	了
単行本	はりきゅうロード	発刊	了
書籍販売	教科書販売	予定通り完了	了
書籍販売	図書室図書販売	予定通り完了	了
単行本	中国針灸学術史大綱第1部（翻訳）	25年度に出版予定	継
単行本	鍼灸 Q&A	25年度に出版予定	継
デジタル	ツボ暗記カードアプリ他言語版	25年度出版予定	継
デジタル	鍼灸 OSAKA 絶版号	25年度出版予定	継
デジタル	鍼灸臨床ポケットガイド アプリ	25年度出版予定	継

4. 売上報告

● 月別売上

月	売上額（円）				
4月	¥2,083,366	8月	¥2,163,122	12月	¥4,493,679
5月	¥4,892,185	9月	¥4,230,053	1月	¥795,842
6月	¥5,291,124	10月	¥712,813	2月	¥618,366
7月	¥5,458,638	11月	¥1,024,962	3月	¥3,733,077

● 商品別売上

商品分類	比率（%）	売上高（24年度）	昨年度比（%）	売上高（23年度）
単行本	28.7	¥10,203,180	26.7	¥10,584,392
鍼灸 OSAKA	31.9	¥11,311,642	30.3	¥11,949,291
手数料（教科書等）	12.2	¥4,343,676	19.3	¥7,677,496
図書室図書	6.4	¥2,264,267	4.6	¥1,840,859
教科書	6.9	¥2,435,154	4.9	¥1,965,940
制作費ほか	6.7	¥2,377,600	6.9	¥2,714,035
抜刷	0.6	¥230,970	0.6	¥261,308
広告料	4.0	¥1,429,300	2.5	¥989,900
送料	2.4	¥846,238	1.9	¥731,316
他社出版物	0.2	¥55,200	2.3	¥892,636
	100	¥35,497,227	100	¥39,607,173

● 鍼灸 OSAKA 売上

バックナンバー（BN）	24年度売上件数	金額	23年度売上件数	金額
鍼灸 O S A K A	6393	¥10,037,528	5563	¥11,791,794
BNセット103号マ [®]	1	¥165,652	1	¥157,497
計	6496	¥10,203,180	5659	¥11,949,291
前受金（振替未分）	520	¥952,840	632	¥1,160,028

定期購読数	24年度	23年度
新規定期購読	30	32
学生定期購読	664	674
定期購読（継続）	304	327
盲学校定期購読	16	16
計	1014	1049

● 24年度単行本の売上ランキング

刊	タイトル	売上数	売上額（円）	売上比率
新既	ツボ暗記カードアプリ	503	1,853,400	18.2%
新刊	臓腑経絡学	454	1,550,256	15.2%
新刊	ツボ暗記カード	539	1,389,655	13.6%
既刊	ポケット鍼灸臨床ガイド	562	1,334,559	13.1%
新刊	柔道整復理論サブノート	347	806,517	7.9%
既刊	健康で知的なからだをつくる51のレッスン	297	629,693	6.2%
既刊	このツボが効く-先人に学ぶ75名穴	247	536,337	5.3%
新刊	はりきゅうロード	351	503,471	4.9%
既刊	東洋医学系総合テキスト	137	473,850	4.6%
新刊	胃の気の脈診	69	301,552	3.0%
既刊	漢文で読む霊枢	94	236,950	2.3%
既刊	もっと身近にアロマセラピー	193	201,847	2.0%
既刊	生きているとは	474	184,044	1.8%
既刊	ミュージアム図録ⅠⅡ	34	75,480	0.7%
既刊	もぐさのはなし	37	44,280	0.4%
既刊	東洋の身体知	35	42,406	0.4%

● 23年度単行本の売上ランキング

刊	タイトル	売上数	売上額（円）	売上比率
新既	ツボ暗記カードアプリ	546	1,970,000	22.8%
新刊	ツボ暗記カード	687	1,853,479	21.5%
新刊	ポケット鍼灸臨床ガイド	652	1,518,699	17.6%
既刊	柔道整復理論サブノート	488	1,102,971	12.8%
新刊	臓腑経絡学	285	938,410	10.9%
既刊	このツボが効く-先人に学ぶ75名穴	358	764,290	8.9%
既刊	胃の気の脈診	123	622,718	7.3%
既刊	東洋医学系総合テキスト	136	458,500	5.3%
既刊	健康で知的なからだをつくる51のレッスン	197	410,602	4.8%
新刊	漢文で読む『霊枢』	128	314,589	3.6%
既刊	はりきゅうミュージアム Vol.Ⅱ	58	189,740	2.2%
既刊	東洋の身体知	89	136,886	1.6%
既刊	もっと身近にアロマセラピー	100	100,559	1.2%
既刊	十二経絡図譜（CD-ROM）	7	77,416	0.8%
既刊	生きているとは	179	69,950	0.8%

● 取引先別売上げ

顧客	売上	比率
書店	¥7,461,060	21.1%
学生	¥1,463,407	4.1%
森ノ宮医療学園関係	¥10,601,096	29.8%
取次ぎ	¥3,938,259	11.1%
個人	¥4,195,223	11.8%
校友会	¥3,112,838	8.8%
業者	¥1,300,739	3.7%
ネットショップ	¥2,789,441	7.8%
他校	¥136,029	0.4%
出展	¥394,540	1.1%
盲学校	¥104,595	0.3%
計	¥35,497,227	100%

5. 営業活動

● 主な展示販売

展示会名	場所	販売期間	出張者	売上	出展料
第63回日本東洋医学会学術総会	京都	平成24年 6月10～12日	廣長	¥74,090	¥21,000
第63回日本東洋医学会学術総会 第61回全日本鍼灸学会	京都 四日市	平成24年 6月10～12日 平成23年 8月6～9日	廣長 織田	¥74,090 ¥126,070	¥21,000 ¥108,150
第5回日本小児はり学会学術大会 ※	京都	平成24年9月30日	廣長	¥46,770	¥0
第21回刺絡学会	大阪	平成12年6月24日	織田	¥56,130	¥0
第40回 日本伝統鍼灸学会	東京	平成24年 10月7・8日	織田	¥40,190	¥30,000
第16回 日本統合医療学会	大阪	平成12年 12月8・9日	廣長	¥24,890	¥30,000
日本鍼灸師会講習会	大阪	平成12年4月8日	織田	¥26,400	¥0
合計				¥394,540	¥189,150

● 書店訪問・営業

学会出展時に開催地を中心として、時間的余裕に応じてその近郊書店を訪問し、出版部発行書籍のPRを行っている。また、新刊発行予定についても、取次書店担当者はもちろん、各小売書店の医学書担当者と対面して事前PRすることで、発行時に委託等注文がスムーズに得られる。

〔取扱書店一覧〕

WEB書店

Amazon
 Fujisan (鍼灸 OSAKA のみ)
 紀伊国屋 BookWEB 7&I
 メテオメディカルブックセンター YAHOO! ブックス など

店舗

北海道	丸善・札幌南一条店 コーチャンフォー・ミュンヘン大橋店	岐阜県	喜久屋書店・大垣店
宮城県	アイエ医書センター 丸善・仙台アエル店 ジュンク堂書店・仙台店	三重県	ワニコ書店
福島県	八重洲ブックセンター・郡山店	京都府	紀伊國屋書店・京都御池店 ジュンク堂書店・京都店 ジュンク堂書店・京都 BAL 店 アバンティブックセンター
栃木県	大学書房メビウス	大阪府	紀伊國屋書店・梅田本店 紀伊國屋書店・本町店 ジュンク堂書店・大阪本店 ジュンク堂書店・難波店
群馬県	喜久屋書店・太田店		関西医書
千葉県	三省堂書店・そごう千葉店 丸善・津田沼店 宮脇書店・印西牧の原店		丸善・なんば OCAT 店 神陵文庫・大阪支店 田村書店・千里中央店
東京都	三省堂書店・神保町本店 三省堂書店・東京女子医大店 東方書店 亜東書店 いざわ書林 燎原書店 新樹社書林 丸善・本店 八重洲ブックセンター・本店 有隣堂・渋谷医学書センター 旭屋書店・池袋店 ブックファースト渋谷店 紀伊國屋書店・本店 紀伊國屋書店・新宿南口店 ジュンク堂書店・池袋店 たにぐち書店 オリオン書房・ノルテ店	兵庫県	神陵文庫・本社 ジュンク堂書店・三宮店 ジュンク堂書店・三宮駅前店 ジュンク堂書店・姫路駅前店
		島根県	島根井上書店
		岡山県	泰山堂書店 泰山堂書店・鹿田店 丸善・シンフォニービル店 喜久屋書店・倉敷店
		広島県	井上書店 井上広文館 フタバ図書・TERA 医書
		徳島県	久米書店 久米書店・医大前店
神奈川県	有隣堂・医学書センター 有隣堂・川崎 BE 店 あおい書店横浜店 ACADEMIA・港北店 ACADEMIA・ちはら台店	香川県	宮脇書店・本店 宮脇書店カルチャースペース 宮脇書店・南本店
長野県	明倫堂書店	愛媛県	丸三書店
新潟県	考古堂書店	福岡県	丸善・福岡ビル店 紀伊國屋書店・福岡本店 紀伊國屋書店・福岡天神店 ジュンク堂書店・福岡店 喜久屋書店・小倉店
富山県	文苑堂書店・福田本店		紀伊國屋書店・長崎店
石川県	前田書店	長崎県	ジュンク堂書店・大分店
静岡県	丸善・新静岡店 ガリバー	大分県	ジュンク堂書店・鹿児島店
愛知県	大竹書店 丸善・名古屋栄店 三省堂書店・高島屋店	鹿児島県	考文堂
		沖縄県	プサン 栄光図書
		韓国	

(廣長愉美)

平成25年5月28日